

宮崎女子短期大学紀要 第19号 1-54頁

これからの保育の展開 (II)

大 坪 邦 資

Future Developments in Child Care (II)

Kunisuke OTSUBO

I. 目的及び研究方法

筆者は前報¹⁾において、これからの保育の展開について報告した。引き続き、平成3年度末まで研究したので、その結果を報告する。

宮崎女子短期大学附属みどり幼稚園において、年少、年中、年長の各組で、幼稚園教育要領²⁾の改定に当たって、倉橋氏の著書³⁾⁴⁾を参考にし、幼稚園と幼児の生活形態との関係を考えてみるところに意味があると考えられたからである。

目的及び研究方法については、前報¹⁾に準ずることとした。

II. 結 果

本園での年少、年中、年長の平成3年4月から平成4年3月までの月指導計画、それに基づく週指導計画、日誌は次の通りである。

なお、紙面の関係で、年長のみ提示した。

4月の計画（平成3年度）

指導の内容	環境構成	予想される子どもたちの活動	配慮事項
<p>子どもの生活する姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長に進級する期待感をもつて、たぐいの友達と一緒に誘いあいながら、色々な遊びに取り組む姿が見られる。 ・ゲーム遊びやダンスなどを通して、クラスの雰囲気が盛り上がり、一層、協調性が養われてきたようと思われる。 	<p>・年長としての自覚をもち、新しい生活に慣れる。</p> <p>・異年齢の友達にも積極的に係わり思いやりの気持ちをもつてやさしくお世話をすることとする。</p>	<p>・年長組になつた実感を感じとれるよう壁面や花飾りを飾つて明るい雰囲気にしていく。</p> <p>・自己紹介を恥ずかしがる子には、そばについて安心感をもたらせる小さな組のお世話をすることで意欲をもたせる。</p> <p>・いろいろな遊びに挑戦できるように、遊具、用具、材料など必要なものがすぐ出せる環境を整えておく。</p> <p>・柄・ロッカー・タオルかけ・くつ箱などひとりひとりが分かりやすいようにシールの目印を貼る。</p> <p>・教師がやって見せることで意欲・挑戦心が育つようになる。</p> <p>・イメージがわくように、実物のこいのぼりを園庭に出し、いつでも見れるようにする。</p> <p>・実際にエサを持ったり、水を変えたりさせることで、直接、動物に触れることができる。</p> <p>・グループ別、男の子・女の子などに分けて歌うようになる。</p> <p>・安全に気をつけて道具や用具を使う。</p> <p>・音楽に興味を持つて、進んで聴くことができる。</p>	<p>・バス説明会について</p> <p>・行事予定表</p> <p>・クラス名簿</p> <p>・運縄縄</p> <p>・夏服採寸について</p> <p>・フツ素洗口について</p> <p>・必ず側に付いて、危険な時に手を出せるように、見守り、必ず全体を見ておく。</p> <p>・がんばっている子をほめたり、励ますことで最後までがんばり通すように仕向ける。</p> <p>・ライセンスを取り締めたり、チームを決まりすることで一層盛り上げ、意欲的に取り組めるようになる。</p> <p>・長縄は、周りの人の事も考えて広い場所で迷惑をかけないようにするよう声をかける。</p> <p>・とべない子には、うしろからそっとタイミングを背中をおしてつかませていく。</p> <p>・できるだけ少・中に繋りながら、仲よく遊ぶように声をかける。</p> <p>・危険な事をしている者がいれば、教師に伝えるよう話す。</p> <p>・自分の考えや思いを皆の前ではっきりと伝えるよう促し、恥ずかしがって言えない子は、側に付き、安心感を持たせる。</p> <p>・自分達で決めた約束やルールを守って、友達と仲良く遊ぶよう声をかけ、見守る。守らない子はその都度やめさせ、理解できるよう話し、その場で分からせる。</p> <p>・自分でイメージしたものを友達と話しながら作り上げることができるように、いろんな種類の素材を十分に準備しておくる。</p> <p>・できるだけ大きなダンボールや空箱を与える。</p> <p>・小さい組に靴箱や部屋やロッカーを教えてあげたりなど、自分たちでできることをしてあげることで、小さい組への関心や年長としてはりきっている気持ちをみだし、自信をもたせていく。</p> <p>・当番活動は全員が取り組めるよう役割を分担して一緒に取り組む。</p> <p>・英語であそぼうでは、實業と動作の関連性に気付く。</p> <p>・不安を持つ子には、そばにいてあげ安心感をもたせる。</p> <p>・皆で楽しむ足ができないように、楽しいレーションをする。</p> <p>・運足では一人ひとりが勝手な行動をとらないように安全に気を付け参加する。</p>
<p>人間関係のうたをもつ</p> <p>・新しい友達をたくさん見つけ楽しく遊ぶ</p> <p>・自分達でルールを考えて友達と仲よく遊ぶ</p> <p>・新しい経験や活動に興味をもち、積極的に係わる</p> <p>・鬼ごっこや運動遊びを通して、開放感を味わったり、友達や先生とのかかわりを楽しんだりする</p> <p>・先生や友達、誰にでも進んで挨拶をする</p> <p>・動物植物をいたわる気持ちをもち、先生や友達と一緒に世話をする</p> <p>・季節のうたを、先生や、友達と楽しくうたう</p> <p>・日本語以外の言葉に親しみ、楽しく英語表現</p> <p>・安全に気をつけて道具や用具を使う</p> <p>・音楽に興味を持つて、進んで聴くことができる</p>	<p>・年長の喜びを味わい年長としての自覚をもつ</p> <p>・新しい教室、先生、友達、クラス名を知る</p> <p>・先生や友達の前ではつきりと自分で自分を伝える人前で話すことでもつ</p> <p>・小さく組のお世話を喜んでする</p> <p>・小さい組をかわいがる気持ちをもつ</p> <p>・自分達でルールを考えて友達と仲よく遊ぶ</p> <p>・新しい経験や活動に興味をもち、積極的に係わる</p> <p>・鬼ごっこや運動遊びを通して、開放感を味わったり、友達や先生とのかかわりを楽しんだりする</p> <p>・先生や友達、誰にでも進んで挨拶をする</p> <p>・動物植物をいたわる気持ちをもち、先生や友達と一緒に世話をする</p> <p>・季節のうたを、先生や、友達と楽しくうたう</p> <p>・日本語以外の言葉に親しみ、楽しく英語表現</p> <p>・安全に気をつけて道具や用具を使う</p> <p>・音楽に興味を持つて、進んで聴くことができる</p>	<p>・戸外遊び</p> <p>・ウルトラユニオンサークル</p> <p>・鉄棒、たいこ橋、雲梯、ぶらんこ、のぼり棒、つり輪、木登り</p> <p>・ボール遊び ドッヂボールかけっこ</p> <p>・並びっこ</p> <p>・長縄（なわとび）</p> <p>・鬼ごっこ 色つき鬼、うさまき鬼</p> <p>・砂遊び</p> <p>・かたつむり 採り</p> <p>・だんご虫</p> <p>・室内遊び</p> <p>・大型積木、ままごと、自由画 粘土自己紹介 ・グルーブづくり</p> <p>・チーム遊び（仲間づくり） ジャンケン列車</p> <p>・ダンボール遊び（バス・車づくり）</p> <p>・このぼり作り</p> <p>・麻雀で遊ぶ（めかね作り・パック作り）</p> <p>・絵本を読む</p> <p>・小さい組、新しい友達のお世話をする</p> <p>・飼育当番をする</p> <p>・花の水やりをする（花の観察）</p> <p>・歌をうたう 「ママとゴーゴー」</p> <p>・英語で遊ぼう 「ABCのうた」「Good Morning To you」</p> <p>・治園式に参加する・入園式に参加する</p> <p>・遠足に参加する</p> <p>・楽しいコンサートに参加する・誕生会に参加する</p>	<p>評価</p> <p>・年長になったということでおもに常に声をかけ、全員が意識をかわいがる姿も見られるようになった。</p> <p>・友達關係も後半になりクラスで深まり、前までは元のクラスとしか遊んでいなかつたが今は、新しいメンバーで遊ぶようになった。はじめは、クラスがまとまる。</p> <p>・机・いすを運ぶ時はガラス部に注意させる。・手洗い・うがい指導・フツ業</p> <p>・日本語以外の言葉に触れ、ネリダ先生の話も興味をもち聞いている。</p>

(4) 月 (1) 週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配意事項	行事など	実施	記録
ねら い	<ul style="list-style-type: none"> ・年長組になった事を喜び、新しい生活に慣れ、年少中の世話を喜んで行う ・好きなあそびを通して新しい先生や友達に親しみを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度保育用具の注文について ・役員選出について ・登園時間を守ってもらう 	始園式 8日・月	<ul style="list-style-type: none"> ○ホールに荷物をおく（クラスごと） ○自由遊び（鉄棒・砂遊び・固定遊具） ○ホールに集合（クラス発表） ○始園式に参加する ○園長先生の話をきく ○園児 ○うたをうたう
○始園式 入園式	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のクラスや所持品の始末の場所がわかるように同じマークのシールを貼る ・新入園児が安心して登園できるようにし、落ち書きで新入園児を歓迎する気持ちをもつ ・参加する者を認め、静かな雰囲気をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長先生の話をしつかり聞き、担任やクラス・所持品の始末の場所を覚える ・歌をうたつたりして新入園児を歓迎する気持ちをもつ ・人形をつかつた劇などをすることで園に対しての興味を深めさせる ・取扱しがれる者は保育者が側にいるようにする ・手伝っている子をほめることで、他の子へも意欲をもつて取り組めるようにする 	入園式 9日・火	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に遊び ○戸外遊び ○つみ木 ・入園式に参加する ・園長先生のお話→男が自分の場所に座ろうとしない ・うたをうたう ・部屋にもどる ○ゲーム遊び ○手遊び ○紙芝居を見る ○うたをうたう ・中年、少と一緒にあそぶ—手をつないで出でていったりしないように見守る
○自己紹介 阿育当番	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスの友達にわかるようになるように、全員の顔が見えるようにする ・動物と触れあうことにより、世話をする喜びを味わう ・一人ひとり水を入れる物を持ち、たっぷり水をかける ・自分や異年齢の友達と一緒に譲りあいあそぶ ・先生自ら異年齢をさそうことで、小さい組をかわいがる気持ちをもたせる ・道具はどうだしやすいように置いておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱しがれる者は保育者が側にいるようにする ・動物の気持ちになり、保育者自ら進んできれいにする事に関心を持つ ・花の観察をするよう言葉かけをして、根元に優しくかける ・常に全体を見ておき、ケガをしないよう抜けだすことのないよう見守る ・友達を説いていたながら、保育者も参加し、安全にも十分気をつけさせる ・室内では走らずに、譲りあって使うよう促す 	夏服採寸 10日・水	<ul style="list-style-type: none"> ○所持品の始末をする ○年少、中にお手伝いに行く ○所持品の始末や、畳を敷える ・戸外あそび ○固定遊具あそぶ ○砂場 ○絵本 ○自由画 ○粘土 ○紙芝居 ○うたをうたう ○手遊び ○紙芝居を見る ○うたをうたう ・中年、少と一緒にあそぶ—手をつないで出でていったりしないように見守る
花の水やり			11日・木	<ul style="list-style-type: none"> ○所持品の始末をする ○年少、中にお手伝いに行く ○手遊び ○紙芝居 ○うたをうたう ○紙芝居 ○年少、中のお手伝い ○絵本 ○自由画 ○粘土 ○ゲーム ○ウルトラユニオンサークル、ブランコ
室内あそび			12日・金	<ul style="list-style-type: none"> ○所持品の始末をする ○年少、中のお手伝い ○絵本 ○自由画 ○粘土 ○ゲーム ○ウルトラユニオンサークル
備考			13日・土	<ul style="list-style-type: none"> ○所持品の始末をする ○絵本 ○ゲームをする（椅子取りゲーム） ○つみ木 ・仲間つくりゲーム ・戸外あそび ○ウルトラユニオンサークル ○鉄棒 ○ブランコ 手遊び→男の子で参加しない子が多い

（ 4 ）月（ 2 ）週・日案・日誌

年長

評価		予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		実施		記録		
年長	年少	年長	年少	行事など	家庭訪問	花の水やり	花の水やり	
生年 生年 生年 生年	生年 生年 生年 生年	・異年齢の友達にも優しく接し、 身体を十分に動かし楽しくあそぶ ・沢山の友達を誘いいろいろな遊びに積極的に取り組む	・遠足について ・廃材の協力を お願いする ・えさの協力	○身体計測 ○ゲーム遊び ○全員が参加 (仲間づくり) (椅子取りゲーム) ○年少・中のお世話をする ○絵本を読む ○户外遊び ○室内遊び ○飼育担当 ○並びっこ	15 日 ・月	16 日 ・火	16 日 ・火	16 日 ・火
生活する もの 姿	年長に進級した事を喜び、進んで、小さい組のお世話をを行い、意識してきている。 ・新しいクラスや友達の雰囲気に少しずつ慣れ、誘い合わせながら自分のしたい遊びを楽しんでいる。	・順番を守ることができるように ・4クラス全体でいい、距離が終わった子ども達が安心してあそぶことができるようになる。 ・子ども達がルールを意識してやれるようだ ・クラスの友達の名前などを早く覚えられる ・できるだけ泥山の子どもを説いていく ・具体的にどういう事をお世話をのか、手がかりになるヒントを与える ・正しい姿勢や落ちついた中で語めるように、 部屋の一角所にテーブルと椅子を出してお く ・スマックは全員脱がせる ・遊びが広がるように、スケーター・ブランコ・砂場シートなどの遊具を出しておく ・怖がるような子には側につき、安心感を持 てさせて一緒にええ ・直せた動物に触れ、やさしくすることが寒感 できるように順番に、実際に中に入らせる 花の水やり ・いろいろ工夫したり、考え方として作って遊ぶ楽しさを味わえるよう、廃材やダンボーリなどと一緒に人ひとりでよく遊んでおけるよう、器用号を伝え、前後の友達の顔を覚えるよう声をかけ自分の場所をつかませる	・順番を守ることができるように ・体重・身長をはかる ・ゲームをする ・戸外あそび(ウルトラユニオンサンクル、鉄棒)一の子がよく練習する—K子、M子、T子、E子)	○所持品の始末 ○トイレの使い方の指導 ○体重・身長をはかる(他のクラスと合同でクラスごとに別れてはかる) ○戸外あそび(鉄棒・ブランコ・ボール・長縄・ウルトラユニオンサンクル)	○所持品の始末 ○トイレの使い方の指導 ○体重・身長をはかる ○戸外あそび(ダンボールを使って遊ぶ(中に入って遊ぶ、切ったりして好きなものをつくる) バス・車をつくる、男の子と女の子に分かれてつくる(協同で)(切る、ガムテープで貼る) ×戸外で遊ぶ(ウルトラユニオンサンクル・ブランコ・砂遊び・すもう) ○絵本(チャイルドブック・がくしゅう) ○紙芝居 ○手遊び	○ダンボールを使って乗り物をつくる (ハサミの使い方を充分に気を付けさせる) ○絵本をよむ ○ふろくをつくる ○手遊び	○ダンボールを使って乗り物をつくる (ハサミの使い方を充分に気を付けさせる) ○絵本をよむ ○ふろくをつくる ○手遊び	○爪の検査をする ○爪の検査をする
備考	・一緒に跳んだり後ろから背中に触れることでタイミングをつかませていく。	・花を大切にすることを知らせる ・ハサミやカッターを使用する時は必ず前につき事故のないように見守る ・並んだあとに人ひとりでよく見守る ・前の人には手を使はした時にあたらしくらいに離れて並ぶ ・花の水やり	・花を大切にすることを知らせる ・ハサミやカッターを使用する時は必ず前につき事故のないように見守る ・並んだあとに人ひとりでよく見守る ・前の人には手を使はした時にあたらしくらいに離れて並ぶ ・花の水やり	19 日 ・金	18 日 ・木	17 日 ・水	16 日 ・火	
長繩	・一緒に跳んだり後ろから背中に触れることでタイミングをつかませていく。	・花を大切にすることを知らせる ・ハサミやカッターを使用する時は必ず前につき事故のないように見守る ・並んだあとに人ひとりでよく見守る ・前の人には手を使はした時にあたらしくらいに離れて並ぶ ・花の水やり	・花を大切にすることを知らせる ・ハサミやカッターを使用する時は必ず前につき事故のないように見守る ・並んだあとに人ひとりでよく見守る ・前の人には手を使はした時にあたらしくらいに離れて並ぶ ・花の水やり	20 日 ・土				

(4) 月 (3) 週・日案・日誌

年長

評 価 ・ 反 省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		行事など	実 施 記 録
	ね ら い	ね ら い		
生 活 す る も の の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・年長であることの自覚を持ち、小さい組のお世話やお手伝いを進んで行う姿を見られる ・大型つみ木に興味を持ち、皆で仲良く積み重ねて遊んでいる ・ダンボールを利用して自分で工夫しながら何人かのグループで協力して一つの物を作りあげようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びに自分から取り組み十分に楽しむ ・自分の思っている事を伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、友達と一緒にイメージをふくらませて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃材の呼びかけ ・庭園のお知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> ○集合(出欠点検)(園長先生の話) ○写真撮影 ○クラス別ゲーム(長縄) ・人間椅子取りゲーム・鬼ごっこ ○自己紹介
評 価 ・ 反 省	22 日 ・ 月	遠 足 (平和台 公園)	○自由にあそぶ(アスレチック) ・昼食 ・集合 ・解散	
生 活 す る も の の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び(長縄・鉄棒・ボール) ・グループ決めを行なう ・室内遊び ・英語で遊ぶ ・ゲーム遊び ・飼育担当 ・遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が身体を動かして遊びたくなるように、教師も仲間に入りながら思いきり身体を動かして見せたりする ・はじめなので、できるだけなりたい子となるようにする ・自分でやつみようという意欲をもち、挑戦する気持ちが持てるように誘ったり、友達の中で胸をつくって出来る緊張感をつくっていく ・先生の紹介をこめて全員でホールに集まる ・皆がやり方を十分に理解して楽ししく参加できるように分かりやすく説明する ・動物植物をよく観察し先生と一緒に成長する姿を見る ・先生が怖がらずに直接触れることで、安心感をもたせる ・ジョーロ・スコップ等は灰山準備室、皆が参加できるようにする ・番号や前後の位置にしっかりと覚えるように手を伸ばしてどれくらい間をあけるか確かめさせる ・保健用具、着替えを置く位置は全員(保護者)の方にお伝えする ・こいのぼり作り ・楽しいコンサートに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で遊んでいる子がいたら出さるだけ友達と遊ぶようにお互いに説いてあげる ・はじめなので、できるだけなりたい子となるようにする ・自分でやつみようという意欲をもち、挑戦する気持ちが持てるように誘ったり、友達の中で胸をつくって出来る緊張感をつくっていく ・先生がやり方を十分に理解して楽ししく参加できるように分かりやすく説明する ・動物植物をよく観察し先生と一緒に成長する姿を見る ・先生が怖がらずに直接触れることで、安心感をもたせる ・ジョーロ・スコップ等は灰山準備室、皆が参加できるようにする ・番号や前後の位置に1日に一度は並びっこをする ・保健用具、着替えを置く位置は全員(保護者)の方にお伝えする ・こいのぼり作り ・楽しいコンサートに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ○戸外で遊ぶ(長縄・固定遊具・鉄棒) ○ダンボールで遊ぶ ○給食食べる ・E子・M子が牛乳をいやがる ・K男がパンを1/3くらいしか食べれない ○絵を描く ×戸外遊び ○英語で遊ぶ(ネリダ先生と一緒に楽しくうたったり手遊びをする) (しつかり先生の顔を見て話をきく) ・絵を描く ○お手紙ごっこ(ポストに入れる) ○戸外遊び ○お手紙ごっこ(ポストを利用) ○英語で遊ぶ(ネリダ先生と一绪に楽しくうたったり手遊びをする) (しつかり先生の顔を見て話をきく) ・1クラスずつうたう ・絵を描く ○お手紙ごっこ(ポストを利用) ○戸外遊び(のぼり棒・たいこ橋) ○うたをうたう(ママとゴーゴー) ○グループ表をつくり上げる ○自由画 ・表現遊び(うさぎ、カエル、チョウチョ、ソウ、ヘビ) ○英語で遊ぶ(ネリダ先生と体を動かして楽しく遊ぶ) ABC・Good morning to you 音楽をかけて行うと子どもがとても喜ぶ(stand up, sit down, jump, turn, walk, run) ○うたをうたう(ママとゴーゴー) ×戸外で遊び(長縄に挑戦する) ・楽しいコント ○うたをうたう ○手遊び ゲーム) ○楽しいコンサート(ホールへ移動する) (音楽をきく)

5月の計画

年長

指導の内容		環境構成	予想される子どもたちの活動	配慮事項
<p>・英語のレッスンが始まり子ども達もネリダ先生と親しみをもつてきている。単語も少しずつ覚え、楽しく参加している。</p> <p>・自分から体操服に着替えない子が多いようである。</p> <p>・所持品の始末がまだ徹底していないようである。</p>	<p>・身近な材料を使つて、友達と共に通の目的をもち相談したり、工夫したりして作り上げる</p> <p>・進んで体操服に着替え、身体を思、きり動かして元気に遊ぶ。</p>	<p>・墨くなり汗をかきやすくなつてきているので、下着を脱いで</p> <p>・巧技台を組み立てておき側に教師がついて安全にあそべるようにする</p> <p>・声をかける</p> <p>・伸びのびが描いたりつくりたりできるように挨拶や用具を部屋の中に豊富に用意しておく</p> <p>・出入口で遊ぶと邪魔になり危険もあるので、広いところで遊ぶようにさせること</p> <p>・室内では走らないように言葉かけし、安全を1人ひとりが考え行動できるようにする</p> <p>・なぜ走つてはいけないのかといふことの指導</p> <p>・絵本を見たり絵を描いておく</p> <p>・歌を覚えやすいように、ピアノで機会を見つけ</p> <p>・メロディーを弾くことで指で少しづつとつはげないようにしつかり押さえる</p> <p>・英語であそぶ時は、全員がネリダ先生の顔が見え声が聞こえるようにして、口の動きを見やすく正しい発音が聞こえどりやすくなる</p> <p>・当番活動は、全員が参加できるようにする</p> <p>・検診や予防接種では他人の迷惑にならないよう静かにし、落ち着いた雰囲気をつくる</p> <p>・放送のボリュームは常に大にしておく</p>	<p>・戸外あそび</p> <p>・フルーツバスケット</p> <p>・ウルトラユニオンサンサークル</p> <p>・木登り</p> <p>・巧技台</p> <p>・太鼓桶</p> <p>・ボールあそび</p> <p>・ドッヂボール</p> <p>・ブランコ</p> <p>・のぼり棒</p> <p>・つなひき</p> <p>・長い繩</p> <p>・鬼ごっこ</p> <p>・水電</p> <p>・砂あそび</p> <p>・巧技台</p> <p>・室内あそび</p> <p>・大型積木</p> <p>・ままごと</p> <p>・籠材である</p> <p>・牛乳パック</p> <p>・ダンボールで作つて遊ぶ</p> <p>・歌「ママとゴーゴー」</p> <p>・紙芝居</p> <p>・色紙</p> <p>・身体計測</p> <p>・自由画</p> <p>・粘土</p> <p>・人形</p> <p>・母の日のプレゼントづくり</p> <p>・ピンクッション</p> <p>・ちぎり絵</p> <p>・お母さんと一緒にゲームをする</p> <p>・ビヨンビヨンカエルをつくる</p> <p>・花の水やり当番</p> <p>・英語であそぶ</p> <p>・仲間つくり—one two three four five six</p> <p>・育児当番</p> <p>・誕生会</p> <p>・避難訓練</p> <p>・内科検診</p> <p>・日本脳炎予防接種</p>	<p>・所持品の始末がすんだら、シャツを脱いで体操服の上下に着替えてから遊ぶように促す。</p> <p>・道具にぶらさがついている時は、突然手を放さないように気をつけさせ安全を確認してから降りるように指導をする。</p> <p>・母親の毎日の仕事について話し合つたりするなかで感謝の気持ちをもつ。</p> <p>・長風遊びで回っている繩の中にはうまく入れない子がいたら、手をひいて一緒に入り、タイミングをつかませる。各クラスに長縄を1本ずつ配布</p> <p>・はだしで遊んだ後は、水の入っているバケツの中には足を入れ両手でこすって、砂を洗い落とすよう声をかける。</p> <p>・大型積木で遊ぶときには必ず上ぐつをはいり遊ぶように指導し、高く跳み上げるときは周りの安全に気をつけさせる。「なげない」ハサミを使う時は約束を守りながら、線の上をしきり見ながら切ら切るよう声をかける(ピンクション)。年少・中の友達が年長の遊びをそばで見ていれば、積極的に遊びにきそうよう促す。</p> <p>・自分でイメージして友達と関わり合いながら自作するよう、籠材や接着剤に慣れておく。</p> <p>・当番活動に過激的な子には声をかけ、そばについて教師と一緒に取り組み無理なくすめていく。</p> <p>・警報機のサインが聞こえてきたら、まずは放送をきいてから、教師の指示にそばやく近くに注意しておおく。</p> <p>・ゲームでは友達を応援する中で、勝つ喜び、負けたくやしさを知る。</p> <p>・注射に対して不安を感じている子には、そばについて声をかけ安心させる。</p> <p>・注射の具が床につかないように新聞紙をひく。</p>
<p>・生活する子どもの姿</p>	<p>・環境構成</p>	<p>・言葉表現</p>	<p>・静かな雰囲気の中で音楽を聞く喜びを味わう</p> <p>・座り方の検討(年長・年少中と交互通じる)</p>	<p>・体操服は下着を脱いでから着替え、汗の始末も怠らないよう指導する。</p> <p>・サインが聞こえたら、まずは放送に耳を傾け、その後、先生の指示に従うよう指導。</p> <p>・スロー、廊下を走らない</p> <p>・手洗い、うがい、ツツ業口手指・避難訓練(カラー帽子の徹底)…カラー帽子の必要性を知らせる。</p>

母の日のプレゼント作りでは、年中の頃に比べ、1人ひとりが丁寧に作ろうという気持ちがでてきたようである。固定遊具に挑戦し、できなかつた事ができるようになれるようだ。中には、友達と遊びを楽しむが、ドッヂボールや長縄・相撲などを楽しんでやっていたようである。中には、ケンカもあるが、自分達で解決していくようにもなってきた。初めての避難訓練を行い、2階から避難の仕方にについて指導を行う。

評価

価値

(5) 月 (1) 週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項			行事など	実施	記録
	户外遊び	室内遊び	ゲーム遊び			
生子どももする姿	<ul style="list-style-type: none"> 新入園児のお世話をしたことから、年長としての意識が高まってきた。 いろいろな遊びに興味をもって取り組む中で、新しい友達関係もできつたある。 ほとんどの子どもが尊んで登園し、生活に落ちきりが見られるようになつたが、中には、まだ落ちつかない子もいるような状態である。 	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達とかかわって遊びながら、友達とのつながりを楽ねらう。 いろいろな遊びかたを自分たちで考え、試し工夫して遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 天気の具合をみながら、スター・ランコ・砂場セット・長繩などの道具を準備しておく。 工具して作ったり、楽しんでごっこ遊びができるよう、座布団や新聞紙をたくさん準備しておく。 部屋の入口に危険があるので広いところで遊びせる。 皆がルールを早く、十分に理解できるよう簡単なおもしろいゲームをたくさん用意しておく。 男、女別にしたりすることで変化をつけ意識をもつてうたえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具は腰に合って使うことを年少・中に教えるよう年長に声をかける。 小さい組にできるだけ、ゆずりながら遊ぶように声をかける。 大型積木で遊ぶときは、必ず上ぐつをはいて遊ぶように気を付ける。 工具して遊ぶときには、必ず工具を手渡す。 音をかけている子には、声をかけ、楽しい雰囲気で遊べるように導く。 男、女別にしたりすることで変化をつけ意識をもつてうたえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会(園庭) (シートをひいておく) 自己紹介 (うたをうたう) プレゼント渡し (花あてクイズ) 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外あそび(鉄棒、長繩、ウルトラユニオン、雲梯) 絵本 ・並びっこ 歌唱指導「ママとゴーゴー」
ねらいい				30日・火	<ul style="list-style-type: none"> 母の日のプレゼント作り① K・Y男 M・Y男 がなかなかしようしない ・絵本 ○色紙をちぎってはり絵をする (お母さんの顔) 白いところがなくなるくらいにきれいにはらせる 母の日のプレゼント作り② ・色紙をちぎってはり絵をする (お母さんの顔) ○戸外あそび (鉄棒・ウルトラユニオン・ボール・長繩) 母の日のプレゼント作り③ ・うたをうたう (ママとゴーゴー) ○ABCのうたをうたう (お母さんの顔) 戸外あそび (鉄棒・ユニオンサークル) 花の水やり 	
				1日・水		
				2日・木		
				3日・金		
				4日・土		
					備考	

(5)月(2)週・日案・日誌

年長

生 子 ど も 生 活 す る の 姿		・母の日のプレゼントづくりでは、自分の母親の顔を思い浮かべながら丁寧に仕上げようとする姿が見られた。 ・気候も良く、体操服に着替え戸外で伸びている。 ・所持品の始末が難になりがちで、個人指導を行っている。		評 価	今週は、母の日のプレゼント作りが主となつた。子ども達は、お母さんへの贈り物という事で、意欲的に取り組んでいたようである。随分、年長になつたことで作品を見ても細かい面で、丁寧になきてきているようだ。しかし中には、のりの使い方もうまくできない子、ハサミの使い方がうまくできない子もある。そういう子には、個人的に指導していく必要があるようだ。	
ね ら い	ね ら い	・自分なりの目的やイメージを持ち、工夫しながら丁寧に作品を仕上げる。 ・身の回りの事など自分がうき清潔にする。	・母の日のプレゼント(ピンクッシュショーン)の材料(はぎれ・ストックシング)を持ってきてもらいう	振替休日	行事など	実 施 記 記 錄
予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項						
○母の日のプレゼントトづくり	・母親にプレゼントする事を理解し、丁寧に仕上げる。	・側ににつき安心感をあえたながら丁寧につくらせる。	M子、K-Y男	7 日 ・火	○母の日のプレゼントづくり No.2 絵本 (5月号) はりさしをつくる (型) ・型を切る・模様をつける・のりづけをする) ×戸外遊び (鉄棒・ウルトラユニオン・サークル・ボールあそび) ○うたをうたう	
×巧技台あそぶ	・教師が組み立てて乗つてみて安全であるかどうか確認がある。	・安全に気を付け、怖がらずに参加できるよう励ましながら自分の力でできるようにする。	・長いとこで感じとらせんの顔をつくらせる	8 日 ・水	○母の日のプレゼント作り No.2 絵本 (5月号) はりさしをつくる (型を切る) (ボール紙) 側について丁寧にきらせる ○絵本 (5月号) ○うたをうたう (ママとゴーゴー)	
○戸外あそぶ	・体操服に着替え、汗をかいたり汚したりを気にせずに活動できるようになる。	・汗をかいたり汚したりを気にせずに活動できるようになる。	○自由画	9 日 ・木	○母の日のプレゼント作り No.2 絵本 (5月号) (ストッキングの上に布をつけ、セロテープでとめる) （ボンドでくっつける）リボンつけを行う ○戸外あそぶ (ウルトラユニオン・数数) ○粘土 (チャイルドブック) ○絵本 (チャイルドブック) ・英語で遊ぼう	
○室内あそぶ	・室内は絶対に走らないように言葉かけする。	・友達を説いてあわせで多くの友達と一緒に走り楽しくあそぶ。	○鉢当番	10 日 ・金	○戸外あそぶ (ウルトラユニオン・サークル・鉄棒・ボール・○長縄・ごっこ遊び) ・先生が一緒に進んで行くことで子ども達がやろうという意欲をもてるようになる ・ネリダ先生の顔を全員が見えるようにする	
・粘土	・特に雨の日は、湿っていてすべりやすいので常に雑巾で拭いておく。	・いつも水でぬぐっておいて机の上にさといかけをし、全員 (できるだけ多く) で行えるようにする。	○花の水やり当番	11 日 ・土	○戸外であそぶ (長縄・鉄棒・木登り・ウルトラユニオン) ・廃材で好きなものをつくる (牛乳パック・カップ等) ・絵本をよむ	
・絵本 (5月号)	・昔にさといかけをし、全員 (できるだけ多く) で行えるようにする。	・前日に子ども達に鉛の協力を求めることにする。	○英語であそぶ		○うたをうたう (ママとゴーゴー)	
・自由画	・昔にさといかけをし、全員 (できるだけ多く) で行えるようにする。	・汚いところも洗い進んできれいにする。	○英語であそぶ		○うたをうたう (ママとゴーゴー)	
○英語であそぶ	・先生が一緒に進んで行くことで子ども達がやろうという意欲をもてるようになる	・まだがえて覚えないようにその発音を伝える。	○英語であそぶ		○うたをうたう (ABC・Good morning) ○曲に合わせてうたう、動く	
・単語 接觸	・ネリダ先生の顔を全員が見えるようにする	・音韻正しい発音に触れ、ネリダ先生の口の動きを見たり、しっかり話を聞くようにする	○英語であそぶ		○戸外であそぶ (長縄・鉄棒・木登り・ウルトラユニオン) ・廃材で好きなものをつくる (牛乳パック・カップ等) ・絵本をよむ	

備考

（ 5 ）月（ 3 ）週・日案・日誌

年長

(5) 月 (4) 週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもたちの活動・環境構成・配慮事項		行事など	実施	記録
	生子どもする姿	生活			
・参観日のゲーム遊びでは、普段、消極的な子ども母親と共に楽し くゲームに参加する姿がみられた。 ・体操服に着替える習慣は身についたようだが衣服の調節をしな いで汗をかいてしまま遊んでいる。	・身のまわりに気をつけ、清潔な習慣 を身につける。(顔洗い、手洗い、う がい、汗の始末) ・友達同士で遊びを教え合ったり、ルー ルを決めたりして仲良く遊ぶ	・廢材の呼びかけ ・体操服を毎日持 つてきてもらう	保育科実習前教育	・戸外あそび(巧技台・ウルトラユニオンサークル・鉄棒・長縄・すもう)	今週は、廢材やダンボールを使っての遊びが盛んになり、子ども達もとても喜んでやっていたよ うである。また今週は、大きなダンボールなどを利用させて、今までよりもダイナミックな ものに挑戦させた。子ども達は、喜んで取り組み、またできたものを使ってよく遊んでいたよ うだ。これからは雨も多くなりますので、もっと廢材を集め、たくさん経験させてあげたい。
・汗をかいながら自分で活動させる ・汗をかいたら自分でしつかりふく よう■をかける	・廢材遊びでは、ボンド・ガムテー ブ・ビニールテープ・セロハン テープなどの接着剤を十分に準備 しておく	・高い選手から盛りるときは周りの 安全を確保から行うように指導 する	20日・月	・えの具遊び(友達の顔) ・粘土・絵本・紙芝居・歌唱指導	
・汗をかいながら自分で活動させる ・汗をかいたら自分でしつかりふく よう■をかける	・接着剤の使用は無駄のないよう、 自分で使って使うよう声をかける ・先々に監修を伝え、自信をもつて うたわせる	21日・火	・戸外あそび→ウルトラユニオン・鉄棒・鬼ごっこ・長縄 ・廃材でピヨンピヨンカエルをつくる ・歌唱指導(はたけのポルカ) ・粘土		
・汗をかいながら自分で活動させる ・汗をかいたら自分でしつかりふく よう■をかける	・簡単な箇所もけつしてふぞげけてす ることがないように注意する ・広いスマスを使つて巧技台をおく ・全員にネリダ先生の口が見えるよ うにする ・全員が広々と参加できるよう外で 行う	22日・水	ゆりぐみ 研究保育	・戸外あそび(×長縄・ウルトラユニオンサークル) ・廃材で乗り物をつくる ・粘土 ・自由画	・グローブシャングル ・木登り ・鉄棒 ・うたをうたう(はたけのポルカ)
・汗をかいながら自分で活動させる ・汗をかいたら自分でしつかりふく よう■をかける	・簡単な箇所もけつしてふぞげけてす ることがないように注意する ・広いスマスを使つて巧技台をおく ・全員にネリダ先生の口が見えるよ うにする ・全員が広々と参加できるよう外で 行う	23日・木	・ダンボールで作つて遊ぶ (車をつくる ヘリコプターをつくる おふろをつくる 家をつくる	・粘土 ・ダンボールで作つて遊ぶ	・紙芝居
・汗をかいながら自分で活動させる ・汗をかいたら自分でしつかりふく よう■をかける	・注射に対して不安を感じている子 には両をかけ、安心させる ・注射をする方の手に印をつける ・前日に子どもたちへ頭の協力を呼 びかける	24日・金	日本脳炎予防接種 1回目	・巧技台(外に出す) ・粘土 ・自由画 ・つみ木	・ダンボールで遊ぶ→昨日、使つた車・家 (廃材) 英語で遊ぶ(全園児)
・汗をかいながら自分で活動させる ・汗をかいたら自分でしつかりふく よう■をかける	・注射に対する不安を感じている子 には両をかけ、安心させる ・注射をする方の手に印をつける ・前日に子どもたちへ頭の協力を呼 びかける	25日・土	・巧技台 ・粘土 ・自由画 ・ダンボールで遊ぶ(自分達でつくったのりもの)		
備考					

年長

(5)月(5)週・日案・日誌

生 子 ど も る の 姿	・実習生が来て喜んでいたりする反面、落ち着きのない様子も見られた。また天気も悪く、室内で粘土や自由画・絵本・テレビ視聴という活動が多い。 ・廃材が沢山集まつた時は、ハサミやテープ・のりを使い思いおもいに製作する姿がみられる。	評 価 ・ 反 省	今週は、ほとんど雨になり室内遊びが主となつた。廃材もその為によく利用され、すぐになくなつた。しかし、テープの使い方に少し無駄があるよう思えた。のりですむところもセロテープを使う面が見られたので指導してきました。また、かたつむりがたくさんいる時期なのでよく見つけに行き、遊んだりさせたいと思う。				
			・来月の予定について	・家庭	行事など	記録	
ね ら い	・安全に気を付け身体を動かし、でき ・体操服に着替え、汗の始末も自分から う気付いて行う	27 日 ・月	避難訓練	フルーツバスケット ○歌唱指導 (パパはママが好き) ○避難訓練 (年長になつてはじめて行う) 室内と戸外に分かれて遊んでいた ○戸外あそび (○ウルトラエニオン・長編・鉄棒・ブランコ・砂遊び) 「スモックは必ずぬがせる	マテで遊ぶ (牛乳パック利用)		
			予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項				
			戸外あそび・毎日 雨がつづく 泥んこあそび かたつむりをさ がし、観察する 室内あそび 色紙であじさい を折る	・汚れてもいいことを伝え、安心し て泥んこになるように仕向ける ・長襦袢をいつでも取り出しあげないと ころに置き、また搬足でもんさんで いる子のため、バケツを置く ・廃材等はいつでも使えるように ・色紙をたいておき、自分の好き な色がえらぶるようにしておく ・放送のボリュームは常に大きめにし ておき、いつでも聞こえるよう にしておく ・出入口には規範になるようなもの のをおかない	・顔にはかけずだけをねらうよう約 束する ・自分の身体は自分で支えたりと安全 に気をつけ、友達を誘つて多勢であ そぶるよう働きかける ・かさのよい子にはさきをかけてあげる ・室内をなぜ走つたらいいかの再 仕向ける ・角と角をしつかり合わせるように声 をかける ・今はどうすべきか子ども自身も判断 して、保育者の指示に従い、機敏にそ して真剣に参加する ・知つてからには参加して一緒に うたうように声をかけ、一曲楽しみ を増やす	楽しいコ ンサート ×戸外あそび (ウルトラエニオン・タイヤ・鉄棒・砂遊び) ○廃材で遊ぶ 絵本 「靴をつくって遊ぶ	○楽しいコンサート (2Fホール) 初めてということもあり少々騒がしさが目立つ (知つている曲は口づさむ子もいる) ×戸外あそび (ウルトラエニオン・タイヤ・鉄棒・砂遊び) ○廃材で遊ぶ 絵本 ×戸外あそび (リレー (少しずつ、経験させていく)) (あじさいをつくる) -全員は参加しない (半分) ウルトラエニオンサークル 絵本 ○うたをうたう (ダンスをいれながら楽しくおぼえる) ゲーム ちゅうりつぶも踊んでたのしくうたう 粘土・自由・整理整顿
			○避難訓練	28 日 ・火			
			○楽しいコンサート 絵本 ○粘土 ×ゲーム (フルーツバスケット) ○新聞紙であそぶ (剣をつくる)	○色紙であそび ×戸外あそび (フルーツバスケット) ○うたをうたう (ダンスをする) ○かたつむりをさがす 「雨があがつたので全員で外にでる 粘土・自由・整理整顿	○色紙であそび -昨日参加していない子どもも参加する (あじさいをつくる) ○うたをうたう (ダンスをする) ○かたつむりをさがす ○英語で遊ぼう (私は5才、6才というのを英語で言う) (I am Five. (stand up. sit down....)) (グループアブシリ 1. 2. 3...) ○新聞紙であそぶ ○絵本をよむ ○うたをうたう (はたけのポルカ) -おどりを入れて楽しくうたう ・かたつむりをさがす 半分ぐらいいの子どもが参加 (かさをしてとりに行く)		
			○英語で遊ぶ 絵本 ○英語であそぶ 巧台であそぶ	30 日 ・木			
			○楽しいコンサー ト 絵本 花の水やり当番	31 日 ・金			
			・年少・年中組と交互で座ること により、落ち着いた緊張感で聽 けるようになります ・全員が参加できるよう言葉かけ を行い、野菜を前日に持つてく るよう話し、じょうろ等水を入れ れる物を準備しておく ・安全であるかどうか保育者が試 しに乗つてみて、確認する ・ネリダ先生の顔を全員が見える ようにして、口の動きも見えや くする ・伸びのびとできるようにホール で行う (年長のみ)	・歌をうたう時の表情をよく見たり、 一緒にうたったりして、楽しくコン サートに参加する ・汚いところの清掃を嫌がる子にもな ぜきれいにするのか考えさせ、進ん だ当番活動に参加する意欲を持たせ る ・できるからうとういう意識であわてない ように、しゃべり自分の手と足で體 實に行うようになる ・乗つてみる、しゃべり自分の手と足で體 實に行うようになる ・安全であるかどうか保育者が試 しに乗つてみて、確認する ・ネリダ先生の顔を全員が見える ようにして、口の動きも見えや くする ・一緒に動いたり話したりして、言葉 と一緒に動かし、楽しめること ・動作が一致し、楽しさ参加できる ・声が漏るようには話をされている時は、 必ずネリダ先生を見るように声をか ける	・絵本 ○粘土 ×ゲーム (フルーツバスケット) ○新聞紙であそぶ ○英語で遊ぼう (私は5才、6才とい うのを英語で言う) (I am Five. (stand up. sit down....)) (グループアブシリ 1. 2. 3...) ○新聞紙であそぶ ○絵本をよむ ○うたをうたう (はたけのポルカ) -おどりを入れて楽しくうたう ・かたつむりをさがす 半分ぐらいいの子どもが参加 (かさをしてとりに行く)		
			○英語であそぶ 巧台であそぶ	1 日 ・土			
			○新 聞 紙 で 遊 ぶ (剣 を つ く る) ○うたをうたう (ハハバはママが好き) ○かたつむりをさがす ・戸外で泥んこあそびをする (友達の足をめがけて投げる)	×紙芝居 魔杖であそぶ			
			備 考				

7月の計画

指導の内容	環境構成	予想される子どもの活動	配慮事項	
			家庭連携	年中
<p>子どもの生活する姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 梅雨で部屋の中での活動が多く、折り紙や父の日のプレゼントづくりと、落ち着いた活動を行うが、雨が上がりと泥んこあそびを楽しんでいた。水あそびが治まつたが、経験もあるので怖がる者もおらず楽しんで水あそびに参加する。実習生との出会いと別れを経験する。 	<p>友達と協力して、試したり工夫したことなどを、友達にわかるよう伝えていることを、友達にわかるよう伝えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の考え方を聞こうとする 友達と遊び方を考えたり、工夫したりしながら遊びを進める 遊びに必要な遊具や材料を選んで使う 友達と力を合わせて遊びが満足感を味わう 七夕飾りでは友達と一緒に作業しながら、よく考えて協力してつくる楽しみを味わう 疑問に思ったこと、興味を持つたことを、いろいろな方法で試したり、考えたりする 人間関係・水あそびでは頭からとびこむ要領を知る 人間関係・水の中でいろいろな動きを楽しむ 遊びの中で自分なりの目標をもって、挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの考えたことを十分に試せるような場を作り、それに必要な材料・用具などすぐに出せるように準備しておく 一人ひとりの疑問に思う気持ち、発見した喜び、感動などを受け止め一緒に共感し合う 虫とりあみを準備しておき、友達と一緒につなげて楽しむ いろいろな木材を豊富に用意しておき、自由に選んで工夫し遊んだり作ったりできるようにしておく 身長計、体重計は危険でない場所で計り、スムーズに計れるようになる プールでは教師自身が楽しみながら、いろいろな動きをしてみせる プールの中で遊べるものを用意しておき、長いろいろな使い方を試し、友達とのかかわりを持ったて遊べるようにする プールに入つた後は静かにゆつたり遊びぶよう声をかけほとんどもに、木陰や保育室にコーナーを設定する 表現表現・暑いときの生活の仕方がわからず進んで行く 現象現象・身近にいる生き物に興味を持つて接する親しみ、愛情をもつて接する 環境・星に興味や関心を持たせ名称も知る 言葉・長い休みに入ることを知らせ、皆で必要な事を考え、出し合い、夏休みが送れるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に作業を楽しむ 自分なりの目標をもって挑戦する 普段の身の回りの整理整頓を進んで行う お泊まり保育にて水あそびをする お泊まり保育にて星を観察する お泊まり保育にて星を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に作業を楽しむ ・自分なりの目標をもって挑戦する ・普段の身の回りの整理整頓を進んで行う ・お泊まり保育にて水あそびをする ・お泊まり保育にて星を観察する ・お泊まり保育にて星を見る

(7) 月 (1) 週・日案・日誌

年長

生子 ども する の姿	雨が続き、戸外にて体を十分に動かしながら発散することができることもあり、室内で走り回ったり、騒いだりすることがよくあった。プール遊びでは、フープを使用することがんばってみよう(もうぐる)と意欲的に取り組む姿を見られた。とびこみも興味を持ち徐々に挑戦してきている。	評価 ・ 反省	今週はプールに入る回数が多かった。今までよりも多少無理やりという面もあつたが、怖がる子もやつただけ慣れてきて、泣いていた子もスムーズに入れるようになってしまった。とびこみの方も、勇気がでてきて随分とびこめるようになってきている。多少は、ぐっとひっぱることも大切だと思う。	
			・ 勇気をだして、目標に向かって行事など	・ 行事など
ね ら い	・ 挑戦する気持ちをもつ ・ プール飾りは、目的を持って、試し たり工夫したりしながら作ることを楽しむ	1 日 ・ 月	・ プール用具は、毎日持たせてく ・ 家庭連携	・ プール遊び (バタ足、もぐる、とびこみ) ・ 絵本 (チャイルドブック) ・ 粘土・自由画 ・ M子ができる
予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項			・ うたをうたう ・ 2人組になって体操をする	・ ゲーム
○プール遊び ○七夕かぎり	・ 手のところまでとんでもくるように水しぶきをかける子には人が嫌がる し、必ず受けとめる ・ フープやカップ等を使いながら、少しでも楽しんで水の中に入 れるように仕向ける ・ 不安がある子には、手を握ったり、抱きかかえたりしながら、安心感 をもたらす ・ 教師が作ってみせることで、子どもたちがお題の事を書いているかを確 認し、全員で1つのななばたを上げる ・ なんざくや、さきの葉を置いておくことで、興味をひかせる	2 日 ・ 火	・ プール遊び (とびこみ、バタ足、顔つけ) ・ 七夕についての話をきく ・ 七夕かぎり (輪つかづくり 色紙) ・ チャイルドブック (7月号)	・ プール遊び (とびこみ、泳ぐ) ・ 七夕かぎりをつくる (輪つか、色紙) ・ 絵本 (チャイルドブック 7月号、ふろくづくり) ・ 粘土ビデオを見る (英語で遊ぼう)
○歌唱指導 (ハメハメハ) ○並びっこ	・ 部屋の中のかざっておくことで空 間気を盛り上げる テラス ・ ベーブサートを見たり振りをつけ ながら、楽しく覚えられるように する ・ プールの前に行ったりしながら無 理なくできるようにする の都度声をかける	3 日 ・ 水	・ 部屋の中のかざっておくことで空 間気を盛り上げる ・ 叫んでいる時はその都度やめさせ、丁寧にうたうようにし ・ プールの前に行ったりしながら無 理なくできるようにするにそ の都度声をかける	・ プール遊び (とびこみ、バタ足、もぐる、英語で遊ぼう) ・ 七夕かぎり (輪つかづくり) ・ 絵本 (ふろくづくり) ・ うたをうたう ・ プール遊び (とび込み、バタ足) ・ 七夕かぎり (輪つかづくり) ・ 絵本 (ふろくづくり) ・ 並びっこ ・ フォークダンス (マイムマイム) -お母さんと一緒におどる ○粘土 (熊ちゃんおんんど) ○つみ木 ○戸外あそび ○七夕のたんざく書き ○戸外遊び
備 考	・ えきだ番 花の水やり ・ 自由画 (見て描く) ・ 絵本指導 (7月号) 英語で遊ぼう	4 日 ・ 木	・ 子どもに実験中にに入らせ、一緒にほつきをもたせ、掃除をさせること で清潔にすることを意識させる ・ 自分の描きたいものを作り、それを決めさせ、できるだけ本人が思っているもの を認めてあげる	・ 一度に入ると動けないので、交代に中に入り、全員が経験できるよう する ・ 1人ひとりのいいところを具体的にほめながら、自信をもつて描けるよ うにする
		5 日 ・ 金		
		6 日 ・ 土		

(7) 月 (2) 週・日案・日誌

年長

評価 ・ 反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		行事など	実施	記録
	ね ら い	ら い			
生子 じ も る の姿 す る	・プール遊びでは、自分なりに取り組んできた事を教師に認められ、喜んだり、友達の刺激を受けて更に頑張ろうとする姿 ・お泊まり保育を楽しみに友達同志の会話も盛りあがっているが見られる。 ・出来ない事、苦手な事にも挑戦心をもって取り組む ・お休みまでの毎日を有意義にすごす	家 庭 連 携	・体操服・水着を毎日もたせてく ださい。 ・運動会お手伝いのお願い	8 日 ・ 月	お星さま 誕生会
生活する 子ど も の姿 す る	・普段よりも離れる事を不安がっている子もいる。				
・ 評 価 ・ 反省	今週は、つなぎや玉入れ・並びっこなど、全園児での遊びを取り入れていった。特に、うんどう金だからという事で、少しずつ取り入れるので、子ども達も喜んで参加しているようである。ホールの方では、それぞれが自分の目的に向かって排撃してきている。あと残り一週間である。この一週間に全員が楽しくそして目的を達成していくように保育していくたい。				
①プール遊び	・一人ひとりの状態に応じ目標をはっきりさせたり、友達のやっていることを伝えたり、友達と一緒にやってみせたりし、いろいろな動きを試せるようにする。	②つなぎ ③玉入れ	・ひとりひとりが課題を持ち、それに向けて力を発揮できるよう励ます ・ホールに入れない子どもも遊びが楽しめるようにジーロや発射用意し、プールから離れすぎないようにする。	9 日 ・ 火	①プール遊び（とびこみ、ばた足） ②並びっこ ③つなぎ一笛の合図で動くことを指導 ×絵本
・たけのこ体操	・先生が大きく動いてみせることで、子どもたちがびっくりする	④玉入れ	・ルールを子どもに分かりやすく説明し、楽ししく参加できるようになる ・しっかりとご見て目的に向かって接げるよう伝える。	10 日 ・ 水	①プール遊び（Y子がとびこめる） ②並びっこ→休みがないとまっすぐ並べるが、間（休み）があくと並びにくいうで ③玉入れ（年少と一緒にくむ） ×フォーカダンス（マイムマイム）（赤ちゃん音ビ）
⑤並びっこ ⑥つなぎ ⑦玉入れ	・先頭と後ろの目印を決めさせ、常に同じ間隔がとれるようにする ・ラインを引いたり、円を引いたりする ・まるで、子ども達がとまどわないので接げるようする	⑧ダンス （マイムマイム） ・まちやん音頭	・周りに危険な物がないか点検し、ケガのないよう気を付ける ・教師が頭つけてみせることで正しい踊り方を身につけていく ・怒鳴らないでいいな声で歌うよう	11 日 ・ 木	①フォーカダンス（マイムマイム）（赤ちゃん音ビ） ②プール遊び（もぐったり、泳いだり、とびこみをする） ③户外あそび ④身の回りの整理整頓 ⑤ビデオ（英語で遊ぼう）
⑨お星さま誕生会	・上手におどっている子をほめることで、他の子への意欲づけをする ・教師が頭つけてみせることで正しい踊り方を身につけていく ・室内遊び	⑩お星さま誕生会に参加する	・リズミカルに曲をしっかり聞いて踊る事ができるよう指導する ・歌う時の姿勢を一人ひとりが意識して教えるように仕向ける ・背もたれにしつかり背中をつけて見る ・思い出としてしっかり残るようになります	12 日 ・ 金	⑥プールあそび（とびこみ） ⑦户外あそび ⑧見て描く（自分の描きたいもの） ⑨金魚・図かんにのってる虫 ⑩ビデオ（英語で遊ぼう）
備 考	・見て描く ・自分の描きたいものをその場所まで 行つて実際に見ながら描かせる		・見学後は子ども達と会話を設ける ・小さい組と交互に座らせ意識させる事 で里や宇宙に興味をもたせる ・移動の練習やホールで大きい組として の自覚がもてるよう、小さい組の面倒が見れるようにする ・えき当番・花の水やり	13 日 ・ 土	⑪楽しいコンサート （大坪記念ホール） ⑫クラネット （サクソフォーン ソプラノ独唱 他

(7) 月 (3) 週・日案・日誌

年長

子 ど も の 生 活 す る 姿	・お泊まり保育に不安を抱いて子が各クラスに数人いたが、参観日に親子で当日の企画の1つであるダンスを見えることで、いちらか安心できるようである。 ・プール遊びでは自分なりに目標を立て取り組み、教師や友達の励ましとともに、ほとんどの子がとび込めるようになった。	評価	今週は1学期最後の週なので、できるだけ一人ひとりの目標が達成できるようにと仕向けていた。プールの方ではなく子もいなくなった。 お泊まり保育では、不安がる子も多かったが、実際にやってみると、子ども達同志でとても楽しそうであり、泣く子もいなかった。1人ひとりが、よくがっばったと思う。										
ね ら い	・水の中で身体を伸びのびと動かし、家庭連携携 ・友達といろんな遊び方を楽しむ ・お泊まり保育や夏休みを迎えるための準備について、友達や先生と話し合った約束をする	・プール用具は毎日持ってきてもらいうて、親子大掃除についてお泊まり保育について	行事など	15 日 月	避難訓練	○プールあそび ○避難訓練(ちゅうりつぶから出火) ○体重・身長を計る ○戸外あそび	実施	記録	記録	記録	記録	記録	
予想される子どもの活動・環境構成・配意事項													
○プールあそび (英語であります)	・教師もゲームや遊びに取り組み、子供たちのパワーや大胆な動きを引き出す	・できただときは満足いくまでほめてあげ、次の目標にする。 ・遊びには周りの友達に声をかけ、気をつけて行るように注意させる。 ・何度もやり返し言うことで印象づける	16 日 火	○プール遊び ○歌唱指導(くらげくんのきもち) ○戸外あそび	×・フォークダンス —4クラス （アイスクリーム すいかの名産地 ハメハメハ）	○プール遊び ○歌唱指導(くらげくんのきもち) ○戸外あそび	×・フォークダンス —4クラス （アイスクリーム すいかの名産地 ハメハメハ）	○プール遊び ○歌唱指導(部屋・廊下・ホール・スロープ・庭)	○大掃除 (部屋・廊下・ホール・スロープ・庭)	○歌唱指導(アイスクリーム・すいかの名産地・ハメハメハ・くらげくんのきもち)	○歌唱指導(アイスクリーム・すいかの名産地・ハメハメハ・くらげくんのきもち)	○歌唱指導(くらげのきもち) 2番 ×フォークダンス(マイムマイム・熊ちゃん音頭) ○戸外あそび	○歌唱指導(くらげのきもち)
戸外あそび (英語であります)	・新しい単語の紹介はネリダ先生の口が見えるところで使う	・実際に体を動かしたり、声に出したり	17 日 水	親子大掃除	○大掃除 (部屋・廊下・ホール・スロープ・庭)	○歌唱指導(アイスクリーム・すいかの名産地・ハメハメハ・くらげくんのきもち)	○歌唱指導(アイスクリーム・すいかの名産地・ハメハメハ・くらげくんのきもち)	○歌唱指導(くらげのきもち) 2番 ×フォークダンス(マイムマイム・熊ちゃん音頭) ○戸外あそび	○歌唱指導(くらげのきもち)	○歌唱指導(くらげのきもち)	○歌唱指導(くらげのきもち)	○歌唱指導(くらげのきもち)	○歌唱指導(くらげのきもち)
○室内あそび (夏休みの過ごし方について)	・カレンダーに印をつけるなど、夏休みについて見通しを持たせる	・「なつのおともだち」を見せ、夏休みの過ごし方(約束、気をつけること)について考えるよう出向けていく	18 日 木	○運動会がついているものは、教室に投げ込むか、邪魔にならない場所に即しよける	・運動会開くようにその時に伝え集中させる ・運転免許証でどこに避難するのか教師や友達と一緒に判断し、機敏に行動するよう呼びかける	○運動会開くようにその時に伝え集中させる ・運転免許証でどこに避難するのか教師や友達と一緒に判断し、機敏に行動するよう呼びかける	○運動会開くようにその時に伝え集中させる ・運転免許証でどこに避難するのか教師や友達と一緒に判断し、機敏に行動するよう呼びかける	○運動会開くようにその時に伝え集中させる ・運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる
○運動訓練 (ちゅうりつぶから出火)	・室内あそび(夏休みの過ごし方について)	・カレンダーに印をつけるなど、夏休みについて見通しを持たせる	19 日 金	・子供一人ひとりに難巾を持たせ、手の届くところは自分で持つことを伝え ・すみすみが汚れていることを伝え、細かいところに目を向かれるようにする	・ねれた難巾で手をたくしづらさないようにしたたんでもつとふきやすいことを伝える	・ねれた難巾で手をたくしづらさないようにしたたんでもつとふきやすいことを伝える	・ねれた難巾で手をたくしづらさないようにしたたんでもつとふきやすいことを伝える	・ねれた難巾で手をたくしづらさないようにしたたんでもつとふきやすいことを伝える	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる	○運動会開くようにその時に伝え集中させる
○握手大掃除	終園式	・カレンダーに印をつけるなど、夏休みについて見通しを持たせ、休み中の過ごし方について話し合う機会を設ける	20 日 土	・園長先生、担任の先生の話をしっかりと聞き、事故や病気のない夏休みが過ごせるよう留意させる	・終園式に参加する ・お泊まり保育	・終園式に参加する ・戸外あそび ・うたをうたう	・終園式に参加する ・戸外あそび ・うたをうたう	・お泊まり保育	・お泊まり保育	・お泊まり保育	・お泊まり保育	・お泊まり保育	・お泊まり保育
お泊まり保育	備考	・宿泊に対して不安を抱いている子には、楽しい企画の話題をもちかけ安心させる	21 日 日	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る	・寝る

8月の計画

指導の内容	環境構成	予想される子どもの活動	配慮事項	
			行	事
子供たちの生活する姿	<ul style="list-style-type: none"> ・プール遊びでは、とび込みができないかたつた子が自分からとび込んでみたり、泳いでみたりと自信をもって参加していた。 ・話しかけたり歌をうたったりする時に、落ちつきがなくふらしている子が何人いるようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール遊びでは自分の目標に向かって一生懸命頑張る。 ・友達と相談したり、工夫したりしてダイナミックな遊びに挑戦する 	8／29～8／31 夏期保育	<ul style="list-style-type: none"> ・水着を忘れないように持たせてもらう ・グラスだより ・キャンプだより（お泊まり保育夕食不足分について）
健 康 安 全 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを自分で考え、それを基に友達と一緒に遊んでいこうとする ・自分の成長を感じじてみる ・異年齢の友達と仲良く遊ぶ ・季節の変化を感じる ・園生活のリズムを取りもどしながら、楽しく過ごす ・友達と一緒に遊ぶ事を楽しめ、けんかをせずに仲よく遊ぼうとする ・異年齢の友達と係わりながら、譲り合つたり、教えたりしながら、年長であることを意識しようとする ・友達の気持ちや考え方を受け止め、伝え合う喜びを感じる ・環境・自信をもつて挑戦し、目的を持つのいう気持ちを持つ ・友達を励ましたり、できたところを一緒に認め、喜び合う気持ちを持つ ・季節の歌を友達と一緒に、進んでうたう 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫とり網やかごを準備しておき、意欲を持ちとれるようにする ・リレーのバトンを渡したり、トランクのラインを引く事で雰囲気を盛り上げる ・帽子を必ずかぶり、暑い時は、日陰を選んであそぶ ・園庭に石が落ちていないか確認し、必要な応じて子どもと一緒に拾う ・どのクラスにどの遊具があるのかを子どもにも知らせ、いつでもあそべるようにしておく ・久しぶりの登園で元気のないような子にも、遊具類を1か所に集めてある事を紹介し、好きにならなければ思う存分楽しめるようにする ・人の話を聞く時は、その人をしっかりと見て集中して聞き、発表者は全員の顔が見える位置に立たせる ・1人ひとりとびこんだり、泳いだりして、夏休みの成果を思う存分發揮できるようになる ・水遊びでは、髪の毛を全部プールキャップの中に入れる ・朝や食後等、ピアノで曲を流し、新しいメロディーにも親しみを持たせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず帽子をかぶるよう声をかける ・リレーごっこでは、年少・中もさそい、自分たちでチームをつくって遊べるように見守り、バトン渡しがスマーズに行えるように声をかける ・リレーでは、白線の内側を走らないように、ルールを守り真剣に参加するように導く ・長い休み明けで、友達の中にスマーズに入っている子がいたら、様子を見て声をかけ、遊びに誘う ・汗をかいいたら、自分で進んで拭いたり、水分をとつたり、木陰で休息するよう促す ・道具は種別にコーナーを設け、子供の遊びが発展しやすいようにする *コーナー説明 ・最後の水あそびである事を知り、とびこんだり、水中にもくつたりする事で自信を持たせる。 ・異年齢児との遊びが楽しめるよう子供の動きをよく見、必要な援助をしたり、遊びの中に入つて遊びが続くようにする ・私が続ぐる子には剛に丁寧について安心感をもたせながら発表させる。 ・夏休み中、子供なりにがんばったところを認め、よりいっそ挑戦しようとすると児童持ちをさせるがんばらせる。 ・ブルからあがった後は水気がなくなるまで十分に拭き、園舎に入れる時は足の裏もしっかり拭くよう注意させる 	
評価面	<ul style="list-style-type: none"> ・プールからあがった後のぬれた体で走らない。 ・長期の休みあけなので、子どもの状態を把握し必要に応じて休息をとる等、無理のないようにする。 ・水あそびでおルールを再確認し、意識させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家連携・行事予定表 	<ul style="list-style-type: none"> ・休み中に、案の人と水あそびをして、積極的に参加する子も増え、自信もついてきている。 ・夏休みの想い出を友達の前で発表するという機会を設けたが、わかりやすく話す子と、単語を並べる子が多い。 ・恥ずかしかかる子には、側について安心させたが、無理のないよう人前で話す機会を設け、恥ずかしがらず自分の経験をはきはきと話せるようになつてほしい。 	

* 各クラスのコーナー説明
 大型つみ木「きく」
 カラー積木「たんぽぽ」
 ままごと「こすもす」
 ブロック「ひまわり」

(8) 月 (1) 週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項			行事など 夏休み	実施	記録
	ね ら い	ね ら い	ね ら い			
水あそび	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりに友達に会った事を喜び、友達と話したり遊んだりしながら、友達関係や生活のリズムをとりもどす。 ・伸びのびと身体を動かし、友達と一緒に水あそびする事を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の行事予定について (クラスだより) ・キャンプファイヤー・花火・暑い・お泊まり保育で、親から離れ、友達や先生と一緒に一泊し、キャンプファイヤー・花火・暑い・お泊まり保育への期待や不安もそれぞれみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭連携 ・家庭連携 	日・月	日・火	〃
夏休みの話をする	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に話を聞いたり、全員の前で発表する場を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を見る時はねそべったりしないで、正しい姿勢で見るよう伝え、又、おわつたら自分の額にしつかり片づけさせる ・虫とりあみや、かごを用意する等、やりたいあそびができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道だて話を聞いたり、大勢の人前で話ををする事で、勇気をもち自信をもって大きい声で発表できるようにする 	29日・木	夏期保育	<ul style="list-style-type: none"> ①自由遊び (×つみ木 ×ブロック ×ままごと ○絵本 ×粘土) ②水あそび (もぐたり、とびこんだり、ジャンケンをしたりする) ×全體集合 (遊具のおいたる場所を知る) ○うたをうたう (くらげのうた) 夏休みの思い出を話す (1人ひとり発表)
自由あそび	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を流したり自然に歌を子どもと一緒に口ずさむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫とりあみや、かごを用意する等、やりたいあそびができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の中へ入っていけない子は誘いかけ、慣れたあそびを通じて生活のリズムを取りもどせるようにする ・声を出し口を大きく開けて楽しく歌う 	30日・金	<ul style="list-style-type: none"> ①自由遊び (ブロック、つみ木、絵本、粘土) ②水あそび (とびこみ、泳ぐ、もぐって数える) K・Y男が自分から泳ごうとする気持ちがみられる もぐりっこ戦争 (Y男) ×リレーっこ ○うたをうたう (くらげのきもち、アイスクリーム) 	〃
備考				31日・土	<ul style="list-style-type: none"> ①自由遊び (つみ木) ②水あそび (もぐりっこ競争、とびこみ) ×リレーっこ ○並びっこ ○うたをうたう (はだけのボルカ、くらげのきもち) 	

月の計画

（九）月（一）週・日案・日誌

いよいよ、2学期が始まった。子ども達は、園生活のリズムをどりもどしたようで毎日、元気に登園していく。運動遊びとしていろいろとリレー・ダンスなどが始まつたが、子ども達は、楽しんでやっているようで、はりきっている。自由遊びの中に不巧さがないように遊び回る子たちも、あみをおいてみると、喜んで参加している。できるだけ、子どもたちに負担がかかるないようにして、園全体で一緒に遊ぶことを心がけている。汗を多くかくので常にハンカチを持ち歩いて汗が飞ばなれなく、トトうに汗を拭いていたが、まだ少し残っていた汗が、まだ残っている。

(9)月(2)週・日案・日誌

生活する姿	友達とかけっこやリレー・玉入れなどの運動会ごっこをして身体を動かす遊びを楽しんでいる。		評価 ・反省	9 日 月	行事件など	今週は、運動会に向けての遊びが多く取り入れられた。できるだけ、無理のないようにと考えながら、遊びの中に入れていた。子ども達は、リレーや巧技台などをとても喜び進んで行う。しかし、リズム(縄体操)になると、やはり、列になつて行ったりすることで少々こちらがさせているというような形になる。まるがって行う子もいたようだ。どうしても大人の欲がでくり返し行うという事もあつたので、よくなつたと思う。しかし、女の子などは、とくに喜んでやつてあるようである。															
	・友達と一緒にながら身体を動かして運動遊びをする ・友達や先生と力を合わせて一生懸命頑張る	・運動会ご案内 ・敬老会ご案内 ・体操服は毎日持たせてください ・連携																			
ね ら い	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項																				
○かけっこ ○リレー ○並びっこ ○繩遊び ○並びっこ(体操)																					
たま入れ つなひき ○魔鬼走 ○繩遊び	・運動会ごっこの中で遊びが方やルールを決めたり、遊び台やネット・平台台・たま入れなどの配置を考える。 ・いつでもラインをひいておき、自分達だけで繩を渡す時相手は相手に投げるとしておく。 ・海苔は危険のないよう届けにラインを引き、登らないようにする。 ・道具や用具の安全を確かめ、いつでも使えるようにしておく。 ・「エイサ、エイサ」とかけ声をかけることでの意欲をわかせる ・まずは教師がやつてみせる。 ・ケガをしないように1つひとつの間隔を十分にとつておく。 ・分かれやすいように1つひとつの間隔をひく。クラス別に色が違う。 ・目印を知らせて間隔を覚えさせる。	・最後まで力を抜かないで頑張つ ・走る事を伝える ・コート内に入らないように人をおいこす時は外側からおいこ ・バトンを渡す時相手は相手に投げる ・おじやみは人にがけてなければ ・いよいよにする。 ・道具の台回りをしつかり聞いて、おくれないようにする ・ふえの会合があるときは、絶対に繩をひかないとつをついてないので確 実に行えるように仕向ける。 ・常識をよく聞いておくれないよう指導する。 ・常識を記入してもらいましょう ・线条を記入してもらいましょう ・常識を教えて間隔を覚えさせる。	○英語で遊ぼう<曲に合わせて> (run, stop, wall,...) ○ダンス(縄) N.Y子が初めてのダンスであったので はじめたら声をかけて一緒にする ○巧技台(あみ、平均台、巧技台、マット) ○避難訓練(プランコ前の象が火事)	10 日 ・火	英語で遊ぼう 避難訓練	・ブロック ①繩とひで遊ぶ(8の字、郵便屋さん) ②子ども達が進んで縄とびを挑戦する ③うたをうたう ・草とりをする	○英語で遊ぼう<曲に合わせて> (run, stop, wall,...) ○ダンス(縄) N.Y子が初めてのダンスであったので はじめたら声をかけて一緒にする ○巧技台(あみ、平均台、巧技台、マット) ○避難訓練(プランコ前の象が火事)	11 日 ・水	英語で遊ぼう 避難訓練	・ブロック ①繩とひで遊ぶ(8の字、郵便屋さん、によろにようろ) A子、T子、K子、S子たちが2本をつなぎあわせしている ○繩ダンスをする(上を向く時にしつかり見上げる) ↓ 人のまねをせずに、自分で曲をきいておどる	12 日 ・木	運動会 ハーサル	・玉入れをする ○体操をする(竹の子といそう) 白を1歩横にずらす ○障害走をする ○ダンスをおどる ×かけっこをする	○玉入れをする ○体操をする(竹の子といそう) 白を1歩横にずらす ○ダンスをする ○かけっこをする 1人ひとりが、立つ場所を意識してきたようになり間隔が随分とれるようになってきた	13 日 ・金	・かけっこ ・リレーをする ○玉入れもする ・ダンスをする	・玉入れをする ○体操をする(竹の子といそう) 白を1歩横にずらす ○ダンスをする(ホールにて) ・ダンスをする(ホールにて) ・粘土(動物をつくる、海の中のものをつくる)	14 日 ・土	敬老会	・かけっこ ・リレーをする ○玉入れもする ・ダンスをする	・玉入れをする ○体操をする(竹の子といそう) 白を1歩横にずらす ○ダンスをする ○かけっこをする 1人ひとりが、立つ場所を意識してきたようになり間隔が随分とれるようになってきた
備考	車とりをする 粘土(動物・魚) 掃除をする(部屋、廊下、トイレ)	絵本(9月号) ・大きめのものをかざることで作った遊び、作る楽しさを味わわせる ・自分達でさせてることで、自分が運の部屋は自分達できれいにする事を意識させる	○おじちゃん　おばあちゃん 「くちぶえ」 ○繩ダンス(ホール、4クラス) ○粘土(動物や魚などを粘土全部を使って作る)																		

(9) 月 (3) 週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもたちの活動・環境構成・配慮事項		行事など	実施記録
	ねら い	ねら い		
・友達と一緒にいろいろな運動的な活動を楽しむ中で、自分の力を発揮する満足感	・友達と一緒に身体を動かしたり、体操をしたりすることを楽しむ姿や、踊り方・隊形・団の持ち方を教え合い、友達と一緒に踊りを楽しむ姿など見られる。	・体操服・カラーハットを忘れずに持ってくる	家庭連携	振替休日
・運動遊びを楽しむなら友達に刺激され、自分のできないことに挑戦したり、難しいことともやつてみようという気持ちが見られる。				
○繩あそぶ	・箱の中から自分の物が取り出しがやすいよう、しまう時の結び方を教える	・おどっているときは、口を開じて静かにねどのよう声をかける	17日・火	○繩ダンス（自分達で判断する）最後の部分をそろえるように指導 ×英語遊び ○うたをうたう（くちぶえ、にじ） ○粘土（動物園をつくる）
○自由画	・安全面を考え、目がゆき届く	・ダンスの中で4つ折から2つ折に素早くできるよう、輪状のところに指を入れるように促す	18日・水	×玉入れ ○繩ダンス ⑤ゆきが気分がのらばない、かけっこ ×かけっこ ×玉入れ ○うたをうたう（くちぶえ、にじ） ○粘土 ○リレー
○身体計測	・先生方も元気をだしてかけ声をかけることで、緊張を盛り上げる	・いつでも自分たちで遊べるようには明るい顔つき、バトンを差し合って行うことなどを約束させる	19日・木	○繩ダンス（ファンタジーランド） ①ジャングルは高くする ・ロープでさわがれないように ○色紙あそび（たぬきを折る）(13名) 昨日しなかった子が13名参加した ○粘土
○花の水やり	・登園した子かららい、計測が終わった子が安心して遊べるよう、教師が手助けして子供につく、昼食前の時間にピアノを弾き、音を聞かせる	・身長・体重計はスマーズに計測ができるよう正しくそろそろ乗るように促す ・誰でもが参加できるように色紙を沢山準備しておく	20日・金	○繩ダンス（口を開じる（話をしない）) ○粘土 ○色紙あそび（たぬき）(ふうせん) ○カラーツみ木 ○うたをうたう（にじ） ○リレーをする ○うたをうたう（にじ） ○カラーツみ木 ○花の水やりをする
備考			21日・土	×繩あそび ×色紙 ○リレーをする ○戸外あそび ○ダンスをする

(9) 月 (4) 週・日案・日誌

年長

生 子 ども るの 姿		ね ら い		予想される子どもたちの活動・環境構成・配慮事項		運動会	23 日 ・ 月	行事など	実 施	記 録			
・いろいろな運動やあそびを通して、運動会に期待を持ち、みんなで力を合わせてがんばろうという意欲が見られる。 ・雨の日の室内での安全な過ごし方を意識したり、晴れた日は思いきり外であそんだりと考えて、友達と仲良くあそぶ。	・友達と一緒にいろいろな競技やあそびに取り組み、身体を思いきり動かす楽しさを味わう ・経験した事を伸びのびと描いたり、つくつたりする	・運動会にてのお知らせ 家庭連携	・運動会について 家の手	・子どもが楽しく参加できるように準備物 を用意したり、教師自身も笑顔で接する ・常に児童の横だけでなく、友達の応援ができる場所にも座らせ、楽しい雰囲気でできるようにする ・幼稚園最後の運動会である事を知り、全力で参加する ・床にえの具がつかないようには必ず新聞紙 をひかせる ・楽しかった経験を自分の思いのまま、伸びのび描く ・絵の具やクレヨン・絵筆など届く材料や雑布などは、使いやすい場所に置く ・広い間隔をとつてするように伝え、水がこぼれたり、人のものにえの具がつかないようにできません ・運動会ごっこ リレー ダンス 縄あそび (新便屋さん)	・がんばっている姿を認め、運動の苦手な子は助ましたり普段めたりすることでの意欲を持たせる ・子どもの状態を把握し、安全に参加するよう意識する ・必ず新規紙 をひかせる ・楽しかった経験を自分の思いのまま、伸びのび描く ・絵の具やクレヨン・絵筆など届く材料や雑布などは、使いやすい場所に置く ・広い間隔をとつてするように伝え、水がこぼれたり、人のものにえの具がつかないところは、要領を得て指導する ・ボタンを出しておいたり、ラインを引い たりする事で雰囲気を盛り上げる ・道路へ出さないためにはどうするか話し合い、安全にあそぶようにする ・正しい姿勢で静く事ができるよう机や椅子を準備しておく ・縄を結んで長くしてあげ、たくさんの人 数でもできるようにする	評価 ・反省	23 日 ・ 月	①開会式 (たけのこ体操 (うんどう会のうた ②国技 野をこえ、山をこえ) ③つなひき	①玉入れ (かけっこ (りレー ②かけっこ ③ファントジーランド ④リレー	①粘土 (英語で遊ぼう ②鍵盤ハーモニカ ③繩とび(郵便屋さん)	・心理テスト ・自由画	・心理テスト ・自由画	繩とび(郵便屋さん) 男の子女の子
・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしている子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会ごっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会	24 日 ・ 火	・うんどう会ごっこをする (○かけっこ (りレー ④うたをうたう ⑤えの具遊び(筆のつかい方、水でのとき方、えの具の出し方などを個人指導)	①うんどう会ごっこをする (○かけっこ (りレー ②うたをうたう ③鍵盤ハーモニカ ④粘土遊び	①粘土 (英語で遊ぼう ②鍵盤ハーモニカ ③繩とび(郵便屋さん)	・心理テスト ・自由画	・心理テスト ・自由画	繩とび(郵便屋さん) 男の子女の子				
・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会ごっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会	25 日 ・ 水	・えの具遊び(使い方を知る) ①うたをうたう ②鍵盤ハーモニカ ③粘土遊び	①えの具遊び(使い方を知る) ②うたをうたう ③鍵盤ハーモニカ ④粘土遊び	①プロック ×カラタ ×繩のダンス ②ボール遊び→2人組でのうけ合いこ	・心理テスト ・自由画	・心理テスト ・自由画	繩とび(郵便屋さん)				
・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会	26 日 ・ 木	・ボーリング(友達と受け合いをする) 少し激しく投げたボールをうけとる ①えの具遊び(えの具指導) (うんどう会の絵を描く) ②繩とび	①ボーリング(友達と受け合いをする) 少し激しく投げたボールをうけとる ②ダンボールで遊ぶ (うんどう会の絵を描く) ③繩とび	①プロック ○鍵盤ハーモニカ(ドレミ…ド) ②カルタ ③粘土	・心理テスト ・自由画	・心理テスト ・自由画	繩とび(郵便屋さん)				
・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会	27 日 ・ 金	・ボーリング(友達と受け合いをする) 少し激しく投げたボールをうけとる ①えの具遊び(えの具指導) (うんどう会の絵を描く) ②繩とび	①ボーリング(友達と受け合いをする) 少し激しく投げたボールをうけとる ②ダンボールで遊ぶ (車つくり→イヤをつける) ③繩とび	・鍵盤ハーモニカ(ドレミファソラシド) ・ダンボールで遊ぶ (車つくり→イヤをつける) ④模様をつける	・心理テスト ・自由画	・心理テスト ・自由画	繩とび(郵便屋さん)				
・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会ごっこをしたり、縄ダンスをしたり、かけっこをしたりと運動会ごっこをしたりと、書んでえの具遊びをする子が目立っている。また、新しくえの具を購入したため、興味を示し、進んで絵を描いたり、ダンボール等に色つけをしたりと、書んでえの具遊びをしている。仲間意識が深まり、今までよりも、友達を誘う姿が見られるようになる。今週の終わりに協同製作が始まっているので、来週にもつづけていくたいと思う。	・運動会	28 日 ・ 土	代休									
備 考		・ダンボールで遊ぶ (入って遊ぶ (車づくりをする)	・いろんな工夫ができるよう、大中小といろんな大きさをそろえておく ・必要なもの(ガムテープ・セロテープ等)をすぐにつかえるようにしておく										

10月の計画

指導の内容	環境構成	予想される子どもたちの活動	配慮事項			
			行	19日(土)参觀日 24日(木)運動訓練 5日(土)楽しいコンサート 7日(月)冬服販売 12日(土)創立記念日 14日(月)おはなし講生会 15日(火)インフルエンザ第2回	1日(火)冬服更衣準備期間 5日(土)楽しいコンサート 7日(月)冬服販売 12日(土)創立記念日 14日(月)おはなし講生会 15日(火)インフルエンザ第2回	
生日常生活する姿	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びを通して競争心や、がんばろうとする気持ちはが強くなっています。自分に挑戦したり、友達と一緒にすることを喜ぶ。 活動的になるにつれて、気持ちは高まり、危険な状態にもなりやすい傾向にある（雨天時）が、自分なりに室内での過ごし方も考えてはいるようである。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの友達と目的に向かって力を合わせ取り組む楽しさや、充実感を味わう いろいろな運動に自分から取り組み、自分の力を試したり競走したりして楽しむ 自分の考え方や感じたことをさまざまな方法で工夫して、はつきりと表現したり伝えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びをする時は、道路に出ないように子ども達に知らせ、常に注意しておく 空気がぬけている時は、空気を入れてあげる ドッヂボールのコートは、毎朝つくづけておく わざももつて遊具に乗らないように、約束事を徹底する 一緒にやりとり、励まし合いながらやりとりで充実感を味わう ながいとへない子はタイミングをつかめるように援助する 教師がおどろいて絵がかけることで、はじき絵の不思議、おもしろさを感じらせる いろんな活動に楽しんで取り組めるように十分に遊べる時間を考え、多くの友達との交流が持てるようになる 室内の換気には十分気を付けておく、窓の開閉 美しい絵本や童話を選び、読みを楽しみにできるようにする 教室自ら楽しんで参加する 自分で色を考え、色がまじったり、同じ色が混じる 新しい単語に興味を持ち、自分が何を意識する 自分の足は描くだけでなく、いろいろな遊びができることに気づかせる 自分で色を考え、色がまじったり、同じ色が混じる 新しい単語を聞き取り組んで使う 自分で工夫したり、考えたりしながらアイディアを深めていく 自分で1つの曲をひくことの喜びを味わい、興味をもつ 新しい単語を聞き取る 音楽の際は事故が起らないように足を伸ばす 小さい音等を感じると 植物の種をまく喜び、芽が出来たり成長する喜びを味わう しっかり放送を聞いてその時の状況を自分で判断し、自分でも運転するという気持ちで真剣に取り組む 創立記念式の意味を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外あそび ボール あんただがたどこさ キャラッヂボール 新體紙あそび 中あてドッヂボール 花の水やり当番 竹馬 土耕し なわとび かけっこ たかなの種まき→観察 烟の草むしり 砂あそび 固定遊具 ドッヂボール 鬼ごっこ すもう 壁とり 室内あそび 自由画 粘土 積木 色彩画 絵本 生活 鑑盤ハーモニカ 紙芝居 折紙 水彩画 絵の具 ダンボール ダブルコマニー 色紙あそび(カメ、魚) ままごと 歌「メリーゴーランドにのって」 鍵盤ハーモニカ「きらきら星変奏曲」 遊び ブロック 色紙あそび 歌「メリーゴーランドにのって」 絵本 ダブルコマニー 色紙あそび(色あて、何ですか?) 1～20 Clap～、Open～、Close～ おはなし講生会 楽しいコンサート 創立記念式 5枚の説明をする ・運搬訓練 ひまわり組より 出火と想定 ・インフルエンザ予防接種 「紙でつづる」 身体計測 25日 	<ul style="list-style-type: none"> 創立記念日にについてのお知らせ (身だしなみ、登降順時刻、式について) お泊まり保育写真注文 ・敬老会・運動会写真注文 ・アルバム代集金について ・いつも攝影充足について ・ランドセル注文 	<ul style="list-style-type: none"> 創立記念日に身だしなみ、登降順時刻、式についてのお知らせ お泊まり保育写真注文 ・敬老会・運動会写真注文 ・アルバム代集金について ・いつも攝影充足について ・ランドセル注文
健 康 安 全	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを通して競争心や、がんばろうとする気持ちはが強くなっています。自分に挑戦したり、友達と一緒にすることを喜ぶ。 活動的になるにつれて、気持ちは高まり、危険な状態にもなりやすい傾向にある（雨天時）が、自分なりに室内での過ごし方も考えてはいるようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達と目的に向かって力を合わせ取り組む楽しさや、充実感を味わう いろいろな運動に自分から取り組み、自分の力を試したり競走したりして楽しむ 自分の考え方や感じたことをさまざまな方法で工夫して、はつきりと表現したり伝えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びをする時は、道路に出ないように子ども達に知らせ、常に注意しておく 空気がぬけている時は、空気を入れてあげる ドッヂボールのコートは、毎朝つくづけておく わざももつて遊具に乗らないように、約束事を徹底する 一緒にやりとり、励まし合いながらやりとりで充実感を味わう ながいとへない子はタイミングをつかめるように援助する 教師がおどろいて絵がかけることで、はじき絵の不思議、おもしろさを感じらせる いろんな活動に楽しんで取り組めるように十分に遊べる時間を考え、多くの友達との交流が持てるようになる 室内の換気には十分気を付けておく、窓の開閉 美しい絵本や童話を選び、読みを楽しみにできるようにする 教室自ら楽しんで参加する 自分で色を考え、色がまじったり、同じ色が混じる 新しい単語を聞き取り組んで使う 自分で工夫したり、考えたりしながらアイディアを深めていく 自分で1つの曲をひくことの喜びを味わい、興味をもつ 新しい単語を聞き取る 音楽の際は事故が起らないように足を伸ばす 小さい音等を感じると 植物の種をまく喜び、芽が出来たり成長する喜びを味わう しっかり放送を聞いてその時の状況を自分で判断し、自分でも運転するという気持ちで真剣に取り組む 創立記念式の意味を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外あそび ボール あんただがたどこさ キャラッヂボール 新體紙あそび 中あてドッヂボール 花の水やり当番 竹馬 土耕し なわとび かけっこ たかなの種まき→観察 烟の草むしり 砂あそび 固定遊具 ドッヂボール 鬼ごっこ すもう 壁とり 室内あそび 自由画 粘土 積木 色彩画 絵の具 ダンボール ダブルコマニー 色紙あそび(カメ、魚) ままごと 歌「メリーゴーランドにのって」 鍵盤ハーモニカ「きらきら星変奏曲」 遊び ブロック 色紙あそび 歌「メリーゴーランドにのって」 絵本 ダブルコマニー 色紙あそび(色あて、何ですか?) 1～20 Clap～、Open～、Close～ おはなし講生会 楽しいコンサート 創立記念式 5枚の説明をする ・運搬訓練 ひまわり組より 出火と想定 ・インフルエンザ予防接種 「紙でつづる」 身体計測 25日 	<ul style="list-style-type: none"> 創立記念日に身だしなみ、登降順時刻、式についてのお知らせ お泊まり保育写真注文 ・敬老会・運動会写真注文 ・アルバム代集金について ・いつも攝影充足について ・ランドセル注文 	<ul style="list-style-type: none"> 運動をする事や友達をさそう合うことは、よく見られるようになり、お互いでカバーしたり、協力している姿も見られた。しかしそれが全員ではなく、限られた人に限られてしまつた。自分から参加できることはない、限られた人が見つかった。しかし、運搬訓練では、自分から運搬していくだけ簡単な、おにごっこ、氷塊などをやっていき、少しづつ走ったり、体を動かすことによって慣らせていく。 運動をする事や友達をさそう合うようになり、お互いでカバーしたり、協力している姿も見られた。しかし、運搬訓練では、自分から運搬していくだけ簡単な、おにごっこ、氷塊などをやっていき、少しづつ走ったり、体を動かすことによって慣らせていく。

(10)月(1)週・日案・日誌

年長

生活する子どもたち	・運動会を通じて、クラスの仲間意識も深まり、競争意識が見られるようになつてきている。室内よりも戸外で、ボールや縄、梯子等を使い、体を動かして遊ぶことに興味をもつてきている。 ・新しいたたみ敷き、姿勢を正しく元気にうたっている。 ・えいの具遊びに興味を持ち進んで使い、友達と一緒に話したりながら楽しんでいる。	・進んで戸外に出て、友達を誘い合いで遊びを楽しむ ・1人だけではなく、友達と分担したり、協力し合って遊ぶ	家庭連携	・楽しいコンサート	行事など	評価	今週は、天気もよくなつたので戸外遊びが盛んとなつた。ボールや縄遊びの使用が目立つようになり、戸外で体を動かしてよく遊んでいたようだ。(はじめは、1、2人でやっていたが、次第に多くの友達と一緒に遊んだりするようになつた)。(中当て) ドッヂボール、郵便屋さん…)
						・ダンボールを切りとつたりして車づくりや魚づくりが盛り上がり、数が(ダンボール)全員分はないので、そこで協同で作つたりする姿も見られる。	
ねらい	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項				実施記録		
・えいの具遊び	・床に絵の具がつかないようには、使う・パレットのふちでえの具をおさせる ・場所をとるので、机の上ではなく、広い床を使って描かせる	・1人ひとり見ていいながら、あわてないよう、ゆっくり把握していく ・うだとう(メリーゴーランド)	・縄跳び	・楽しいコンサート	・ボール遊び(雨のためできない) ①えの具遊び ②ダンボールで車をつくる→実際に入れるもの(切る、ねる、模様をかく、つなぐ、むすぶ) →魚(たこ・くらげ)をつくるーあらたが家からつってきたことから→水族館づくり	①縄盤ハーモニカ ②ダンボールで遊ぶ ③車づくり	・英語で遊ぼう 色を知る (いくつですか? → ○オズです) ・予防接種 ・車場であそぶ
・縄盤ハーモニカ	・大切なためにも使用する時は必ず机、または椅子の上において使うように約束する ・1人ひとり見ていいながら、あわてないよう、ゆっくり把握していく ・うだとう(メリーゴーランド)	・長いのが必要だとと思う時には、出しとぶつかり合うときにくいので、周りを見ながら広く開脚をして感覚を盛り上げる ・大型スコップを出すことで感覚を盛り上げる ・ボール遊び	・縄跳び	・床に絵の具がつかないようには、使う・パレットのふちでえの具をおさせる ・机の上ではなく、広い床を使って描かせる	1日・火 2日・水 3日・木 4日・金 5日・土	①縄盤ハーモニカ ②ボール ③縄遊び ④ダンボールで遊ぶ ⑤魚をつくる→水族館	・英語で遊ぼう 色を知る (いくつですか? → ○オズです) ・予防接種 ・車場であそぶ
・縄跳び	・長いのが必要だとと思う時には、出しとぶつかり合うときにくいので、周りを見ながら広く開脚をして感覚を盛り上げる ・大型スコップを出すことで感覚を盛り上げる ・ボール遊び	・季節に合ったものを作り、室内に貼り上げる ・ドッヂボール ・竹馬	・縄跳び	・床に絵の具がつかないようには、使う・パレットのふちでえの具をおさせる ・机の上ではなく、広い床を使って描かせる ・縄跳び	①縄盤ハーモニカ ②木登り ③竹馬	・英語で遊ぼう 色を知る (いくつですか? → ○オズです) ・予防接種 ・車場であそぶ	
・縄跳び	・季節に合ったものを作り、室内に貼り上げる ・ドッヂボール ・竹馬	・竹馬	・竹馬	・竹馬(お互いで支え合っている)	①固定道具 ②木登り ③竹馬	・英語で遊ぼう 色を知る (いくつですか? → ○オズです) ・予防接種 ・車場であそぶ	
備考	生活指導 (手洗い場の使い方) 予防接種 楽しいコンサート→落ち着くように、小さい組を間に入れて座らせる	・文字遊び	・文字遊び	・楽しいコンサート(大坪記念ホール) ↓(たんぽぽの間に交互に座る) ①縄盤ハーモニカ ②うたをうたう(メリーゴーランド)	①ボール ②縄遊び ③竹馬 ④絵本 ⑤かるた	・英語で遊ぼう 色を知る (いくつですか? → ○オズです) ・予防接種 ・車場であそぶ	

(10)月(2)週・日程・日誌

年長

評価 ・ 反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	行事など	実施		記録
			創立記念式のお知らせ	家庭連携	
ね ら う い	<ul style="list-style-type: none"> 色々な友達と係わりをもち、出来ない事を表現し、友達同志意見を出し合いながら遊びを進める 	7日・月	<ul style="list-style-type: none"> ①ボール遊び ②ついて遊ぶ ③受け合いで遊ぶ ④中あわてでドッヂボールをする ⑤座材で遊ぶ ⑥自分の好きなものをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ①繩とび(運動屋さん) ②縄盤ハーモニカ 自由画(えの具)はじき絵 ③粘土 ④自由画色紙でカメ・魚を折る→泳がせるための池づくり ⑤新聞紙 	
生 活 する もの の姿	<ul style="list-style-type: none"> 天気のよい日には進んで戸外に出て、友達を誘いあってボール遊びをし たり、砂場でどちらかの正しい扱い方を作り楽しんでいる。 ・鍵盤ハーモニカの正しい扱い方を思い出し、指といに気を付けていたような子も影響されている姿も見られる。まだルールを理解していない子もいるので、来園もつづけながら知らせたいと思う。 また、折り紙あそびから協同製作へとも発展していった。 	8日・火	<ul style="list-style-type: none"> ①色紙あそび(シャク・ハト) ②動物園づくり(きのうのづつきで協同製作) ③ボール遊び ④英語で遊ぼう(11~20の数) ⑤9人で行う ⑥竹馬、絵本 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボール遊び(中当てドッヂボール) ②縄盤ハーモニカ(Y男、E女、T男にド・ソ・ソにシールを貼る) ③縄とび(郵便屋さん) ④えの具あそび 	
・ 沙 場	<ul style="list-style-type: none"> ・コートやラインを引いておこことで自分達で遊び出せるようにしておく ・自然に気付いておくるよう、コートをライント引きで歩いておく ・コート内に石や危険物がないか、常に気を付けておく ・頭に当たっても大丈夫だという事を伝え目をしつかり開けるよう伝える ・スコップ・ジョヨロ・木材などを豊富に準備しておく ・竹馬のがたつきがないかの確認をしておく ・周りに標準足の子ほどがんばりして危険なので、近くには寄らないよう見守る ・グループがそれぞれ落ちついて遊びが進められるよう場の設定の仕方などを工夫する ・長い時間行わないで子どもたちの状態を見ながら楽しく行う ・良い友達関係の中での個人がお互いに生かされていくような温かい雰囲気をつくる ・歌詞を間違つて覚えている時は、その都度正しい歌詞を知らせる ・英語で遊ぼう ・楽しく参加できる雰囲気をつくる (11~20) 	9日・水	<ul style="list-style-type: none"> ①中当てドッヂボール(全員で行う) ②うたをうたう(メリーゴーランド) ③ともだち齊歌 ④廃材で遊ぶ ⑤竹馬、絵本 	<ul style="list-style-type: none"> ×色紙あそび ×竹馬 ○固定遊具 ・粘土 	鍵盤ハーモニカ
・ 沙 場	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもには応じて強く投げつけたり、やさしく投げて自信をもたせる ・ゲームのルールの内容がよくわかつて参加できるようにする ・同じ子どもばかりボールをもたないように、全體の子どもがボールにさわる機会を与える ・友達同様で力を合わせて挑戦できるようにする ・出来ないものに頑張つて取り組めるように援助する ・子どもたちがお互いに手をつなぎなどを丁寧に行えるよ ・子ども達のつぶやきをうにする ・うだりの姿勢を意識してうたえるように仕向ける ・自分で発音してみようという気持ちになれる ・特別な式であることを意識させる 	10日・木	体育の日		
・ 沙 場	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に気付いておくるよう見守る ・グループがそれぞれ落ちついて遊びが進められるよう場の設定の仕方などを工夫する ・長い時間行わないで子どもたちの状態を見ながら楽しく行う ・良い友達関係の中での個人がお互いに生かされていくような温かい雰囲気をつくる ・歌詞を間違つて覚えている時は、その都度正しい歌詞を知らせる ・英語で遊ぼう (11~20) 	11日・金	<ul style="list-style-type: none"> ①ボール遊び ドッヂボール(逃げるだけなく、自ら逃げるだけなく他のクラスも誘い合う) ②縄とび ③縄盤ハーモニカ 木登り 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土 ○絵本 ○戸外遊び(ブランコ・ユニオン) ○固定遊具 	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・はじき絵をする ・創立記念式の話を聞く ・色紙あそび(カメ・魚) 	12日・土	<ul style="list-style-type: none"> ×ボール遊び(ドッヂボール) ・ブランコ ・砂遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○創立記念式典に参加する うたをうたう ・粘土 カルタ 	
	<p>池づくり) ①でき上がりたものを、緊急を出するために、芝生づくり、その中に泳がせる</p> <p>・できるだけみんなが作つたものを作つたために、芝生づくり、それをつくり、そこにはがくよう、大きな紙を用意する</p> <p>絵本(ふろくづくり)</p>				

（10）月（3）週・目案・誌

今週はドッヂボールが盛んになり、登園するなり参加していく姿が見られた。このドッヂボールの中で、お互いにボール遊びでは、人數を集めて中あてドッヂボールをする姿が見られる。ルールについては、よく知っている子が中心となり、新規会っていれる様子。ボールの受け方については、キャッチよりも逃げるのに一生懸命自分でから受けにいられない子もある。鍵盤ハーモニカで、耳から覚えた音を探し、友達と音をそろえて弾いている姿も見られる。

評価・反省

(10)月(4)週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	ね ら い	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		行事など	実施記録	
		季節の変わり目	家庭連携		①えの具遊び	吹き流し絵
・中あてドッヂボールから、敵・味方になわれるドッヂボールになり、少しずつではあるが、ボールを受け取ったり、時には反対に譲ったりして皆で楽しめるよう考へている。	・友達と一緒に共通の目的をもち、挑戦する気持ちはもちろん、自分の思った事、考えた事を表現しながら、相手の事も思いやる気持ちを持つ	・全員がネリダ先生に集中できることで、自然に口づきながらうなづくように見て発音できるようになる	・何度も繰り返すことによって、教えたたり、教えたつもりで數字を言つたり、教えたつもりで意味し第音できたりするところに興味を持ち、意欲を持つ	②英語で遊ぼう	新しい単語 (デカルコマニー・糸をつかって遊ぶ)	①うたをうたう (宇宙のうた) ②鍵盤ハーモニカ →男の子も自分が行うようになる ③ドッヂボール ④固定遊具 竹馬 文字並べ
・萬葉の手の成長を見ながら、喜びが分からず、涙ぐましい。母親と一緒に絵の具遊びを味わう。	・十分気をつけて走る事、考え方を守る事や教師に知らせ、喜びたいという意欲を持ち始めている。	・人の話をきくときはしっかりとその都度促す	・放送を最後まであわせながら、火をよぶ物が入口近くに現れるか、ドア・窓はスムーズに開閉できるか、を確認しておくる。どちらは、奥の方に入れこむ	22日・火	②ボール遊び (ドッヂボール・受け合い) ×えの具遊び (デカルコマニー・糸をつかって描く)	①うたをうたう (宇宙のうた) ②鍵盤ハーモニカ ③粘土 ④自由画
・万葉の手の成長を見ながら、喜びが分からず、涙ぐましい。母親と一緒に絵の具遊びを味わう。	・ライインの引いてある位置を、子どもたちがわざわざ歩くのをやさしくする	・放送中に歌が流れながら、同じ子供たちが楽しそうに盛り上がりながら歌をきかせるが、すぐに抜けた音のメロディーと友達の声と自分の声などを聞きながら楽しむ	・火をよぶ物が入口近くに現れるか、ドア・窓はスムーズに開閉できるか、を確認しておくる。どちらは、奥の方に入れこむ	23日・水	②鍵盤ハーモニカ (バーごとに分かれて弾く—4クラス合同) ③戸外あそび (父さんの子守歌) ④粘土 ×えの具遊び	①うたをうたう (宇宙のうた) ②鍵盤ハーモニカ ③粘土 ④自由画
・万葉の手の成長を見ながら、喜びが分からず、涙ぐましい。母親と一緒に絵の具遊びを味わう。	・各クラスと合同にしてできるようになります。そこで間隔を保つようにして、仲間同士が隣の子と一緒に歩くのをうけたがる子をさしあげよう。	・終わったあとは、しっかりと他の子と一緒に歩くのを耳で聞いたり、教えてもらったりしながから意欲を持ち、もう少し走る事、体重計測	・火をよぶ物が現れるか、ドア・窓はスムーズに開閉できるか、を確認しておくる。どちらは、奥の方に入れこむ	24日・木	②戸外遊び (ボールードドッヂボール) ③竹馬 ④固定遊具 ⑤砂遊び	①うたをうたう (宇宙のうた) ②鍵盤ハーモニカ ③粘土 ④自由画 ⑤鉄棒
・万葉の手の成長を見ながら、喜びが分からず、涙ぐましい。母親と一緒に絵の具遊びを味わう。	・各クラスと合同にしてできるようになります。そこで間隔を保つようにして、仲間同士が隣の子と一緒に歩くのをうけたがる子をさしあげよう。	・終わったあとは、しっかりと他の子と一緒に歩くのを耳で聞いたり、教えてもらったりしながから意欲を持ち、もう少し走る事、体重計測	・火をよぶ物が現れるか、ドア・窓はスムーズに開閉できるか、を確認しておくる。どちらは、奥の方に入れこむ	25日・金	②鍵盤ハーモニカ (4クラスの同じパートごとに集まる) ③人の音をききながら、それに合わせて弾く 全員できく組でやってみる ×えの具遊び (デカルコマニー)	①うたをうたう (宇宙のうた) ②鍵盤ハーモニカ ③粘土 ④自由画 ⑤鉄棒
・万葉の手の成長を見ながら、喜びが分からず、涙ぐましい。母親と一緒に絵の具遊びを味わう。	・各クラスと合同にしてできるようになります。そこで間隔を保つようにして、仲間同士が隣の子と一緒に歩くのをうけたがる子をさしあげよう。	・終わったあとは、しっかりと他の子と一緒に歩くのを耳で聞いたり、教えてもらったりしながから意欲を持ち、もう少し走る事、体重計測	・火をよぶ物が現れるか、ドア・窓はスムーズに開閉できるか、を確認しておくる。どちらは、奥の方に入れこむ	26日・土	②うたをうたう (父さんの子守歌・宇宙のうた) ③4クラス合同 ④ボールあそび ×粘土あそび ・鍵盤ハーモニカホールで4クラスでやってみる	①うたをうたう (宇宙のうた) ②鍵盤ハーモニカ ③粘土 ④自由画 ⑤えの具遊び ⑥身体計測
備考						

（ 10 ）月（ 5 ）週・目案・誌

1月の計画

(11) 月 (2) 週・日案・日誌

年長

生活する子どもの姿	・高菜の成長への関心を持ち続け、進んで観察し大きくなる事を喜ぶ。 ・巧技台へ挑戦したりと、誘われたりする中からできない事にもやってみようという意欲を持ち、粘り強く最後まで頑張ろうとする。	ねらうい	・自分なりの目的を持ち、友達と一緒に遊びを味わう ・自分の力を発揮しながら、ルールを守って満足いくまで遊ぶ	・いもほり遠足について ・廃材の協力について ・庭連携	行事など	初等教育	①巧技台 (よし登つてとび降りる) ○とび箱-6段 (0男) ○ドッヂボール ×サッカー	×鍵盤ハーモニカ ×うたをうたう ×新聞紙で遊ぶ	記録	ピアノ-ヤ子 ・砂遊び ・固定遊具
						科2年生 教育実習 (～22日)	②木登り ・固定遊具 (登り棒・鉄棒) ○砂遊び	・木登り ×カラーフィルム ・お友達の絵を描く (②えの具遊び) ○クレヨン	・絵本をよむ ・うたをうたう (郷地区) ・お友達にあげる (女の子) 友達にあげる (氣持ちが見られた)	・シッカリ先に手をつくように指導 ・シャンプは両足で行う
予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項										
いもほり遠足	・園外に出るので、救急用具や着替え ・脚の中に入ってしまうと動きやすくなる事 度をする	11月	・秋の自然に触れながら、いろいろな ものに気付く ・収穫の音を味わえるよう、親子や 先生と一緒にする ・先生がオーバーにやつてみせることで 一層盛り上がりっていくように出かける	12日 ・火	①巧技台 (とび箱) 5段・7段 ・固定遊具 (登り棒・鉄棒) ○砂遊び	①木登り ×カラーフィルム ・お友達の絵を描く (②えの具遊び) ○クレヨン	・木登り ・うたをうたう (父さんの子守歌、宇宙のうた、子どもの世界) ○廃材で遊ぶ	・絵本をよむ ・うたをうたう (郷地区) ・お友達にあげる (女の子) 友達にあげる (氣持ちが見られた)	・粘土 ・ボール遊び ・木登り ・鉄棒	
友達の絵を描く	・えの具・クレヨン・色紙など、いろいろ準備しておき、自由に使え ・プレゼントしていくことを含み、丁寧に仕上げることを1人ひとりに 声をかける	13日 ・水	・秋の葉に気付き、季節が移り、全員が音んで参加し、11月生まれの 誕生日が近づく ・他の葉が感じられるようになります。 ・メリダ先生の顔が全員見えるか確認し、口の動きも1人ひとりが身 近に感じる事ができるようにする	14日 ・木	①鍵盤ハーモニカ (4クラス) ②うたをうたう (父さんの子守歌、宇宙のうた、子どもの世界) ○廃材で遊ぶ	①木登り ・うたをうたう (父さんの子守歌、宇宙のうた、子どもの世界) ○廃材で遊ぶ	・木登り ・うたをうたう ・先生達の合奏をきく →先生達が森の動物になる ・ジャンケンゲーム ・このグループが1番かを競争する	・木登り ・ボール遊び ・木登り ・鉄棒	・しっかりと指導を見て、その通りにうごく ・話題はブチブチと切らすにのばすようにする	
○落ち葉収集会	・新しい葉に興味を持ち、進んで 収集する ・新しく葉っぱをつかんで、葉の形をよく見て、発音する ・子どもが楽しんだり、笑ったりする ・あまり強制的にやらせるようないい	15日 ・金	・落ち葉収集会 ・誕生会 ・先生達の合奏をきく →先生達が森の動物になる ・ジャンケンゲーム ・このグループが1番かを競争する	16日 ・土	①集合 (バスに乗る) ・遠足 ○集合 (バスに乗る) ・うたをうたう ○お弁当を食べる ○自由に遊ぶ ○おもをもらう ○集合する ○バスにのる	・鍵盤ハーモニカ (4クラス) ○うたをうたう (父さんの子守歌、宇宙のうた、子どもの世界) ×新聞紙であそぶ ○固定遊具	・友達の絵を描く ・発表会の願わせをする ・鍵盤ハーモニカ ・えの具遊び ・木登り ・鉄棒			
合奏「カラカラ星」発表会の願わせを行なう	・友達の音が聞こえるようにし、いっしーになる事に気付く	いもほり	・子どもの口の動きが見えるようないい声でなく 大きい声で、ピアノの音とあわせて なるべく軽かに歌う ・自分で発音しながら、友達の話を聞いて、語り、読みたりして、 目的をもつて参加する ・側で動かしたり、援助しながら、とぼうという感覚がもてるようになれる	17日 ・金	①集合 (バスに乗る) ・うたをうたう ○お弁当を食べる ○自由に遊ぶ ○おもをもらう ○集合する ○バスにのる	・お揃から声を出し、小さい声でなく 大きい声で、ピアノの音とあわせて なるべく軽かに歌う ・自分で発音しながら、友達の話を聞いて、語り、読みたりして、 目的をもつて参加する ・側で動かしたり、援助しながら、とぼうという感覚がもてるようになれる	・お弁当を食べる ・手遊び ・約束事 ○集合する ○バスにのる	・お弁当を食べる ・手遊び ・約束事 ○集合する ○バスにのる		
歌あそび	・子どもの口の動きが見えるようないい声でなく 大きい声で、ピアノの音とあわせて なるべく軽かに歌う ・自分で発音しながら、友達の話を聞いて、語り、読みたりして、 目的をもつて参加する ・側で動かしたり、援助しながら、とぼうという感覚がもてるようになれる	18日 ・土	・その子なりに無理がないようにい ろんと高さを出しておき、自由に 好きなところに行けるようにする ・必ず、側に立ち、危険な時に手が 出せるようにする							
巧技台 (とび箱)										
備考										

(11) 月 (3) 週・日案・日誌

年長

評価 ・ 反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	行事など	実施		記録
			①ボール遊び (ドッヂボール) ②固定遊具 ③砂遊び ・魔術であそぶ	①も振りの思い出を絵にする (えの具遊び 魔術あそび ↓ 色紙をちぎる、切って貼る	
ね ら い	・遊びが楽しくなるように、必要なものを工夫して作ったり、考えを伝え合ったりして友達と遊びを進めいく喜びや満足感を味わう ・自分なりの力を十分に美して、仲間と一緒にひとりつの目的に向かって遊ぶ	18 日 ・ 月	①ボール遊び (ドッヂボール) ②固定遊具 ③砂遊び ・魔術であそぶ	①も振りの思い出を絵にする (えの具遊び 魔術あそび ↓ 色紙をちぎる、切って貼る	今週は、どひ箱やマットなどを取り入れていき、体力づくりをしていった。できるだけ、自分からは入ってこないような子を誘い、挑戦する気持ちを持たせた。興味を示した子は、長づきするのだが、興味を示さない子は、一度やってできないとすぐにあきらめてしまう。がんばるぞという自分に目的をもつて取りくむ子は、ごく一部だったよう思う。随分冷えこみはじめ、室内に残っている子がいるようになってきた。声をかけ、外に出し一緒にマラソンなどを行い、体力づくりをしていきたい。
○マット (前まわり 後転 英語であそぼう)	・できるだけたくさんのお子さんたちが参加できるよう5段・6段または7段を使っておくが、特に角のところに挑戦できる力のある子のために、時間を見て8段・9段を設ける	19 日 ・ 火	×とび箱をする ①ボール遊び (ドッヂボール・受け合い) ②砂遊び ③うたをうたう	①発表会の集まりー春、夏、秋、冬 ×いつも掘りの思い出を絵にする ②うたをうたう (合同) 宇宙のうた 子どもの世界 〔父さんの子守歌〕 やさしくブチブチ切らないで うたう	今週は、どひ箱やマットなどを取り入れていき、体力づくりをしていった。できるだけ、自分からは入ってこないような子を誘い、挑戦するのだが、興味を示したのだが、興味を示さない子は、一度やってできないとすぐにあきらめてしまう。がんばるぞという自分に目的をもつて取りくむ子は、ごく一部だったよう思う。随分冷えこみはじめ、室内に残っている子がいるようになってきた。声をかけ、外に出し一緒にマラソンなどを行い、体力づくりをしていきたい。
○マット (前まわり 後転 英語であそぼう)	・ボールの飛んでこない、安心して遊べる場所にマットを敷いて置く顔が全員に見える ・ネリダ先生の顔が全員に見えるか確認し、口の動きも1人ひとりが身近に感じられるようにする	20 日 ・ 水	新入園児 面接 (~21日) (午前保育)	①戸外あそび ドッヂボール (固定遊具 ・とひ箱 ・鉄棒)	今週は、どひ箱やマットなどを取り入れていき、体力づくりをしていった。できるだけ、自分からは入ってこないような子を誘い、挑戦するのだが、興味を示したのだが、興味を示さない子は、一度やってできないとすぐにあきらめてしまう。がんばるぞという自分に目的をもつて取りくむ子は、ごく一部だったよう思う。随分冷えこみはじめ、室内に残っている子がいるようになってきた。声をかけ、外に出し一緒にマラソンなどを行い、体力づくりをしていきたい。
合奏「きらきら星」 (協同製作)	・合わせる時は、決められたパートの位置につき、指揮者の顔が見えますようにする ・いつも振りの絵を描く	21 日 ・ 木	①発表会の集まりに参加する うたう (表現する ・戸外あそび 砂遊び ドッヂボール (固定遊具 ・	今週は、どひ箱やマットなどを取り入れていき、体力づくりをしていった。できるだけ、自分からは入ってこないような子を誘い、挑戦するのだが、興味を示したのだが、興味を示さない子は、一度やってできないとすぐにあきらめてしまう。がんばるぞという自分に目的をもつて取りくむ子は、ごく一部だったよう思う。随分冷えこみはじめ、室内に残っている子がいるようになってきた。声をかけ、外に出し一緒にマラソンなどを行い、体力づくりをしていきたい。	
発表会の集まり (合同)	・大きな紙を準備しておき、子どもが興味をひいて描きたいと思ふようになるよう仕向ける ・大きな花を見に行く ・行き帰りの交通安全には十分配慮し、交差点等での交番は早く、事故のないようにする ・イメージが広げやすいように、それぞれ季節の中味を伝えていく	22 日 ・ 金	実習生と お別れ 会	①ボール遊び (ドッヂボール) ②砂遊び ×粘土 ③実習生とのお別れ会に参加する 〔アンパンマンの劇を見る ・アンパンマンの音をきく ・はいきんの話をきく	今週は、どひ箱やマットなどを取り入れていき、体力づくりをしていった。できるだけ、自分からは入ってこないような子を誘い、挑戦するのだが、興味を示したのだが、興味を示さない子は、一度やってできないとすぐにあきらめてしまう。がんばるぞという自分に目的をもつて取りくむ子は、ごく一部だったよう思う。随分冷えこみはじめ、室内に残っている子がいるようになってきた。声をかけ、外に出し一緒にマラソンなどを行い、体力づくりをしていきたい。
備考	・前に指揮者が立つことでみんなが集中し、うたえるようにする ・歌をブチブチきらすに、やさしくうたうことを見度伝える	23 日 ・ 土	勤労感謝 の日		

(11) 月 (4) 週・日案・日誌

年長

評価	今週からは、発表会の集まりが多く入ってきた。できるだけ毎日は避け、子どもに疲れがないように取り組んでいた。内容も、あまりきまつた形だけのものではなく、子どもの遊びを取り入れたり、自由に表現したりというように考えていった。大きい組だけではなく、小さい組もいるが、それなりに面倒を見てくれているようである。合奏では、しつかり指揮の教師を見ることを指導しているが、まだ集中しない面もある。合唱でも同じである。みんなが集中できるように習慣づけたい。	
	行事など	実施記録
・反省	25日・月	<p>○戸外あそび （ボール 固定遊具 砂遊び スケーター ○巧技台 ○マット ○各色茶 全員での合唱</p> <p>○うたをうたう ・新聞紙でおぶ→色紙あそび ○えの遊び→クリスマスツリー</p>  <p>・ツリー用のかざりつくり ・輪っか ・星 ・サンタクロース</p>
ねらい	26日・火	<p>○発表会の集まり（春夏秋冬） ○うたをうたう（宇宙のうた） ×鍵盤ハーモニカ（合奏） 「キラキラ星」</p> <p>○戸外あそび （×巧技台 ×マット ○ボール ○砂遊び （マット （巧技台 砂遊び</p> <p>・発表会の集まり（春・夏・秋・冬） 友達を見る ×鍵盤ハーモニカ 「キラキラ星」</p> <p>・粘土 ○新聞紙あそび ×戸外あそび 雨 （マット （巧技台 砂遊び</p>
ねらい	27日・水	<p>○手はうたう 足は黒帽を開き、 安定した姿勢にする</p> <p>・大坪記念ホールで行うことと、 コンサートでの雰囲気や、その 時のマナーを知り、身に付ける ・誰もがやってみようという気持 ちになるように、家庭のまん中 においておき、必ず前に付く ・その子どもによって座敷してみよ うという気持ちが出るように、高 きを変えなど遊びをしておく</p> <p>・床にえの具がつかないように、 新聞紙をひひかせる ・いろんな工夫・アイディアが生 づくり ・車づくり</p> <p>・大坪記念ホール （ボール ドッヂボール （○鉄棒 （○雪算 ・身体計測 マット運動</p> <p>・丁寧につくるようになる ・やりながらほめたり、紹介しながら盛り上げる。 ・もう少し工夫したらよいと思われる ・大好きな種類・大きさのものを常に見える ところにおいておく ・いつでも使えるよう、ガムテー ブ・セロテープを置いておく</p> <p>・合奏、合唱（全園児） （大坪記念ホール） ○紙遊び （○ボール遊び （×マット （×スケーター ×木登り ・繪本 ○靴材あそび ・楽しいコンサート</p> <p>・戸外遊び （○自由画 （○うたをうたう たのしい幼稚園 土台づくり ・春・夏・秋・冬 ○戸外遊び （ボール ドッヂボール （○鉄棒 （○雪算 ・身体計測 避難訓練 シンセサイザー グロッケン （大太鼓 （小鼓 ・特別楽器 ・特別楽器</p>
参考	30日・土	<p>○戸外のあそび （ボール ドッヂボール （鉄棒 ・のぼり旗 ②うたをうたう ○靴材あそび 発表会の集まり (子どもと一緒にたのしく会話をする)</p> <p>・米全体にしめるようにえの具をつけるよう にする</p>

12月の計画

指導の内容	環境構成	予想される子どもの活動	配慮事項		
			発表会リハーサル	親子清掃	発表会について案内
・寒さにも負けずは元気いっぱい戸外で遊ぶ子どもや、室内に残つて遊ぶ子どもと分かれてしまうである。 ・マットや、とび箱などの体育的な遊びにも興味を示し、挑戦してみようという気持ちを持つたようである。 ・発表会の集まりの中で異年齢の友達と係わり、やさしく面倒を見る姿や、楽しくうたつたりしている。	・発表会の集まりを通して、うたつたり、おどつたりと季節の遊びを楽しむ ・異年齢の友達とのかわわりを深める ・全体を使って伸びのびと遊び、寒さに負けない元気な体を作つくる	・户外あそび ボール・ドッヂボール なわとび・竹馬 跳ね床・マット、巧技台 鬼ごっこ 高菜・ネモネ・ブリムラの観察 高菜をぬく→洗う→つけもののづくり 発表会の曲を聞く 室内あそび あやとり 折紙 歌「あわねんぼうの サンクロース」 「サンタが街にやって来た」 「聖夜」 繪本ハーモニカ 紙芝居 絵本を見る（クリスマスシリーズ） ・合唱「キラキラ星交響曲」	・幼児間の力関係、かかわり方に目を向けながら、入りそびれた子供に対しては、教師が状況に合わせて援助していく ・ドッヂボールでは、背を向けて逃げずに受け取る意欲をもつ ・寒くなるとポケットに手を入れたり、厚着をしたりする子供も出てくるので、体操服にはだしで遊ぶ姿を認め、健康で安全な生活の仕方に子供たちが自ら気づいていくようにする ・全員が一度は経験できるよう声をかけていく ・一人ひとりが自分の役割がわかっているか、また、グループの中での分担に不満を感じている子がないかどうか、援助をしながら見取るようにする ・1人ひとりの描くものを認めてあげることで、自信や意欲につなげる ・友達と力を合わせてやることの楽しさや、協力してやり遂げた充足感などが十分に味わえるよう教え合ったり、読み合ったり、楽しきき口に口に入れないよう教説する ・季節に合った飾りものを、自分で材料や色を選んで作ったり、描いたりできるよう援助していく ・教師は遊びにかがわりながら、イメージを聞いたりぶらやいかれたりして遊びを広めていくようなかわいがりをする ・きね・うす・かまどなどの名前を知らせる ・教師の感じたことを伝えたり、子供の発見を大切にしながら、冬の季節感を味わわせていく ・できるだけ子どもの顔が見えるよう位置を考える ・どんな状態であってもあわせて放送をきき、教師の指示に従うように伝える ・自分たちで使ってきたものの片付けや整理の仕方をどうするか投げかけて、子供が主体的に活動していくようにする ・冬休みの墨ごし方を意識させていく	・もちつき大会	・発表会
・進んで身体を動かし、友達と一緒にルールを決めながら積極的に外へ出であそぶ ・とび箱・マット・マットと遊びの要領を繰り返し経験する事で身につけていき自身をもつ ・植物の成長を書び、進んで観察する ・友達と協力しながらも自分の意見を持ちあそびを楽しむ ・自分なりのイメージを持ち、工夫したり試したりしながら、創り上げる喜びを味わう ・いろんな楽器を大勢の友達と一緒に音をあわせて合奏することを楽しむ ・一人ひとりが早くからなら弾くことなくようう気をつけ、メロディーを口ずさみながら丁寧に伸ばすところは伸びばしとて合唱することを喜ぶ ・自分の生まれた季節のイメージを持ち、小さな組の子の世話をも進んで行い、劇あそびを盛り上げる ・冬の季節の様子（霜やはく鳥の白さ）や年の変遷の生活の変化に気付く ・冬にかかるりやすい病気の予防や衣服の調節を身につける	・ボール遊びでは子どもの力に合わせてコートの広さを考えていく ・高いとび箱と低いとび箱を設置しておき、子ども達が自分の力に合わせて挑戦できるようにしておく ・友達との人間関係を見て、積極的な子にいつもついていく子どもに対しては、自分の気持ちがもてるよう働きかける ・全員が一度には烟には烟には入れないで、交代にするよう声をかける ・出来るだけ天気のよい日は、戸外に出て遊ぶよううに説明する ・子どもにとって必要な交換できるよううにする ・発音の子ども以外は、厚着をしないようう声をかける ・折紙や画用紙の無駄使いをしないよううに必要に応じて出す ・各パート別に分かれ他のパートにつられないよううにする ・一緒に小道具一大道具を作ることで季節のイメージを一層深くする ・身近な素材を利用する ・小さい組とも一緒に組むことで縦とのつながりも深める ・冬うずやきねの匂りには触手に行かない、よううにする（範囲をきめておく） ・ラインをひいておき、入らないことを約束する ・衣類・物など全部そろっているかどうか、前もって確認しておく ・その季節ごとの緊団気ができるよううに、小さい組の面倒を見ながら参加する ・園庭に実際の木やツリーをかざることで緊団気をする ・掃除に必要な道具を準備しておく	・户外あそび ボール・ドッヂボール なわとび・竹馬 跳ね床・マット、巧技台 鬼ごっこ 高菜・ネモネ・ブリムラの観察 高菜をぬく→洗う→つけもののづくり 発表会の曲を聞く 室内あそび あやとり 折紙 歌「あわねんぼうの サンクロース」 「サンタが街にやって来た」 「聖夜」 繪本ハーモニカ 紙芝居 絵本を見る（クリスマスシリーズ） ・合唱「キラキラ星交響曲」	・幼児間の力関係、かかわり方に目を向けながら、入りそびれた子供に対しては、教師が状況に合わせて援助していく ・ドッヂボールでは、背を向けて逃げずに受け取る意欲をもつ ・寒くなるとポケットに手を入れたり、厚着をしたりする子供も出てくるので、体操服にはだしで遊ぶ姿を認め、健康で安全な生活の仕方に子供たちが自ら気づいていくようにする ・全員が一度は経験できるよう声をかけていく ・一人ひとりが自分の役割がわかっているか、また、グループの中での分担に不満を感じている子がないかどうか、援助をしながら見取るようにする ・1人ひとりの描くものを認めてあげることで、自信や意欲につなげる ・友達と力を合わせてやることの楽しさや、協力してやり遂げた充足感などが十分に味わえるよう教え合ったり、読み合ったり、楽しめき口に口に入れないよう教説する ・季節に合った飾りものを、自分で材料や色を選んで作ったり、描いたりできるよう援助していく ・教師は遊びにかがわりながら、イメージを聞いたりぶらやいかれたりして遊びを広めていくようなかわいがりをする ・きね・うす・かまどなどの名前を知らせる ・教師の感じたことを伝えたり、子供の発見を大切にしながら、冬の季節感を味わわせていく ・できるだけ子どもの顔が見えるよう位置を考える ・どんな状態であってもあわせて放送をきき、教師の指示に従うように伝える ・自分たちで使ってきたものの片付けや整理の仕方をどうするか投げかけて、子供が主体的に活動していくようにする ・冬休みの墨ごし方を意識させていく	・もちつき大会	・発表会
・健 康 安 全	・あつ着をせずに、運動で生活する ・うがい・手洗いをしてかりする ・汗がだらしつかりにくく ・もつつき大会（かまどに近づかない、きねの使い方） ・スロープ・廊下を走らない ・ストーブ・ライター・マッチ・カミソリなど危ないものをわらない	・のぼり練等で遊び際は、はだし（すべる、年長の真似をして年少も使うのは危険） ・園外での交通ルールも1人ひとりが意識する	・春・夏・秋・冬の集まりでは、小さい組の面倒を見ながらも、自分の生みれた季節のパートで自分なりの表現を行い、生き生きと発表する。大道具や小道具と自分達で使う用具を友達と協力し、楽しくくる。 ・もつつき大会では、うやきねを使つたり、丸めて食べたりと、喜んで参加した。また、高菜の収穫を行い、塩づけにして食べ、自分でつくりあげた高菜は、格別おいしかったようである。	評価	・春・夏・秋・冬の集まりでは、小さい組の面倒を見ながらも、自分の生みれた季節のパートで自分なりの表現を行い、生き生きと発表する。大道具や小道具と自分達で使う用具を友達と協力し、楽しくくる。 ・もつつき大会では、うやきねを使つたり、丸めて食べたりと、喜んで参加した。また、高菜の収穫を行い、塩づけにして食べ、自分でつくりあげた高菜は、格別おいしかったようである。

(12)月(1)週・日案・日誌

生 活 す る 子 ど も の 姿	ね ら い	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		評 価 ・ 反 省	2 日 ・ 月	行事など		実 施 記 録	
		季節のイメージを役に引ききつ て身体一杯で表現する ・何事にも頑張つてみようという 気持ちで取り組む	・ちつき大会 のお知らせ ・発表会案内 庭連携			・ドッヂボール ・部屋飾りづくり ・ツリーの仕上げ (石をひろって砂を入れる)	・粘土 ・合奏・合唱をする 花の水やり ○春・夏・秋・冬の集まりに参加する		
生活する子どもの姿	ね ら い	・発表会の集まり (春夏秋冬) (大坪記念ホール)	・効果音・カセットテープなどで季節感を味わわせしていく ・教師らしさなく、児童が喜び切るように動き、表現する ・楽しく参加できるようにする ・零気分ができるように、バックにはその季節ごとの大道具をおく	・できるだけ子どもの動きに任せて、ほめながら盛り上げていく ・子どもの発想を大切にし、表現する楽しみが味わえるように認めめる ・小さな組の面倒を見ながら参加で生きるように年長としての自覚を持たせる	3 日 ・ 火	・目印にシールをはつておき、自然に間隔がとれるようにする ・ホールでの約束事をひとひとりが意図して取り組むように仕向ける ・常に広く広がるように声をかけ、響きさせる ・必ず、パンソ・お湯・タオル等の準備をしておき、見えてるところにおいておく ・大型記念ホールで行うことによる本番と同じ気持ちになれるようになる ・自分のパートがしつかり弾けるよう、パート別に分けられる ・音がすれ違うように、しっかり指揮を見る ・押さえ所や強弱をつけら所を意識して歌うように教師が歌つて聞かせる ・ドッヂボールをする	・合奏をする ・音楽をしっかり見る ・子ども達の力に合わせてコートの広さを考えていく ・大道具作り	・合奏する(特別楽器) 「キラキラ星」 ・合奏をする ○春・秋冬の集まりをする 小道具・大道具作り一色ぬり	戸外遊び ×紙芝居 ○絵本 ○うたをうたう ○春・夏・秋・冬の集まりに参加する
生活する子どもの姿	ね ら い	・登園していくと、ストーブの前に座りこんで着替える姿がみられるが、寒さに負けず戸外で走りまわっているようである。 ・季節ごとの季節のイメージを表現して楽しんでいるが、動きが小さいので身体一杯で表現できるようにしていただきたい。	・ちつき大会 のお知らせ ・発表会案内 庭連携	・できるだけ子どもの動きに任せて、ほめながら盛り上げていく ・子どもの発想を大切にし、表現する楽しみが味わえるように認めめる ・小さな組の面倒を見ながら参加で生きるように年長としての自覚を持たせる	4 日 ・ 水	・ホールでの約束事をひとりが意図して取り組むように仕向ける ・友達の音も聞きながら弾けるように声をかける ・必ず、パンソ・お湯・タオル等の準備をしておき、見えてるところにおいておく ・大型記念ホールで行うことによる本番と同じ気持ちになれるようになる ・自分のパートがしつかり弾けるよう、パート別に分けられる ・音がすれ違うように、しっかり指揮を見る ・押さえ所や強弱をつけら所を意識して歌うように教師が歌つて聞かせる ・ドッヂボールをする	・うたをうたう 宇宙のうた (父さんの子守歌) 子どもの世界 ・戸外あそび	×うたをうたう ○春・夏・秋・冬の表現をする (たのしい幼稚園) 必ずトイレに行つから移動させる	
生活する子どもの姿	ね ら い	・登園していくと、ストーブの前に座りこんで着替える姿がみられるが、寒さに負けず戸外で走りまわっているようである。 ・季節ごとの季節のイメージを表現して楽しんでいるが、動きが小さいので身体一杯で表現できるようにしていただきたい。	・ちつき大会 のお知らせ ・発表会案内 庭連携	・できるだけ子どもの動きに任せて、ほめながら盛り上げていく ・子どもの発想を大切にし、表現する楽しみが味わえるように認めめる ・小さな組の面倒を見ながら参加で生きないように年長としての自覚を持たせる	5 日 ・ 木	・ホールでの約束事をひとりが意図して取り組むように仕向ける ・友達の音も聞きながら弾けるように声をかける ・必ず、パンソ・お湯・タオル等の準備をしておき、見えてるところにおいておく ・大型記念ホールで行うことによる本番と同じ気持ちになれるようになる ・自分のパートがしつかり弾けるよう、パート別に分けられる ・音がすれ違うように、しっかり指揮を見る ・押さえ所や強弱をつけら所を意識して歌うように教師が歌つて聞かせる ・ドッヂボールをする	・発表会 ハーサル	×うたをうたう ○父さんの子守歌 (宇宙のうた) 子どもの世界 ・戸外あそび	
生活する子どもの姿	ね ら い	・登園していくと、ストーブの前に座りこんで着替える姿がみられるが、寒さに負けず戸外で走りまわっているようである。 ・季節ごとの季節のイメージを表現して楽しんでいるが、動きが小さいので身体一杯で表現できるようにしていただきたい。	・ちつき大会 のお知らせ ・発表会案内 庭連携	・できるだけ子どもの動きに任せて、ほめながら盛り上げていく ・子どもの発想を大切にし、表現する楽しみが味わえるように認めめる ・小さな組の面倒を見ながら参加で生きないように年長としての自覚を持たせる	6 日 ・ 金	・ホールでの約束事をひとりが意図して取り組むように仕向ける ・友達の音も聞きながら弾けるように声をかける ・必ず、パンソ・お湯・タオル等の準備をしておき、見えてるところにおいておく ・大型記念ホールで行うことによる本番と同じ気持ちになれるようになる ・自分のパートがしつかり弾けるよう、パート別に分けられる ・音がすれ違うように、しっかり指揮を見る ・押さえ所や強弱をつけら所を意識して歌うように教師が歌つて聞かせる ・ドッヂボールをする	・合奏をしっかり見る ・子ども達の力に合わせてコートの広さを考えていく ・大道具作り	×春・夏・秋・冬の表現をする (たのしい幼稚園) ○うたをうたう ○父さんの子守歌 宇宙のうた ○子どもの世界 ・戸外あそび	
生活する子どもの姿	ね ら い	・登園していくと、ストーブの前に座りこんで着替える姿がみられるが、寒さに負けず戸外で走りまわっているようである。 ・季節ごとの季節のイメージを表現して楽しんでいるが、動きが小さいので身体一杯で表現できるようにしていただきたい。	・ちつき大会 のお知らせ ・発表会案内 庭連携	・できるだけ子どもの動きに任せて、ほめながら盛り上げていく ・子どもの発想を大切にし、表現する楽しみが味わえるように認めめる ・小さな組の面倒を見ながら参加で生きないように年長としての自覚を持たせる	7 日 ・ 土	・ホールでの約束事をひとりが意図して取り組むように仕向ける ・友達の音も聞きながら弾けるように声をかける ・必ず、パンソ・お湯・タオル等の準備をしておき、見えてるところにおいておく ・大型記念ホールで行うことによる本番と同じ気持ちになれるようになる ・自分のパートがしつかり弾けるよう、パート別に分けられる ・音がすれ違うように、しっかり指揮を見る ・押さえ所や強弱をつけら所を意識して歌うように教師が歌つて聞かせる ・ドッヂボールをする	・合奏「キラキラ星変奏曲」 冬の幼稚園 ↓ ・指揮をしっかり見ること ・あせらずにゆっくりすること	×春・夏・秋・冬の集まりをする ○春・夏・秋・冬の集まりをする 〔ホールへ行く ○戸外あそび 長繩 ・ホー ル、ドッヂボール	

備考

(12)月(2)週・日案・日誌

生 子ども の姿		生活するもの姿		予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		行 事 な ど	実 施	記 録	
ね ら い	・いろいろな材料を適切に用いて、作つた物を使つたりして楽しむ ・冬の自然の不思議さに興味をもつて、進んで戸外へ出てあそぶ	・家 庭 連携	・もちつき大会について ・発表会について	・自分でいろんな工夫ができるように色々や空箱など、大きくおいておく ・園庭全体をかろくつかない白壁をひいて、ケガをしないように約束する ・もち米を蒸す様子や、蒸し上がった状態など、もちができるまでを知る ・熱い物や重たい物が動いたりするので、より安全な場所に子どもを置く ・色画用紙や白画用紙をとりやすい所に置き、説明かけたりして、経験画に興味を持つようにする	10 日・火	①もちつき大会 ②うたをうたう ③ししまい作りーつづきをする ④発表会集まり ⑤施設で使うる ⑥えの具 ⑦絵本 ⑧あき箱であそぶ	①戸外あそび(固定遊具・沙場・ボール) ②しままいづくり→色紙でまわりを貼る ③牛乳パックで作る ④えさ当番	①戸外あそび(固定遊具・沙場・ボール) ②固定遊具 ③砂遊び ④木登り	紙芝居 ソリ一作り (休んでいた子) ・絵本
し ま い き つ く る	・たのしい幼稚園で使う物を友達と協力して作つたり、つくった物を飾つて踊つたり、あそんだり、丁寧に扱つたりして、丁寧に盛り上げている。 ・ハーモンでは、友達の動きを見たり、曲を聞いたりし、感想を伝えあう姿も見られる。 ・記念ホールまでの移動やたのしい幼稚園で、小さく、組の面倒をみている。	・もちつき大会	・運転訓練について	・自分でも安全について意識するよう事前に約束を確認する ・どんな動きでも堅め、ほめてあげる ・ことで意欲をもてるようになる ・より安全な場所に子どもを置く ・自分のイメージで伸びのびと描けるよう促す	11 日・水	⑨施設であそぶ ⑩えの具遊び ⑪発表会の小道具作り(色ぬり)	⑨戸外あそび ⑩スケーター ⑪沙場 ⑫固定遊具	紙芝居 ・巧技台 マット	
合 奏・合唱	・たのしいようちえん	・道具や小道具に触れたり、使つたりする事で、雰囲気づくりをする ・部屋ばかりではなくホールや園庭で活動し、できるだけ広い間隔で動く	・楽器の音が調和できるように配置し、子どもに楽な姿勢で演奏できようにする ・楽器の音が調和できるように配置し、子どもに楽な姿勢で演奏できようにする	・大きくなりが楽しく参加しているか、大きく動いているか働きかけていく ・1か所にかだまらないように、聞をあけ、流れを理解し、小さい組の面倒も見る ・あわせて友達の音を聞いたり、メロディーにあわせて合奏する ・大きく口を開け、數詞を丁寧に、また指導者に注目して笑顔で歌う	12 日・木	⑬避難訓練 ⑭えの具遊び ⑮発表会の集まり ⑯たのしい幼稚園→衣装の確認 (春・夏・秋・冬)	⑬戸外あそび ⑭ドッヂボール ⑮合奏 ⑯紙芝居	紙芝居 ・巧技台 マット	
○ 運転訓練	・手を後に組み、足を少し広げ、大ききれない車が出るようにする ・放送が流れる時は、常に静かにする	・習慣を身につける ・ボールや繩を使った集団のあそびを紹介し、進んで戸外であそぶよう促す	・子ども自身でも判断できるように機会を設け、より安全な選択を意識する ・体調にも留意し、暑さに負けず身体を動かして暖める ・全員で行うことを計画し、普段らない子も自然に入れるように仕向ける	・大きな声で歌う ・子ども自身でも判断できるように機会を設け、より安全な選択を意識する ・体調にも留意し、暑さに負けず身体を動かして暖める ・全員で行うことを計画し、普段らない子も自然に入れるように仕向ける	13 日・金	⑰たのしい幼稚園 (春・夏・秋・冬) ⑱うたをうたう ⑲紙芝居 ⑳色紙あそび	⑰戸外あそび ⑱ボール→ドッヂボール ⑲紙芝居 ⑳色紙あそび	紙芝居 ・巧技台 マット 戸外あそび→全員でドッヂボール ・絵本	
戸外あそび					14 日・土	・うたをうたう ・紙芝居 ・色紙あそび	戸外あそび ・紙芝居 ・色紙あそび	紙芝居 ・巧技台 マット 戸外あそび ・絵本	
備 考									

(12)月(3)週・日案・日誌

評価 ・ 反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	年長	行事など		実施記録	
			15日・月	発表会	○合奏「キラキラ星変奏曲」 ○合唱「父さんの子守唄」 ○合唱「子どもの世界」 ○サンタ登場	○クリスマスコンサート ×椅子とりゲーム ×紙芝居 ○うたをうたう
生子どもする姿	・たのしい幼稚園の各グループの役の中で年少・中の友達の動きにも気を配り、楽しく過ごせるよう面倒を見ている。 ・ドッヂボールの経験の多い子は、スピードのあるボールを投げたり、進んで受けたりできるが、経験の少ない子は、逃げるスリル感を楽しむことだけに終わっている。	ねらい	・進んで戸外に出て身体を動かしたり、 冬の自然のように気づいたりする ・2学年が終わることがわたり、冬休みや3学期の生活に期待を持つ	・終園にあたって のお知らせ	・男女全員で行うことでのみ入りこないような子どもが入るようには仕向ける ・子供たちが作った大道具・小道具で壇壝を構成し、遊びを盛り上げる ・年少・中の世話をいつでもみれるよう、各パートの中で年長児のそばに、小さい組をつけておいく(決まった相手など)で、実際にサンタクロースが登場することでの、雰囲気を盛り上げる	クリスマスコンサート ・立つ場所が分かりやすいようにビニールテープで印をつける ・大きいスペースを存分に使い、後ろの人にも動きが伝わるよう大きく表現する ・一人ひとりが大ホールでのマナーを意識して参加する ・常に笑顔で接し、子どもが安心して取りくめるようにする
○発表会	○クリスマスコンサート ・親子清掃	17日・火	・クリスマスコンサート ・戻る ・火	・戸外あそび ○ドッヂボール ×マラソン ○固定遊具 砂遊び	・色紙でサンタをつくる ・戸外あそび ○巧技台 ×マット ○固定遊具	・クリスマスコンサート ×椅子とりゲーム ×紙芝居 ○うたをうたう
もみの木誕生会 〔エプロンシアター 「うたをうたう」 「オーフィンス〕	・当日、楽しく参加できるよう各クラスでピアノを弾き、メロディーに耳慣れるようにする ・冬の季節を感じ取れるよう環境設定となるようにする	18日・水	・誕生会 ・木	・戸外あそび ・色紙あそび ○えの具遊び (発表会の絵)	・木の木誕生会 ・色紙あそび ○えの具遊び (発表会の絵)	・エプロンシアター ・うたをうたう ・オーフィンス ・オーフィンス
・のかなをぬいて洗つておつけものにする ・えの具遊び (発表会の絵)	・自分たちにできることを考えて行えるよう、一人ひとりに手巾を持たせる ・たかなをぬいてつけるものづくりをする ・終園式	19日・木	・親子清掃 ・木の木	・戸外あそび ○縄とび ○ボール ○固定遊具	・親子清掃 ・粘土 ○自由画 ○えの具遊び →・発表会の絵を描く ・自由画	・親子清掃 ・ホール ・廊下 ・かかなをぬいて洗つておつけものにする ・えの具遊び (発表会の絵)
備考	・たかなをぬいてつけるものづくりをする ・冬休みの予定を聞きながら、健常な生活の仕方・安全な生活の仕方にについて話し合う	20日・金	・親子清掃 ・教師がやってみせながら、子どもにもつくり方を自然に覚えさせていく ・楽しい時期や年末の安全な過ごし方を知り、守る気持ちをもつ	・戸外あそび ○ボール ○巧技台 マット	・親子清掃 ・粘土 ○自由画 ○えの具遊び →・発表会の絵を描く ・自由画	・親子清掃 ・ホール ・廊下 ・かかなをぬいて洗つておつけものにする ・えの具遊び (発表会の絵)
		21日・土	終園式	○戸外あそび ○うたをうたう ×ゲーム遊び ×紙芝居	○終園式に参加する えさ当番 ネリダ先生と話をする (カードをいただく)	

1月の計画

指導の内容		環境構成	予想される子どもたちの活動	配慮事項
・発表会を通して、異年齢間の結びつきが強くなり、面倒も自然にみれるようになってしまった。 ・寒さに負けず元気に戸外遊びを楽しんでいるが、集団遊びをする子、少人数で遊ぶ子と分かれているようである。	ねら ・自分たちの目的に向かって、友達と一緒に遊びを進めることを楽しむ ・友達との遊びの中で一人ひとりが目的を持って、進んで遊びに参加する ・冬の自然現象に興味を持ち、見たり試したりする	・好きなお遊びが十分楽しめるように、道具や用具の数を点検し、整理しておく ・いろいろな材料や用具を工夫しながら使い、取り組む ・チーム意識をもち、相手のことも考えながら遊びを進める ・目的に向かって挑戦し、出来た喜びを味わう ・ルールを守りながら、苦手な事でも挑戦しようとする ・実際に掃除やえさりを経験し、動物を育てる大切さを知る ・経験した事を思い出して表現することを書ぶ ・自分の好きな絵を描き、友達同志で作り上げていく ・文字に興味をもち、遊びながら考えるカルタカードをつくる ・数に興味をもち、友達と考えながら作り上げていく ・身近な材料でもいろんなものが作れることを楽しむ ・クラス全員で屋外の広い場所で伸びのびと身体を動かす ・かしあそぶ ・自分の思いを好きなように紙に表現することを楽しむ ・環境を観察するために行う ・健康を願うために行う ・自分で考え、工夫しながらいろいろな形を作る ・強弱や美しさを感じたりながら聞いていく ・1月生まれの友達を全園児で祝う楽しさを味わう ・どういう状態であってもしっかり放送をきき、勝手に行動をとらない（日頃から）	・戸外あそび ・たこあげ ・ドッヂボール ・跳び箱 ・鬼ごっこ ・アネモネ・ブリムラの観察 ・えさ当番 ・室内遊び ・英語カルタカード ・かるた作り→かるた遊び ・すごろく作り→すごろく遊び ・たこ作り ・折紙 ・花作り ・冬休みの経験を描く ・ごっこ遊び ・ごっこ遊び ・自由画 ・花作り ・鏡開き（11日） ・写真撮影に参加する（16～23日） ・参観日（ドッヂボール大会） ・はねつき ・楽しいコンサート ・風の子誕生会 ・避難訓練	・クラス全員がゆとりをもつて入れるくらいの大きめのコートをあけては、風の向きや強さなど、たこがよく上がる条件にも気付くよう助言する ・しつばのつけ合い ・なわとびやドッヂボールなど身体のあたたまる遊びに説明する ・わいわけ、出来るのは園舎の園舎機能に説ける ・教師も仲間として参加し、遊びを盛りあげていくと共に、音楽を聞きながら踊る ・ドッヂボールが起きた時には、音で考えて気持ちを出しあつたり、ルールを守ることに気づかせたりする ・音楽によるダンスや踊りに参加は、いつも同じ子どもにならないようにする ・全員違う絵を描かせ、人のまねなどではなく個性が生かせるようにする ・教師の目がいきとどくようには、クラスごとにコーナーを開ける ・各家庭で慣れていないように、遊びを紹介し、ルールを守りながら遊べるように仕向けていく ・人の遊びの始まりにならないようには、場所を考える ・これだけり、糸がはげたら修理できるように仕向けてくれる ・よく上がるために作ろうという目的に向けてがんばる気持ちを励まし、既成のたこや手作りのたこを見せて工夫のどころに気がつかせる ・たこあげは人のいいない所を見つけて行うよう声をかける ・折紙・画用紙・木材の適切な使い方を意識しながら使え ・一人ひとりのよいところを見つけられ、自信につなげる ・自分の身なりを整え、友達同志でも確認できるよう声をかける ・優勝したクラスにトロフィーを用意し、期待や満足感をもたせる ・マナーを一人ひとりが意識して参加できるようには日頃の生活態度を気を付けておく ・歌をうたう時、歌のかけめをつける ・一人ではばかりせずに交代で行うよう声をかけルールを自分でつくるよう仕向ける ・皆で心をこめて誕生児を祝う
・生活する子どもの姿	・自分たちの目的に向かって、友達と一緒に遊びを進めることを楽しむ ・友達との遊びの中で一人ひとりが目的を持って、進んで遊びに参加する ・冬の自然現象に興味を持ち、見たり試したりする	・8日 始園式 行 ・9日 弁当開始 ・10日 給食開始 ・11日 鏡開き ・13日 避難訓練 ・16日～23日 写真撮影 ・25日 参観日	・8日 楽しいコンサート ・9日 一ト ・30日 風の子誕生会	・クラスだより ・楽しいコンサートのお知らせ ・給食費（12月分）返金 ・お誕生日について ・耗材の呼びかけ ・写真撮影についてのお願い
・安全	・スロープ・廊下・部屋を走らない事 ・手洗い・うがいの徹底 ・スマックを撲たまま遊ぶのにならない事 ・たこあけ園庭の使方を考える ・きく（たこ） ・め（すろく・福笑い） ・ヨリ（はこいた）	・ホットプレート注意（近よらないように） ・スプレー ・マッチ・ストーブなどに縛れないこと ・厚着しないように ・汗が出やすくする ・ヨリ（はこいた）	・お正月遊びを友達同士紹介したり、教師がヒントを与えることから遊びが発展していった。 ・たこあけでは材料を手に使い、たこ作りにとりかかった。たこがやがけたり、しつばがまれたりすると、自分で修理する姿も見られた。 ・遊んだ後の片付けが自ら出来る子と、出来ない子がいるようである。 ・自分の考えを伝え合えないまま遊びに参加している子が多い。できるだけ発言ができるように保わっている。	評価

(1)月(1)週・日程・日誌

年長

評価 ・反省	日・月	行事など	実施記録		
			日	月	記録
予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項					
ね ら い	・自分の目的に向かって試したり、考えた りしながら達成する遊びを味わう ・友達と協力したり話し合ったりしなが ら遊びを進めていく ・うがい・手洗いをしっかりとし、健康管理 に気をつける	8日からお弁当開始 家 庭 連 携			
生子どもするの姿	発表会を経験したことでのクラスや異年齢の友達とのつながり が深まつたようである。寒さにも負けず、どの子も元気に戸外遊 びを楽しんでいる。ゲームなどでは、相手の気持ちも考えながら 身近な教材を利用して、友達意識も強くなってきた ようである。	・自分達からやり始めることがで きるようになります ・ボールなどがどんぐりを打つ ・おもちゃで遊ぶ ・遊びの絵を描く ・座布団遊び ・カールタ 〔はご板づくり 〔たこづくり〕 ・英語で遊ぼう ・うたをうたう ・カルタ遊び ・粘土遊び ・正日遊び 〔はねつき 〔すごろく 〔たこあげ〕	・あまり自信のない子の為に別に コートを作つておく ・がけをしないよう常に全体を見お き、すぐに補助ができるよう見守る ・どんな絵でも認めてあげることで、 自信をもつて描けるように仕掛けける ・画用紙いっぱいに伸びの大きさ 描くよう座をかける ・自身などころにたくさんの座布 きをおいて、子どもから何か 作りたいという気持ちがおこる ・ハサミで仕向ける ・冬休みの思い出を書く ・おき、気付かせる ・自身などころにたくさんの座布 きをおいて、子どもから何か 作りたいという気持ちがおこる ・ハサミで仕向ける ・冬休みの思い出を書く ・発表する ・練習 〔せんさいを食べる〕 ・英語で遊ぼう ・うたをうたう ・カルタ遊び ・粘土遊び ・正日遊び 〔はねつき 〔すごろく 〔たこあげ〕	・自分達からや り始めることがで きるようになります ・ボールなどでどんぐ りを打つ ・おもちゃで遊ぶ ・遊びの絵を描く ・座布団遊び ・カールタ 〔はご板づくり 〔たこづくり〕 ・英語で遊ぼ ・うたをうたう ・カルタ遊び ・粘土遊び ・正日遊び 〔はねつき 〔すごろく 〔たこあげ〕	・あまり自信のない子の為に別に コートを作つておく ・がけをしないよう常に全体を見お き、すぐに補助ができるよう見守る ・どんな絵でも認めてあげることで、 自信をもつて描けるように仕掛けける ・画用紙いっぱいに伸びの大きさ 描くよう座をかける ・自身などころにたくさんの座布 きをおいて、子どもから何か 作りたいという気持ちがおこる ・ハサミで仕向ける ・冬休みの思い出を書く ・おき、気付かせる ・自身などころにたくさんの座布 きをおいて、子どもから何か 作りたいという気持ちがおこる ・ハサミで仕向ける ・冬休みの思い出を書く ・発表する ・練習 〔せんさいを食べる〕 ・英語で遊ぼ ・うたをうたう ・カルタ遊び ・粘土遊び ・正日遊び 〔はねつき 〔すごろく 〔たこあげ〕
今週は、休み明けということで、子ども達も久しぶりに登園し、友達と会えた喜びや、今までやれなかつた遊びがまたできるということで、とても元気よく遊びが多かつたようだ。 遊びは、正月遊びが盛り上がり、すごろく・たこあげ・はねつき・カルタがよく見られていた。					
年長					

年長

(1)月(2)週・日案・日誌

評価 ・反省	予想される子どもの活動・配意事項	行事など		実施		記録	
		日	月	日	月		
ね ら い	・お正月遊びやゲームなどをしながら、自 分達でルールを作り、守って仲良く遊ぶ ・友達同士で工夫したり相談したりして遊 びを進めていく ・健康管理に気を付ける	・写真撮影について のお願 い ・写真撮影	13 ・家庭 運 搬	・避難訓練 ①こづくり、「マジックで切るところにしるしをつける ビニールを切る ひこうきをつける 糸をつける ②たこあげ ×こまつくりーここまで遊ぶ	・戸外あそび ①ドッヂボール ②固定遊具 絵を描く (冬休みの絵)	○戸外あそび ①マジックで切るところにしるしをつける ・はねつき ②カラタオリ(大型) ・すごろく作りー①すごろくで遊ぶ ×こまつくりーここまで遊ぶ	
・冬休みが明け、友達と一緒に登園していく幼児がほとんどだが、中には朝だるさうに登園する子もいる。 ・年末・年始の樂しかった出来事を話題に会話をはずんだり、実際描いたり、作ったりして楽しんでいる。	・冬休みが明け、友達と一緒に登園していく子も多い。 ・年末・年始の樂しかった出来事を話題に会話をはずんだり、実際描いたり、作ったりして楽しんでいる。	・風の向き・たこがよく上がる条件に 風の向き・たこがよく上がる場所 を子どもに考へる時間を持つ ・もつてきかない子の為、ひごや ビニールを余計においておく ・ライン引き、自分でチーム式 にやついくことに気付かせる ・自分達で遊びを作り出せるよう、 必要と思われる教材・用具を自由 に取り出せるようにしておく ・正月の飾りや年賀状などにより正 月らしい雰囲気を出し、イメージ きれやすいようにする	14 ・火	・たこづくりーたこあげ ①すごろく作りー遊ぶ ・ふくわらい ・砂遊び ②固定遊具 ・英語の単語で遊ぶ はねつきー男女対抗で行う	・戸外あそび ①ドッヂボール ②砂遊び ・絵力ードづくり(英語版)	○えの具遊び (冬休みの絵) ・絵力ードづくり(英語版)	
・はねつき (英語版)	・子どもたちがおもむろに遊び始め たこと作り ・たこあげ ・は二板 ・はねつき ・すごろく ・かるた ・マラソン ・うたをうたう ・木材であそぶ	・友達同志安心して製作すること が出来るように、机の配置コナー 作りを工夫していく ・どうやつたら上がりたこが出来るか を子どもに考へる時間をもつ ・もつてきかない子の為、ひごや ビニールを余計においておく ・ライン引き、自分でチーム式 にやついくことに気付かせる ・自分達で遊びを作り出せるよう、 必要と思われる教材・用具を自由 に取り出せるようにしておく ・正月の飾りや年賀状などにより正 月らしい雰囲気を出し、イメージ きれやすいようにする	15 ・水	・安全を考え、場所を決めておく ・直線で往復するようにして走るよう 声をかけ、周囲の形態にならないよ うにする ・風の向き・たこがよく上がる条件に も気づくよう助言する(あげる場所 を考える:安全面) ・自分達でルールを作ったり工夫した りできるようルールにする ・1人ひとり違うものを描くことで、 まねをすることがないようにする ・アイディアやヒントを与え、自分達で 活動する喜びを味わわせるようにする ・友達間のトラブルは子ども同志で解 決できるように見守り、必要に応じ て援助していく ・教師自らも走り、盛り上げていく ・きれいな声で歌えるように良い所を 普め、意識して歌えるようにする ・常にいろんな種類の木材があるよ うに声をかけ、集めておく	写真撮影 ○はねつきをする ×競争式で行う ×ドッヂボール ○固定遊具 ○砂遊び	○カルタ (ホールにて) ○絵本を見る たこあげ インディアンのお家で遊ぶ	○戸外あそび マラソンー30周(子ども達が決める) たこづくり たこあげ
・幅狭い ・幅広い ・高さ ・幅の狭い ・幅の広い ・高さ	・英語で遊び ・小さい組と組ませることにより、 分からぬ所を教えてあげるよう にする ③避難訓練 (実際の火事 が起こる) ・指示をテキハキと行い、子どもが 常に真剣に参加することを伝える	・日頃の保育の中でも英語を取り入れ、 解しませでいく ・避難説が自分で判断できるように出 火場所を色々な所に置きかえて知ら せていく ・たこあげ ×はねつき ○ふくわらい ×これまでそぶ	17 ・金	×写真撮影 ○戸外あそび マラソンー30周(子ども達が決める) たこづくり たこあげ	○カルタ ○自由画 ゴム遊び	○戸外あそび マラソンー30周(子ども達が決める) たこづくり たこあげ	
備考			18 ・土	○たこあげ ×はねつき ○ふくわらい ×これまでそぶ	○粘土 ○自由画 ゴム遊び	うたをうたう	

(1) 月 (3) 週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	行事など	実施記録	
			20日・月	21日・火
ねら い	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考えた事やイメージした事を、家・鬼の面づくりの材料について取り組み、工夫する楽しさを味わう 寒さに負けず、身体を動かしてあそぶ事に積極的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外あそび { ×ドッヂボール ○砂遊び ○固定遊具 	<ul style="list-style-type: none"> ○文集づくり（1人ひとり書き） 自画像、名前 etc ○繩とび (長縄) 	<ul style="list-style-type: none"> ×マラソン ×戸外あそび { たこあけ はねつき だるまさんが転んだ
生활する姿	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と一緒に目的をもつて遊び、友達の楽しさや形でつくられるよ モールや紙袋、ビニール袋などの工兵ができるよ おねしょ 原紙に丁寧に保育者と一緒に書き、大きい文字でゆるやかにする 2・3人づつの子どもが行き届くようにする ドッヂボール大会 文集を書く 英語であります（カルタとり） たこづくり 部屋掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きの分からない子には動き方を傳えて覚えさせ、鬼のイメージをそれをそれで持ち、友達のを真似するのではなく、工夫してつくる事を楽しむ ・モールや紙袋テープ、ビニールテープなどより一層の工夫ができるよ ・原紙に丁寧に保育者と一緒に書き、大きい文字でゆるやかにする ・2・3人づつの子どもが行き届くようにする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする ・鬼の面づくりをする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴムとび ○うたをうたう 「こぶたぬきつねこ」 バナナのうた ままごと 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語であそぼう ○絵カード（カルタ）一新しい単語 うたをうたう ・キャラット ・王なぎ ・キューキ　他 ×えの具遊び ・花植えのお手伝い ・ボール遊び ・けんけんば はねつき ○ドッヂボール ○たこあげ ○カルタ ○投げ方 ×えの具遊び ・ドッヂボール ○たこあげ ・ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方 ○ドッヂボール ○たこあげ ×ボールあそび うけ合いこ うけ合ひ ○カルタ ○投げ方
備考	うたをうたう（カルーライス、ヤンチャリカ…）	参観日	25日・土	<ul style="list-style-type: none"> ・文集づくり ○戸外あそび ・固定遊具 ○砂遊び ・ごっこ遊び ・マラソン ○準備体操 ○ドッヂボール (親子) ・男の子 対〃 ・女の子 対〃 ・お母さん対〃

(1) 月 (4) 週・日案・日誌

年長

評価 ・ 反省	行事など 27 ・ 月	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項			記録
		楽しいコント ・ い	楽しいコント ・ い	施	
子生活するもの姿	・ 友達を誘ってチームを作ったり、競 い合つたりしながら、遊びに見通し を持って取り組む ・ 冬の自然現象や変化に気づき、自分 なりに考えたり試したりする	・ 全員が伸びのびとあがられられるよう に広い場所（文化の森）へ出かけ る ・ のびのびと活動できるよう広い場 所を求めて、出かけて行く（文化 の森または女子高グラウンド）	・ 時に一緒にうたえる曲を入れてあげ ることで子どもも一緒に楽しめるよ うに仕向ける ・ 一人ひとりがマナーについて意識し、 小さい組の面倒にも気配りながら 参加する ・ どうやつたらどうしようなタコができる かを考えさせることで考えたりしながら、自 分で考えさせられる ・ 風の冷たさ、木の冷たさの感触を 知ったり、日なたの暖かさなどに聞 こえたりして感じたりしながら、温 かい手足の感覚をしつ かり伝え、事故のないように見守る ・ 前後左右の障害物に気をつけながら 、広いスペースを見つけて走る ・ 誰もいないところにむかって走っ ていくように伝える	・ 戸外あそび ×マラソン ×ドッヂボール ④固定遊具	④鬼の面づくり→自分の思うように作る ↓ ・ 楽しいコント(2Fホールにて) ・ 知っている歌をうたう「カレーライス」 ④鬼の面づくり→人のまねばかりでなく一工夫するように声をかける 好きな模様をつける
ねらいい	・ 友達を誘ってチームを作ったり、競 い合つたりしながら、遊びに見通し を持って取り組む ・ 冬の自然現象や変化に気づき、自分 なりに考えたり試したりする	たこあげ誕生会 (ハガキ)	・ 前後左右の障害物に気をつけながら 、広いスペースを見つけて走る ・ 誰もいないところにむかって走っ ていくように伝える	28 ・ 火 ・ 水	④鬼の面づくり→自分の思うように作る ↓ ・ 玩具遊び → 色ぬり ④粘土あそび ④ドッヂボール→男女まじって
紙版画	たこあげ 紙版画	たこあげ 紙版画	たこあげ 紙版画	29 ・ 木	④鬼の面づくり→自分の思うように作る ↓ ・ 紙版画 ④ボール遊び ④ドッヂボール たこ作り(ハガキ) ・ 粘土あそび ④絵本をよむ ・ 廃材であそぶ ・ 廃材をつくる （貼る） （土台の紙にはぎれや毛糸を使って形をつくる （貼る）） ・ 紙版画
鉛筆	英語であそぼう (絵カードあ そび)	いろいろな模様が楽しめるように、 画面のあるお絵かきや毛糸などを用 いておもてんかしながら、カードを使 いついておき、安心感をもたらせる ことで、満足感をもたらせる ・身近な単語を発音しながら、カードを使つ たりを楽しむ ・もうひと工夫があるとよいと思わ れるものには、ほめながら、ピン トを与えて、一層おもしろいもの ができるよ	・ 丁寧に作り上げてい く（目・臺・口・つの工夫） ・ テープやバンドの無駄な使い方をし ないように見守る	30 ・ 木	④鬼の面づくり ・ 紙版画をする ・ 絵本（チャイルドブック1月号） 全員で見る（待ち帰る） ・ 粘土 ・ 文字遊び（つみ木） ・ 自由画
○鬼の面つくり	英語であそぼう (絵カードあ そび)	・ ビニールテープ・モール・平テー プ・紙テープなど、子供のアイテ ムがひき出せるような材料を豊富 にそろえておく	・ 鬼のイメージをそれぞれでとらえ、 工夫しながら、丁寧に作り上げてい く（目・臺・口・つの工夫） ・ テープやバンドの無駄な使い方をし ないように見守る	31 ・ 金	④鬼の面づくり ・ 紙版画をする ・ 新聞紙あそび ・ 粘土 ・ 文字遊び（つみ木） ・ 自由画
備考				1 ・ 土	④カルタ ×うたをうたう ・ 紙版画をする ・ 絵本（チャイルドブック1月号） 全員で見る（待ち帰る） ・ 粘土 ・ 文字遊び（つみ木） ・ 自由画

2月の計画

子どもの姿		内 容		環 境		成 果		予想される子どもの活動		想 事 項	
・ドッヂボールのルールを覚え、競争心や仲間意識をもつて楽しくチームに参加している（集団遊びの楽しきを味わう）	・自分たちで遊びを計画したり、発展させたりして皆で、力を合わせて楽しく遊ぶ	・チームを作つて遊びを味わう	・園庭リスベースがうまく使正在しているかを見回しながら、それぞれの子どもが伸びのどう遊ぶるようにする	・戸外あそび	3日(月)…まめまき(節分)	・戸外あそび	3日(月)…まめまき(節分)	・子にはその子にあつたからし方をし自	・べな子せしてしているあそびが言葉をひいに参	・クラスマサード	・クラスだより
・製面では色々な材料を使いこなす友達と相談しながら作りあげている	・寒さに負けず、進んで外に出て身体を動かして元気に遊ぶ	・寒さに負けずで思いきり身体を動かし、あたためてあそぶ	・できる子を見本とし、見せることで自分との違いに気付かせる	・うさまきシャンケン	14日(金)…かぜのこ誕生会	・かかしケンパ	14日(金)…かぜのこ誕生会	・子にはいくつもじをひいに参	・うなづいてるよ	・楽しいコンサート	・楽しいコンサートのおしゃらせ
・卒園文集を書くことによりもうすぐ卒園であることを意識はじめたようである。	・寒さに負けず、進んで外に出て身体を動かして元気に遊ぶ	・友達のがんばりや良いところを認めたり励ましたりしし、友達の成功を共に喜ぶ	・がるようにはサッカーゴールを出しておく	・鬼ごっこ	26日(水)…新入園児説明会	・短縄	26日(水)…新入園児説明会	・うなづいてるよ	・うなづいてるよ	・運転練習	・運転練習
・健 康	・人間関係	・環境	・表現	・環境	27日(木)…美しいコンサート	・ひょうたん	27日(木)…美しいコンサート	・うなづいてるよ	・うなづいてるよ	・水、霜柱(雪)	・水、霜柱(雪)
・自ら遊びを計画したり、発展させたりして皆で、力を合わせて楽しく遊ぶ	・チームを作つて遊びを味わう	・寒さに負けずで思いきり身体を動かし、あたためてあそぶ	・できる子を見本とし、見せることで自分との違いに気付かせる	・サッカー	28日(金)…避難訓練	・ドッヂボール	28日(金)…避難訓練	・うなづいてるよ	・うなづいてるよ	・見られるよ	・見られるよ

(2)月(1)週・日案・日誌

年長

評価・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項				行事など	実施	記録
	家	庭	連携	豆			
ねらい	・自分のことだけではなく、相手の事も考えながら遊びを進める ・毎日の園生活を充分に楽しみ、自分のしたい遊びを思う存分に行う	・紙版画の材料をお持たせください	豆まき	豆まき	・戸外あそび 鉄棒のぼり棒 ○ドッヂボール	○節分 豆まきをする 鬼の面をする→小さい組②に豆ひらいをする 豆になつて行く 本物の鬼2ひきがやつてくる 豆を投げつける	○うたをうたう ○粘土 ○自由画
豆入れ(マス)	・豆を入れる 作り	豆まき	4日	火	×紙版画をする {自分でどんな図案にするかを考える {切つたり、貼つたりする ・文集の表紙づくり(自由に絵を描く) ・文集	×ドッヂボール 戸外あそび 午後に全員で取りくむ 鉄棒→午後に全員で取りくむ たいこ橋 のぼり棒	○英語であそぼう (絵カード)カルタ ×神経衰弱(動物) ・砂遊び ・自由画
○紙版画	・豆まき 豆入れ(マス)	豆まき	4日	火	×紙版画をする {土台に布を切つたり、毛糸を {切つたりして貼りつける ×ドッヂボール	・長縄をする ○うたをうたう (郵便屋さん) (ハの字)	○うたをうたう 友達になるために
○英語で遊ぼう (カード)	・豆まき 豆入れ(マス)	豆まき	5日	水	×紙版画をする ・日本で遊ぶ時にはげてくること のないようには金体にしてしまう伝える りをのばして貼りつける ×ドッヂボール	○戸外あそび (○鉄棒(逆上がり)・前まわり)、○ごっこ遊び、たいこ橋など	○戸外あそび (○鉄棒(逆上がり)・前まわり)、○ごっこ遊び、たいこ橋など
戸外遊び(紙版)	・豆まき 豆入れ(マス)	豆まき	6日	木	×文集の表紙づくり (丁寧にゆっくり描かせていく) ×文字遊び ・ごっこ遊び	○ドッヂボール 紙版画を行う 土台つくり一紙、毛糸、布を切つて貼りつける ○戸外あそび (○鉄棒(逆上がり)・前まわり)、○ごっこ遊び、たいこ橋など	○戸外あそび (○鉄棒(逆上がり)・前まわり)、○ごっこ遊び、たいこ橋など
○文集(表紙) 絵本(チャイルドブック)	・豆まき 豆入れ(マス)	豆まき	7日	金	○紙版画をする (仕上げ)	○戸外あそび 砂遊び (ボール)	○新聞紙あそび ×えの具あそび ・長縄あそび (部室)
長縄あそび	・豆まき 豆入れ(マス)	豆まき	8日	土	○戸外あそび	○絵本を見る ×えの具あそび ○粘土 ○固定遊具	○戸外あそび 郵便屋さん ×ゴムとび ○新棒 逆上がり ・友達の絵を描く
備考							

(2)月(2)週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	行事など	実施記録		
			記	絵本	録
縄縛 長縛とび	・適切な繩の長さにして、まわしやすくし、・繩の中に入っていくタイミングをつかめようとする。 また、周りでやそんでも声をかければ繩が当たらないようにする。 を持ち掻敵できるようにする。	10日・月	①戸外遊び ②鉄棒—自分から挑戦している 長縛 砂場	①版画の土台づくり ②版画の印刷 名前書き、出来上がりをつなげていく	①粘土 ②自由画 ③カルタ
紙版画(台 紙づくり)	・友達と相談したり協力しながらあそび、薄着になり身体をあため集団あそびを楽しむ。 ・自らの目標を持って取り組み、最後まで丁寧にやり遂げようとする。 ・紙版画の製作で印刷する絵の面白さに興味を持ち、丁寧につくる。	11日・火	建国記念の日	①うたをうたう(友達になるために)	
(印刷)	・自分のではなく友達の作品も見れる ように、ホールに展示し(展示会)、自由に見られるようにする。	12日・水	①紙版画づくり ↓(印刷) ・ホールに展示する 他の子の作品も見ながら作品をほめ合う(おもしろいところ)	①うたをうたう(卒園に向けて) ②鉄棒 ③登り棒 ④粘土	
・かぜの誕生会 しつぽどり ゲーム	・衣服につかないよな気を付けながら好きな色・画面紙の色を選び、楽しめる ・他のクラス、下のクラスの子どもも興味を示すように見えるところで行う ・大勢の友達が集まった時の結束を言葉か、2月生まれの誕生者を中心から祝 けし、優しく負けず、強い子どもになろうという気持ちが持てるようにする ・二年生の誕生日に贈る贈り物を充分に動き、活れないよなうにする ・伸びのびでできるよう大きめの円をつく る	13日・木	①鉄棒をする ②お店屋さんごっこーーキや果物づくり ↓(準備をする) ③(ダンボールや廃材を使ってつくる) 色紙をはる	①うたをうたう ×文字遊び ②鉄棒をする ③お店屋さんごっこーーキや果物づくり ↓(準備をする) ④(ダンボールや廃材を使ってつくる) 色紙をはる	・版画をする ・版画展 ・絵本
鬼ごっこ ケーリング	・全員の顔が見えるようにし、繰り返し歌 い親しみを持てるようにする ・心をこめてやさしい声でうたうように1 人ひとりに伝える ・大勢の子どもを説いたい、集団でのあそ びを楽しめるようにする	14日・金	かぜの誕生会	①お店屋さんごっここの準備 (くだもの、ケーキなどいろいろ) ・うたをうたう(空よりたかく)	自己紹介 プレゼント渡し しつぽどりゲーム ・かかしケンパン ・ひょうたん ・うすまきジャンケン
備考	・ケーリング(お店屋さんごっこ) いろいろな遊びができるよ うに、リボンや、どんぐりなどいろんな素材を出しておく	15日・土	①お店屋さんごっここの準備 ↓(えの具で色づけをする) ケーリング(お店で食べる) ②うたをうたう(空より高く)	・鬼ごっこ ・粘土 ・カルタ	十字路 縄とび

(2) 月 (3) 週・日案・日誌

評 価 ・ 反 省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項		行事など	実 施	記 録
	ね ら い	・寒さに負けず自ら体操服に着替え戸 外に出て元気に遊ぶ ・いろいろな材料や用具の特質を生か し遊びに使う物を作ったりする	家 庭 連 携	・手洗いうがいを 確実に行うこと	
17 日 ・ 月			①お店屋さんごっこ (ケーキ屋さん) お弁当づくり→お弁当屋さん ②うたをうたう (空より高く)	①お店屋さんごっこ (ケーキ屋さん) お弁当づくり→お弁当屋さん ②うたをうたう (空より高く)	・ドッヂボール ・ごっこ遊び
18 日 ・ 火	①十字路 ひょうたん鬼 かかし ②しつぽとり 長繩	・経験によってうすまきの距離を長 くしていく ・多くの人數になつた時はライン (コード)を2、3つくりゆど りをもつてできるようにする ・運動遊びがいつでもすぐに始めら れるよう園庭にラインを引いてお いたり、③ラインが消えかかつて いたら引き直しをしたりする ・自分たちで進めていこうという気 持ちや態度を認め今何をしたいの か、今何をしているのかをはつき りさせていく	①お店屋さんごっこ (ケーキ屋さん) お母さんごっこ ②うつみ木 ③身体計測 ④お店屋さんごっこ	①お店屋さんごっこ (ケーキ屋さん) お母さんごっこ ②うつみ木 ③身体計測 ④お店屋さんごっこ	・戸外あそび ①繩(短縄) ②うすまき→クラスみんなに呼びかける ・縄とび ・縄跳び ・十子路 ・固定遊具 ・戸外あそび ①粘土 新報紙 ・鉛棒一逆上がり ・砂遊び
19 日 ・ 水	ごっこ遊び ①お店屋さん レストラン ②ケーキ屋さん	・応援をする時、自分の番までは座つ て待つことをその都度伝えて習慣 づける ・教師も仲間になつてルールを確認 しながら分かつていいない子どもに はルールを教らせていく ・応援、はげましまじめとして遊びを 盛りあがめいつそうち充実感を味わえ るようには援助していく ・自分たちで進めていこうという気 持ちや態度を認め今何をしたいの か、今何をしているのかをはつき りさせていく ・いろいろな材料、用具が使えるよ うに目のつきやすい所に準備してい おく ・お店ごとの役目が分かるように考 えていく ・緊急がでるよう買い物袋や包装 紙などを出しておく ・包装紙でテーブルクロスを作つた り花をかけることで一段と雰囲気 ができるようになる ・小さい組の面倒をみてあげること ができるよう座る時も交互に座る (移動の席も含む)	①お店屋さんごっこ (大きな大根) ②うつぼとり ③十子路 ④お店屋さんごっこ	①お店屋さんごっこ (ケーキ屋さん) お母さんごっこ ②うつぼとり ③十子路 ④お店屋さんごっこ	・戸外あそび ①ボール ②うすまき ・かかし ・十子路 ・固定遊具 ・戸外あそび ①木 新報紙 ・鉛棒一逆上がり ・砂遊び
20 日 ・ 木	科学技術 館	・教師も子ども達と一緒に考えを出 したりアイデアを出したたりしてい く ・自分達で考えたり工夫していると ころをほめたりほめましたりする ・他のクラスの子どもにも声をかけ、 範囲が広がっていくようにする ・同じ子どもだけがお店屋さんにな らないように時に交代を入れる	①科学技術館に行く バナルシーターを見る (大きな大根)	①お店屋さんごっこ (ケーキ屋さん) お母さんごっこ ②うつぼとり ③十子路 ④お店屋さんごっこ	・戸外あそび ①木 新報紙 ・鉛棒一逆上がり ・砂遊び
21 日 ・ 金	科学技術 館へ行く	・事前のないよう注意し、勝手な行 動をとらないよう前もって言い聞 かせておく	①お店屋さんごっこ (他のクラスへも 買いたい) 新聞紙あそび→洋服づくり→えの具遊び ②うたをうたう ・お店屋さんごっこ (他のクラスへも 買いたい)	・英語で遊びよう ・うたをうたう ・えさ当番 ・他のクラスへ買い物へ行く	・戸外あそび ①木 新報紙 ・鉛棒一逆上がり ・砂遊び
22 日 ・ 土	備 考	・お花の水やり	①お店屋さんごっこ (ケーキ他) 新聞紙で洋服をつくる→えの具遊び エプロン・上着 ②うたをうたう ・戸外あそび ・繩あそび	・ごっこ遊び ・えの具遊び ・戸外あそび	・お店屋さん(売る・買う) ・うたをうたう

(2)月(4)週・日案・日誌

年長

評価 ・反省	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	実施	記録	年長	
				行い	行い
生子どもする姿	ごっこ遊びでは、廃材を利用して遊ぶのを、思いおもひのアイデアで作り、それらを使い、役割のある遊びを集団で楽しんでいる。 鉄棒やのぼり桟などの固定遊具ではなく自分の腕の力での運動遊びに挑戦し、できだ時は友達同士で喜びをわけ合う姿もみられる。	チームに分かれての運動遊びを楽しむ一人ひとりが力を発揮するみんなでひとつのことを計画し、相談し協力して遊びを進めていくことを楽しむ	家楽しいコンサートクラスだより 庭だより運搬	行事など	今週はひな人形づくりがはじまった。廃材を利用して自分なりに考えて作っていた。しかし、作る子は決まっていつも一緒にいるだけ違う子に説いているのがなかなか参加してこない。今回は廃材が少しおかなかったので、同じようなものばかりになってしまった。もっといろんな種類のものを置いておかなくてはいけなかつたと反省した。これからは家で出た廃材ができるだけ、もってきてあげたいと思う。卒園式の集まりも始まつた。子ども達は式というものを少しずつ意識している。
ねらい	①ごっこ遊び お店屋さん	材料の使い方のヒントを与えていき、それを遊びでの役割を交替し合いながら楽しめるようにする	24日・月	①お店屋さんごっこ 洋服屋さん 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび ・十字路	①お店屋さんごっこ 洋服屋さん 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび・うすまきシャンケン ②お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび・十字路
・	②鬼ごっこ ひょうたん、影ふみ、水鬼、警笛	消極的な子でも鬼になって楽しめるよう教師が係わり援助する	25日・火	①お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび・十字路	①お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび・十字路
・	③英語であそぼう (お買い物ごっこ)	ほしいと要求してきたものは、すぐに見出せるよう準備しておく。子供たちの進歩がひき出せるよう、家庭との連絡が「工夫しながら丁寧に仕上げていく」おだりりきま他を「工夫しながら丁寧に仕上げて、安心感を持たせ少しずつ覚えさせていく」というのイメージを出しておき、英語でのやりとりで親しみがして、自分たちの手で準備物をつくりあげていく。	26日・水	新入園児説明会 楽しいコシサーント(大坪記念ホール) 英語で話す ・長い人形づくり	①お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび ・うすまきシャンケン ②新入園児説明会 楽しいコシサーント(大坪記念ホール) 英語で話す ・長い人形づくり
・	・	・園児の集中力が盛り上がるよう買い物袋やお金を準備する。	27日・木	楽しいコシサーント(大坪記念ホール) 英語で話す ・長い人形づくり	①お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび ・うすまきシャンケン ②新入園児説明会 楽しいコシサーント(大坪記念ホール) 英語で話す ・長い人形づくり
・	④楽しいコンサート (記念ホール)	特に落ち着かない子供に関しては、落ち着けるよう左右のメンバーを考えて座席を決めていく。	28日・金	遊難訓練 ・マナーを意識して参加し、リラックスした気持ちは音楽に耳を傾けるようにする。放送を最後まで聞かなければ難路が判断できないことに気づかせ、自己の判断を確実に行わせる。	①お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび ・うすまきシャンケン ②新入園児説明会 楽しいコシサーント(大坪記念ホール) 英語で話す ・長い人形づくり
・	⑤避難訓練	・えの橋を決めていく。これまで何度も防災訓練を行っており、今年度は室内の中心部分にまでもついていかずして、他の子に紹介することでの意欲や満足感をもたらせる。	29日・土	遊難訓練 ・長い人形づくり	①お店屋さんごっこ 洋服屋 洋服屋 本屋 果物 戸外あそび ・うすまきシャンケン ②新入園児説明会 楽しいコシサーント(大坪記念ホール) 英語で話す ・長い人形づくり

備考

3月の計画

年長

指導の内容	環境構成	予想される子どもの活動	配慮事項			
			家庭連携	家庭連携	家庭連携	
子どももする姿	・自分でつくりた面をかぶったり、本物の鬼を退治したりして、楽しみ、悪い鬼を追払う。 ・版画では自分なりに考えた物をつくり印刷する面白さを味わう。 ・お店屋さんごっこでは、友達と一緒にて大きい物をつくったり、本物らしく真似でつくりあげる。 ・春の訪ねに気付き、自然の変化に興味をもつたり、春気で次席する子が増え、手洗い・うがいの大切さを再確認する。	・友達と協力し、積極的にあそびを進める楽しさ ・修了に向けて活動を通して成長を喜び、就学への期待を持つ ・春の訪ねに気付き、自然の変化に興味をもつたり、春気で次席する子が増え、手洗い・うがいの大切さを再確認する。	2日 楽しいコンサート 行 3日 ひなまつり誕生会 5日 お別れ遠足 6日 給食終了 9日 弁当終了	4・9・12日 卒園式同練習 13日 爪子準備 (子どものくに) 17日	クラスだより お別れ遠足について 楽しいコンサートについて 卒園式案内 卒園式について	
生活	・園庭にて十字路や、うずまきなどをいつも書いておくことで、子どもから進んでやらうという気持ちになるよう仕向ける ・年齢に応じて広くしたり、長さを長くすること ・一層盛り上がり、楽しくできるようにする ・側で励ましたり、回数を記録したり、補助したり ・側するところで、意欲をもって取り組もうという気持ちを持たせる ・園内を遊園地として、巧技台・ゴロゴロパンパン車・ギター車を使ってのコーナーを設ける ・ストーブをつけ、換気をよくする ・空箱やダンボール類だけでなく、プリンカップや布・毛糸などいろんな種類の材料を置いておき、より一層、おもしろい発想ができるように仕向ける ・男女別に分かれて、聞き合ったり、他のクラスと一緒に歌い合ったりすることで、意欲をもつて歌うようにする ・ネリダ先生と直接会話をしたり、触れたりすることでの層英語への興味を持たせる ・ゲームをとり入れ、楽しく行う ・ひな人形を飾ったり、うたうたり、ひな人形になつたりすることで、雰囲気を盛り上げる ・各クラスや全体会的なゲームなどを取り入れることで、親子と教師との親しみを深めていく ・英会話の動あそびを見て、親しみを持つ ・邪魔になるようなものは、はじめのうちに全てチラスに出していく ・花をかざしたり、日の丸をかけたりすることで式典の雰囲気を知らせる	・戸外あそび 鬼ごっこ(影みみ、水鬼、十字路) ボール遊び 縄跳び(短編、長編) 鉄棒(前回り、逆上がり) 登り棒 高架の四頭→たかなかつけ→試食 大型豆み木 色つき鬼	・戸外あそび 黒の水やり 十字路魔 うさぎの顔をきく 高架の四頭→たかなかつけ→試食 大型豆み木 色つき鬼	・戸外あそび 黒に白 お詫び 黒に白 自由画	・保育者は見守りながら警めてやる言葉をかけたり、一緒に参加したりしながら、遊びが続かない時やトラブルが生じた時は、必要に応じて授乳していいことなどを教えた後は、年少・年中に対しても同じことを教える。年少・年中には特に年少の年齢で、できないことに対しては、再度挑戦してみようという気持ちが持てるよう早く、残り少ない日を皆で楽しんで生活できるように、卒園式までの日数を知らせ、園生活をしみじみと味わえるような活動を取り入れたり、保育者も一緒に遊びに参加するケガをしないように気を付け見る ・自分のイメージをつけて、作ったりしてみようという気持ちが持てるよう、おもちゃや籠などと一緒に遊びに参加する ・音楽の内容を十分理解して歌うことができるようになるために、いろいろな方法で工夫してみようとする ・音楽の内容を十分理解して歌うことができるようになるために、おもかげの歌を友達と一緒に歌っていく ・思い出のうた、おもかげの歌を友達と一緒に歌っていく ・これまでの園生活の中で耳にしてきた英単語・会話に耳を傾け、雰囲気を感じとりながら英語に親しみ、楽しんでもうける ・劇の観賞をする	
健	・姿を認めて応援したりする ・姿をかばって身体を動かして遊ぶ ・寒さに負けず户外で身体を動かして遊ぶ ・自分の気持ちを伝えたり、相手を受け入れた ・わいばしばしベンのおもしろさを知り、線の特徴 ・自分の考え方などを言葉や絵に表す ・自分の考え方などを言葉や絵に表す ・修了するにあたつて周りの人にも感謝の気持ちをもつ ・年少中児に親しみやりの気持ちを持つ ・接し、交流を楽しむ ・自分で使っていた物を整理・整頓して持ち帰る	・室内あそび ごっこ遊び 廻材であそぶ 英語であそぶ	・室内あそび ごっこ遊び 廻材であそぶ 英語であそぶ	・絵を描く 粘土 ・お詫び ・自由画	・園内遠足(みどり遊園地) 折り紙「桜」「おうち」 絵本「カーラーライス」 ・ひな祭り誕生会(英語劇を見る) ・お別れ遠足(子供の国)	・保育者は見守りながら警めてやる言葉をかけたり、一緒に参加したり、年少・年中には特に年少の年齢で、できないことに対しては、再度挑戦してみようという気持ちが持てるよう早く、残り少ない日を皆で楽しんで生活できるように、卒園式までの日数を知らせ、園生活をしみじみと味わえるような活動を取り入れたり、保育者も一緒に遊びに参加するケガをしないように気を付け見る ・自分のイメージをつけて、作ったりしてみようという気持ちが持てるよう、おもちゃや籠などと一緒に遊びに参加する ・音楽の内容を十分理解して歌うことができるようになるために、いろいろな方法で工夫してみようとする ・音楽の内容を十分理解して歌うことができるようになるために、おもかげの歌を友達と一緒に歌っていく ・思い出のうた、おもかげの歌を友達と一緒に歌っていく ・これまでの園生活の中で耳にしてきた英単語・会話に耳を傾け、雰囲気を感じとりながら英語に親しみ、楽しんでもうける ・劇の観賞をする
人間関係	・自分の気持ちを伝えれる ・自分の考え方などを言葉や絵に表す ・修了するにあたつて周りの人にも感謝の気持ちをもつ ・年少中児に親しみやりの気持ちを持つ ・接し、交流を楽しむ ・自分で使っていた物を整理・整頓して持ち帰る	・人形に分かれてもうける ・男女別に分かれてもうける ・歌をうたう→思い出のアルバム ・作品の整理(絵)	・人形に分かれてもうける ・男女別に分かれてもうける ・歌をうたう→思い出のアルバム ・作品の整理(絵)	・絵を描く 粘土 ・お詫び ・自由画	・道具類の整理・整頓 折り紙「桜」「おうち」 絵本「カーラーライス」 ・ひな祭り誕生会(英語劇を見る) ・お別れ遠足(子供の国)	・修了証書の受け取る要領を知り、自分で考えて行動した事を認め、意欲を持たせていく ・園外での過ごし方を再確認しながら、就学への期待や喜びにつなげておけるよう言葉をかける ・これまでの園生活の中で耳にしてきた英単語・会話に耳を傾け、雰囲気を感じとりながら英語に親しみ、楽しんでもうける ・劇の観賞をする
環境	・いろいろな楽器の音に興味をもつ ・表現	・誕生日を祝い成長を喜び合う ・就学への期待をもつ	・物をなげたり、人にぶつけたりと教師に伝える ・勝手な行動をとらないように	英語劇を見たり、楽しいコンサートと園生活最後の行事では、マナーを守り落ち着いて参加する。遠足は、園内となつたり、音楽鑑賞を行つたり、音楽の準備を行つて、身体を動かしておそび、楽しんだ。花壇の花や花壇の花の名前を知つたり、音楽鑑賞を行つたり、音楽の準備を行つて、自分で考えて行動できるようになり、式の間も落ち着いて参加する。自分に自信のある運動(登り棒・跳縄など)については運んでお達しに要領を伝えいい様子が伺える。	評価	
言葉	・言葉	・みんなで一緒に心をこめてお別れの歌をうたつたり、言葉で伝えたりする ・修了式の意味がわかり、参加しようとする ・感謝の気持ちをこめ、園内のすみすみまで清潔にする	・物をなげたり、人にぶつけたりと教師に伝える ・勝手な行動をとらないように	・制服のボタン・名ふだの確認をして式に参加する ・制服のボタン・名ふだの確認をして式に参加する	価値	
健康安全			・気温にあわせて、自分で衣服の調節を行う ・手洗い・うがい指導 ・廊下歩行			

(3)月(1)週・日案・日誌

生子ども活する姿		ね ら い	お店屋さんごっこがより一段と盛り上がり、売り手になり、買い手になり、友達とのやりとりをして他のクラスにまで行き、買い物をする。戸外でうずまきシャンケン・十字路・長縄などをを行い、他のクラスとも混和で仲よく楽しく身体を充分に動かして遊んでいる。	評価	今週は、雨が多く続き、室内遊びが主となつた。子ども達は室内での遊び方の結果をしていった。室内では、魔術を使つて、人形づくりを行ふ子が多くなり、次第に、多くの子どもにもひろがつていき、盛り上がつた。室内遊びになると、戸外好きな子も外に行けないので、普段あまり手をつけない製作面にも手をつける機会があつてよかつたと思う。布や毛糸がたくさんあつたので、いろんな工夫ができる子ども達もたのしんдиたようである。
予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項					
①ひなまつり 生会 ・魔術がわかる人形になりたいどなりうたつたりしながから魔術を盛り上げる ・椅子を並べたり、実際の順番で座らせていくことで、卒園式の順番といふものをつけませじく ・英語の受取書の受け渡ししながら、位置・	・小さな人形をかざしたり、ひなまつりの歌をうたったりすることによって雰囲気を盛り上げていく ・魔術がわかる人形になりたいどなりうたつたりしながから魔術を盛り上げる ・椅子を並べたり、実際の順番で座らせていくことで、卒園式の順番といふのものをつかませじく ・環境の人におしゃべりをするなど	2 日 ・月	①ひな人形づくり (廃材を使って遊ぶ) ②粘土 ③絵本 ④作品整理	行事など	①ひな人形づくり (廃材を使って遊ぶ) ②粘土 ③絵本 ④作品整理
・お別れ遠足 (にどものくに) ・英語で遊ぼう ・たのしいコンサート ・お庭記念ホールでいい音楽のダイナミックさきや、聞く態度を自分で感じさせていく ・お庭をうたう (思い出のアルバム)	・クラスや全体会での出し物を準備しておき、親と子と教師とがより一層深まるように一緒にくわんたりしないように心がける ・1列ずつとて型に型にはめずに自由に座らせ、伸びのびと述べるようにする ・たのしいコンサート ・大合唱記念ホールでいい音楽のダイナミックさきや、聞く態度を自分で感じさせていく ・クラスごとにうたうながら、零用金を販賣していく ・分かりにくいところは先方にうたつてある ・子どもがやうに常にラインでひいておく ・子どもたちの遊びの盛り上がりによつて、ラインを最も長くしたり、横に広げたりする	3 日 ・火	①ひなまつり誕生会 ②紹介をする(誕生者) ③英語での劇を見る(ひな人形) ④プレゼンツ渡し	ひなまつり誕生会	①ひなまつり誕生会 ②紹介をする(誕生者) ③英語での劇を見る(ひな人形) ④プレゼンツ渡し
・戸外遊び ・長縄 ・十字路 ・牛乳パックの 人形をつくる	・お別れ遠足の時にうたうながら、零用金を販賣していく ・分かりにくくいところは先方にうたつてある ・子どもがやうに常にラインでひいておく ・子どもたちの遊びの盛り上がりによつて、ラインを最も長くしたり、横に広げたりする	4 日 ・水	①户外あそび ②固定遊具あそび ③ボール ④縄とび	①卒園式全員での集まり ②証書うけとりー全員行う(相手の目をしつかり見ること) ③うたをうたうー思い出のアルバム	×卒園式の合同の集まり 証書のもらひ方、礼の仕方 ④うたをうたう ⑤户外遊び ⑥秒遊び ⑦固定遊具
・戸外遊び ・長縄 ・十字路 ・牛乳パックの 人形をつくる	・お別れ遠足の時にうたうながら、零用金を販賣していく ・分かりにくくいところは先方にうたつてある ・子どもがやうに常にラインでひいておく ・子どもたちの遊びの盛り上がりによつて、ラインを最も長くしたり、横に広げたりする	5 日 ・木	①お別れ遠足 (こどものくに) ・お別れ遠足に参加する ・全体で集まる←写真撮影をする ②雨天期 ・集合する ・バスに乗る ・バスに乗る ・解散する	×お別れ遠足に参加する 雨天期 ③お別れ遠足(こどものくに) ・集合する ・バスに乗る ・バスに乗る ・解散する	①户外あそび ②固定遊具 ③ボール ④縄とび
・戸外遊び ・長縄 ・十字路 ・牛乳パックの 人形をつくる	・ただダンボール・空箱だけではなく、ブリッジカット・毛糸・はしまなど、より一層工夫ができる、いろいろな種類の材料をおいておく ・いろんな素材を自由に使ってよい環境をつくつておく	6 日 ・金	①自由画 ②魔術あそび ③牛乳パックで人形をつくる ④えの具遊び	・無駄な使い方をしている子はその都度伝えて、その時の状態に合わせて何を使えばよいかを考えさせること ・1人ひとりのよいところを認め、紹介していくこと ・教師も一緒に使って楽しむこと ・教師も一緒に使って楽しむこと	①戸外であそぶ ②固定遊具 ③ボール ④長縄
・戸外遊び ・長縄 ・十字路 ・牛乳パックの 人形をつくる	・楽しいコンサート ・うたをうたう(トトロ・アンパンマン) ・サクソフォーンの演奏をきく	7 日 ・土	①戸外であそぶ ②固定遊具 ③ボール ④長縄	①楽しいコンサート ②トトロ・アンパンマン ③サクソフォーンの演奏をきく	①英語で遊ぼう 今までの復習 ②stand up ABC のうた sit down 手をたたきましょう

備考

年長

(3)月(2)週・日案・日誌

評 価	予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	行事など		実施記録		
		9日 月 内 遠足	9日 月 内 遠足	・園長先生の話 ・自由に遊ぶ ・集合(排泄) ・バスにのる	・星食 ・自由に遊ぶ ・集合(排泄) ・バスに乗る ・集合する	
・反省	・色々な友達とおしゃべりをもち、残り少 ない園生活を精一杯楽しむ ・修了する喜びを味わいながら、就学 に向けての自信や自覚を持つ	・就学にあたつて の心がまえにつ いて	・就学にあたつて の心がまえにつ いて	×雨天中止 ・集合する ・バスに乗る ・集合する	解散 <雨天> ・うたをうたう ・お弁当を食べる	
・反省	・色々な友達と一緒に卒園するという 意識が表れ、名残りおしく、寂しい気持ちも見られる。 ・友達同志のつながりが広く、強くなり、自分達で遊びを 進めている、という気持ちが見られる。	・就学にあたつて の心がまえにつ いて	・就学にあたつて の心がまえにつ いて	×英語のカルタであそぶ ×ゲームをする(椅子とり、フルーツバスケット) ⑤戸外遊び一色鬼 ⑥絵本(チャイルドブック3月)牛乳パックの人形をつくる	⑦うたうたう(思い出のアルバム) (宇宙のうた) (空より高く) 魔芋で遊ぶ	
・反省	・卒園式合同の集まり ・椅子や机・マイクを設置しておき、 式というものの雰囲気を感じとら せる。 ・実際、大坪記念ホールで行うこと により、式の流れや自分の場所が 分かるようになる。	・椅子や机・マイクを設置しておき、 式というものの雰囲気を感じとら せる。 ・実際、大坪記念ホールで行うこと により、式の流れや自分の場所が 分かるようになる。	10日 火	・一生懸命な姿を認め励まして あげることにより、自信を持 たせる。 ・常に人数把握をしておき、い なくなったりしないように心 がける(事前に勝手な行動を とらないように注意しておく) ・大いに見守る	⑧うたうたう(思い出のアルバム) (宇宙のうた) ・証書授与 {・うたをうたう	
・反省	・おわかれ遠足 (雨天) 園内遠足	・椅子や机・マイクを設置しておき、 式というものの雰囲気を感じとら せる。 ・クラスや全体での出し物を準備し ておき、親と子との距離感がより一 層深まるようになる。	11日 水	・すべつたり、ぶつかつたりし てケガをしないようにいつも 見守る。 ・常に人数把握をしておき、い なくなったりしないように心 がける(事前に勝手な行動を とらないように注意しておく) ・太い線・細い線(かわれた線) がけたりしないように前もって注意 する。 ・教師も一緒に教うことなどのよう に教えぱいのか気付かせる ・同じ子どもばかりが鬼にならない ように気を付けて見 ・緊張の後の時間、雨あがり後を思 いきり解放感をもつるようにする (ケガのないよう見守りながら) ・ルールを全員に伝え、1人ひとり が意識してから始めるようにする ・滑稽用具を豊富に準備しておく ・スムーズに進められるように場所 の分担をする	⑨戸外遊び 十子路鬼 固定遊具 縛とり鬼	⑩英語のカルタであそぶ ×ゲームをする(椅子とり、フルーツバスケット) ⑪十子路 うさまきジャンケン ボール遊び 鉄棒・平均台(ジャンケン)
・反省	・わりばしべんで遊ぶ ・わりばしをもつて歩いたり、ふき かけたりしないように前もって注意 する。 ・教師も一緒に教うことなどのよう に教えぱいのか気付かせる ・同じ子どもばかりが鬼にならない ように気を付けて見 ・緊張の後の時間、雨あがり後を思 いきり解放感をもつないようにする (ケガのないよう見守りながら) ・ルールを全員に伝え、1人ひとり が意識してから始めるようにする ・滑稽用具を豊富に準備しておく ・スムーズに進められるように場所 の分担をする	12日 木	・親子清掃 固定遊具 砂遊び 縛遊び ボール	⑫戸外遊び 十子路 縛遊び 縛遊び ボール	⑬卒園式合同の集まり(記念ホール) ⑭終了証書授与一しつかり挨拶をする、礼は、丁寧に行う {・うたをうたう(おもいでのアルバム、宇宙のうた、空より高く) ・退場	
・反省	・色つき鬼 長崎 鬼ごっこ 十字路鬼 固定遊具 縛とり鬼	・親子清掃 ・器具遊び ・戸外遊び ・固定遊具 ・縛遊び ・ごっこ遊び	13日 金	・親子清掃 ×えの具遊び ・戸外遊び {・縛遊び ・縛遊び ・ごっこ遊び	⑮最後まで真剣に参加する ・親子清掃 ・牛乳パックの人形をつくる ・砂遊び ・縛遊び ・うさまきジャンケン	
・反省	・親子清掃に参加する	・ドッヂボール ×椅子取りゲーム ⑯うさまきジャンケン ×十子路	14日 土	⑯ドッヂボール ×椅子取りゲーム ⑰うさまきジャンケン ・陣とり鬼	⑱自由画 ×粘土 ⑲絵本を読む ・陣とり鬼	

備考

(3)月(3)週・日案・日誌

生 活 す る 姿 い わ ね	評 価 ・ 反 省		年長	
	今週で、年長の生活は終わりとなつた。子ども達は、どの子も伸びのびと遊べる元気な子どもに成長していくたど思つ。卒園式では、1人ひとりが、しっかりと証書を受け取ることができ、また、相手の目を見るという事も意識して、嬉しいで、嬉しく思つた。なかよく、きまりよく、ありがとうが言える素直な子どもに育つてくれたと思う。			
予想される子どもの活動・環境構成・配慮事項	行 事 な ど	実 施 記 録		
①卒園式	×戸外あそび {・固定遊具 ・砂遊び ・スケーター うずまきシャンケン	×十字路 ①うたをうたう ②持ち物の整理をする ・繪本 ・部屋かざり		
植物の観察	・落ち着いて式に参加する ・修了証書を受け取る喜び を感し、成長した事を知 り、保護者にも感謝の気 持ちをもつ ・保護者に1人ひとりの 顔がはつきりと見える ように座らせる	卒園式 (大坪記念 ホール)	①ホールに集合する ・舞台に入場する ・式に参加する ・修了証書受 ・うたをうたう ・修了証書をもらう	退場 ・園にもどる ・帳面 ・名簿等をもらう ・修了証書をもらう
身のまわりの整 理整頓	・花の水をあげたり、ま た花壇の花の名前がす ぐわかるように、名札 をたてておく ・いる物といらない物を 区別し、忘れ物のない ようにする	日 ・水		
戸外あそび 椅子取りゲーム うたをうたう 部屋かざり	・今まで経験した事のあ るあそびができるよ う、ドッヂボール・十 字路の線ひいたり、 スケーターなどを出しあ ておく	日 ・木		
		日 ・金		日 ・土
				備 考

III. 考察及びまとめ

これからの保育の展開に関する基礎的資料を得る目的で、月指導計画、週指導計画及び日誌の改善について研究した。

本園での週・日指導計画作成の手順とその考え方⁵⁾についてまとめてみると次のようになる。

まず、遊びについて考えるとき、第1には、発達の姿からねらいを設定することになる。発達の姿を捉えるには、最初に、幼児期の発達の特性を把握すべきである。子どもたちの様子をみてみると、よく分かるが、口うつしで教わったこととか、こうやりなさいと言われたことは、なかなか身につかないものである。先生と子どもという義理の関係があるので、先生の言うことはやってやろうということで、やってはくれるが、先生がいなくなると、何をやっているのだから、分からなくなってしまう。いわゆる、身につく、自分で獲得するという訳にいかないという特性を持っている。つまり自分で興味を持ったこと、自分でやってみようかなと思ったことを自分でやってみる。周囲の環境に自分から働きかけて得たことが、初めて自分の中に獲得され、身につけることができるものである。以上のような特性を十分理解した上で、発達する姿を生活する姿に置き換えて考えてみると、それを捉えるには、記録の重要性がある。どのような観点⁶⁾から指導計画に生かせる記録の取り方があるかというと、次の4つのポイントでまとめられる。
 ①新鮮な目で発見する
 ②継続的に見て変化を捉える
 ③他とのかかわりを見ながら共通点を捉える
 ④視点をもつ
 このようにして得た子どもの発達からねらいを設定する。

第2は、ねらいから内容をおさえる。ねらいから内容をおさえるには、ねらいを構成している要素を分析することから始まることになる。自分なりのやり方での遊びが、保育者や友だちに認められたり、受け入れられたり、また、その遊びがより楽しくなるように保育者が援助してくれたりすることが必要となる。また、自分なりの動きによってトラブルが起きたとき、保育者がそれを調整することも必要である。このようにして内容をおさえる。

第3に、ねらいや内容から環境を構成する。環境を構成するために、次の物的環境が考えられる。
 ①一定の場に置かれ、幼児が持ち出しやすく、場を簡単につくっていける道具や園具(積木、椅子、サークル等)、
 ②自分なりのイメージや見立てで作っていかれる素材、材料(ストロー、割りばし、色画用紙、空箱など)、
 ③一緒に過ごしたい友だちと同じ物を身につけたり、持ったりして動ける物(ふろしき、ドレス、幼児が作ったお面など)、
 ④一緒に過ごしたい友だちとたまつたり、働きかけたりすることのできる場(グローブジャングル、すべり台、雲梯、玄関など)

これらの内容を指導するには、次のような人的環境が必要になる。

①個々の動きを認め、楽しさやおもしろさに共感してくれる保育者②幼児のイメージや興味の所在を感じ取り、一人ひとりの動きが引き出されるような言葉かけをしたり、場や物を提示したりしてくれる保育者③自分なりに安心して動ける友だちのかたまり④相手とかかわったり、相手の動きを取り入れたりして動ける友だちの存在。

このようにして指導計画を立てていくが、幼稚園の保育は一般に次のようなプロセスで進められる⁷⁾。

- ①幼児の姿から、ねらいと内容を設定する。
- ②ねらいと内容に基づいて環境を構成する。
- ③幼児が環境にかかわって活動を展開する。
- ④活動を通して幼児が発達に必要な経験を得ていくような適切な援助を行う。

具体的な保育は、この①～④の循環によって、あらかじめ予想した指導計画を立てて行われるので、実際の幼児の生活する姿に応じて、これらの全ての点について適切かどうかを検討して保育の改善をしていかなければならない。

そこで、幼児期というものを考えると、発達的に見て、人間形成の基礎づくりの段階であるということができる。この基礎という意味は、たとえば、回りの世界を受けとめる豊かな心情、それから、物事に自分から積極的にかかわっていこうとする意欲、あるいは、人々と健全な生活を営んでいこうとする態度、このような心情や意欲や態度的なものを身につけていく段階である。

幼稚園教育は幼児期の特性をふまえ環境を通して行うものであることが基本である²⁾。そのことから、教師の役割というものが非常に大事な意味をもってくる。何をどう取り込んできて子どもたちの前に環境として用意するかという役割が大きくなってくる。環境を整える、用意する訳であるが、その中で展開される生活が幼児期にふさわしいものでなければならない。どんなものがふさわしいか、これは、大人と子どもがいっしょになって生活する。そして、大人にしっかりと見守られている。自分が先生に愛情を持って受けとめられている。自分で何かやっていきたいということを支えてくれる存在。そういう大人が側にいてくれる。つまり幼稚園では先生であるが、そういう先生といっしょに生活することが幼児期には大事である。延ばすと7～8メートルになる梯子を高い木にかけ、梯子に足を乗せ剪定をする時、梯子の頂上で、無理な姿勢で剪定鉗を使うと、足がガクガクと震えてくる。誰も支えてくれる者がいない時は、非常に恐いものである。ちょうど、子どもたちの心の内側をのぞいた時と同じと考えられるが、生活や遊びの子どもたちの心の内側は、時として、グラグラ揺れ動き、不安定な場合も多いと思われる。梯子を支えてくれる者と同じように、そんな時、しっかりと支えてくれる大人が側にいてくれれば、心の安定感を持つものである。日本保育学会第45回大会での愛育養護学校々長 津守 真氏の講演の中で、危機を支えたときというのは、子どもと大人とが深いところでお互いにお互いを見ることができるようになり、深いところで何か結びつく、子どもを深く理解するというのは、倒れそうになっているその危機のとき、外から見ているのではなく、自分がその中に巻きこまれることである。自分も、もう倒れそうになりながらやっている時に、子どもと保育者は結びつき、深いところでお互いの絆を感じ、愛着も生じると言っている。

このように、保育者と子どもがしっかりと絆で結ばれていることが大事である。

次に、自分でやってみる。そして自分で考えてみる。そういう直接的な具体的な体験ができる。そういう生活が幼稚園で行われなければならない。

さらに、友だちとかかわれる。幼児期はなんといっても、自分以外の子どもたちの存在が、段々分かってきて、そういう子どもたちとかかわる中で、友だちのことを見ながら、また、一緒にいろんな葛藤体験をしたり、様々なことを体験しながら育ち合っていくものである。このことから、幼稚園では、友だちとかかわる生活が保証されなければならないのである。

このようにして、幼稚園での保育は展開される。

前報¹⁾で、本園なりの自由保育の形態では、記録をとることの重要性、必要性を説明し、形式のみを示したが、個人の記録、個人の育ちの記録及びいいとこ探しの実践例を示すことにする。これらのことは、最終的には、その子自身の指導要録の指導の記録にもつながることである。なお、いいとこ探しについては親の反応もつけ加えた。

3年保育年少組A子の記録

個人の記録

- 給食を残さずに食べようとする姿がみられ、最後までがんばる。絵の具あそび、ボールあそびをするのを楽しみ、喜んで参加する。所持品の始末ができない。思い出すと自分からできるが、自分で気づくように伝えていきたい。友だち同志とのキャッチボールもできるようになる。
- 予防接種が行われるが、病気をしないためだと伝えると、我慢して泣かずに接種を受ける。これが1つの自信へつながるようにも感じた。
- 弁当を残さず食べられるようになり、少しずつはやくなってきたているようである。ボールのキャッチもとても上手になり、自分からポンポンをしようと言ってくる。
- 園長の話を、落ちついて聞いていたので、あとで、全員の前で褒められる。相手の目をくい入るようにして聞いていたので、誰の話でもよく聞けるように意識させたい。
- 平均台を渡っている途中で、落ちたりしてうまくいかないと逃げ出してしまう。できるようになるまでと、励ますと少しずつではあるが、自分から取り組もうという姿が見られるようになる。食事や着替えの面でも途中で投げださないようになったのがあそびにもつながってきているようだ。
- 所持品の始末ができ、衣服をたたむのものはやかたので褒められた。弁当も今日は久しぶりはやく食べ終えとても嬉しそうであった。自信につなげ、意欲をもって食事ができるようにしていきたい。
- アンパンマンが園庭に来たのをとても喜こんで皆に知らせていた。自分が経験して、嬉しかったという事を他人に知らせるというのは良い事であるし、この思い込みには夢がある。

個人の育ちの記録 組(なまえ) A子

項目 月	幼児の姿	なぜそうするのか (読みとり)	課題	援助	反省
10月	所持品の片付けもはやくなり、食事も残さずにはやく食べられるようになる。話も落ちついてきき、理解力もある。平均台のジャンケンゲームやとび箱よじ登りは、でき勇気を出してとび降りる。	機敏に行動した事を認める事で意欲が持てるようになる。友達が行うのを見て初めは嫌がるが経験する事であそびの面白さを知る。	自分を伸びのびと表現し、友達とルールを守ってあそぶ。	平均台、とび箱は多少無理強い的なところもあったが、経験する事で自信をもつ事ができる。話をよく聞いてあげる事で自分を認められたと安心できるようにした。	友達とのかかわりは持つ事ができたが、動物をこわがるので、世話をすることで触れたりして親しみを持たせたい。
11月			動物にも親しみを持って接し、またいろいろな友達とあそぶ。		

いいとこ探し A子 さん

- 今日は、自分の背より高い跳び箱によじ登って遊びました。初めのうちは少々逃げ腰だったのですが、1度経験して要領を得ると、何度も挑戦していました。高い所に立つと緊張気味の顔ではありましたが、新しいことでも泣かずに挑戦できるようになりました。お友だちにも高い所でも恐くないよと言ってました。おりこうさんです。
- A子の成長ぶり、大変嬉しく思います。あの恐がり屋さんが、一生懸命挑戦していると聞き随分たくましくなったなあと思います。また、お友だちを思いやる気持、先生のお陰と感謝しいます。ありがとうございます。

また、今回幼稚園教育要領²⁾が改訂され、我々現場の教師が戸惑ったことは、教育の新しい考え方、また発達の新しい見方であった。自分なりに身につけてきた教育観あるいは発達観を角度を変えて理解する必要があった。子どもが見せる姿とは、先生との関係の中で見せるというのが基本である。先生の方で一方的に何かを与える、子ども自身がそれを自ら学んでいくとは限らない。与えていれば学んだのではないかという部分が、かなりあったと思われる。しかし、子ども自身自ら学んでいく部分が教育として本当に大事なのではないだろうか。それは生涯学習の考えとも結びつくと考えられる。特に、幼児期は自分から学びたい、いろんなことに積極的にかかわってみたい。その部分を育てたいのである。すぐに求める教育ではなくて、生涯を通して、その子自身の成長発達を支えている部分を大事に育てるのが幼稚園教育であり、教育観の新しい考え方と思われる。4才何か月で、5才何か月で、そろそろこの時期にこれはできるはずだという発達診断的な、あるいは一般的な発達の段階があり、いかに、それを順調にクリヤーしているかを見る見方が強かったと思われる。それに到達していない子があると、この子は遅れているという見方があった。比較するのではなく、一人ひとりを丁寧に捉えて、その子自身の発達を促す、あるいは援助することを基本とすべきである。以上のように、教育観、発達観を大事に捉え、理解することで現場の教師の戸惑いは薄くなってきたと思われる。

この研究を通し、保育者が望んでいる保育の展開は、幼稚園教育要領²⁾に示されているねらい及び内容が、子どもたちの中に総合的に育ってくることであり、我々は、保育の営みの中で、幼稚園教育要領²⁾の改訂の意味をしっかりと捉えなおす必要があると思われる。

新しい保育形態に移行するに当たってご理解を示していただきました本学園理事長 大坪久泰先生を始め、本研究に協力いただいた本学附属みどり幼稚園中野貴美子主任、山下れい子、吉岡智美、服部千佳、橋口有里、宮元祐子、権藤みかさ、伊比井美紀、附属清武みどり幼稚園 高山愛の各教諭に深く感謝します。

参考文献

- 1) 大坪邦資：これからの保育の展開、宮崎女子短期大学紀要、第18号、1992.
- 2) 文部省：幼稚園教育要領、平成元年文部省告示第23号。
- 3) 倉橋惣三：幼稚園真諦、フレーベル新書10、フレーベル館、1989年。
- 4) 倉橋惣三：育ての心（上）、フレーベル新書12、フレーベル館、昭和62年。
- 5) 西久保礼造：幼稚園週・日案の作成、ぎょうせい、1991年。
- 6) 文部省：幼稚園教育指導資料第1集指導計画の作成と保育の展開、フレーベル館、平成3年、pp. 14~15.
- 7) 文部省：幼稚園教育指導資料第3集幼児理解と評価、チャイルド本社、平成4年、P. 7.

〔1992年12月10日受理〕